

## 1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	15	GN4-2 燃料集合体外観検査	※:炉心設計による	
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	15		※:炉心設計による	
	燃料集合体 193体	外観点検	高	1C	○	15	GN4-3 燃料集合体炉内配置検査	※:炉心設計による	
	内挿物 1. 制御棒クラスタ 2. パーナブルボイズン 3. プラギングデバイス 4. 2次中性子源								1式※
	原子炉本体のうち炉心								機能・性能試験
原子炉本体 (原子炉容器)	原子炉容器本体	開放点検	高	13M	○	15			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	15		一部プラント運転中	
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15		一部プラント運転中	
	燃料取扱クレーン	分解点検	高	13M	○	15			
	燃料取扱クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15			
	使用済燃料ビットクレーン	分解点検	高	13M	○	15		一部プラント運転中	
	使用済燃料ビットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15		一部プラント運転中	
	1. 燃料移送装置(リフティングフレーム) 2台 2. 燃料取扱クレーン 3. 使用済燃料ビットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-96 燃料取扱装置機能検査		
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱クレーン	機能・性能試験	低	1C	○	15	GN4-75 燃料取扱設備検査		
	1. 燃料取扱クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ビットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
	1. 燃料取扱クレーン 2. 新燃料エレベータ	機能・性能試験	低	1C	○	15			
	原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	15			
	燃料取扱キャナル(原子炉格納容器内/燃料取扱機内)	外観検査	高	1C	○	15			
	キャスクビット	外観検査	高	1C	○	15			
	新燃料貯蔵庫	外観検査	低	1C	○	15			
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料仮置ラック	外観点検	低	1C	○	15	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
	使用済燃料運搬用容器 (NF T-14 P型 22号機)	外観点検	高	1F	○	2023年度			
	使用済燃料運搬用容器 (NF T-14 P型 23号機)	外観点検	高	1F	○	2023年度			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ビット浄化冷却設備	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ビット含む
		4 A 使用済燃料ビットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2023年度		プラント運転中
			分解点検		4Y	—	2022年度		
4 A 使用済燃料ビットポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2022年度		プラント運転中	
4 B 使用済燃料ビットポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2023年度		プラント運転中	
		分解点検		4Y	—	2023年度			
4 B 使用済燃料ビットポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2023年度		プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4 A 使用済燃料ビット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2021年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ビット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2022年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ビットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ビットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ビット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	15			
	4 B 使用済燃料ビット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	15			
	4V-SF-011 4 A AM用 S F P ポンプ出口弁	駆動部点検	低	10Y	—	2016年度		GM4-85 1次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度			
		機能・性能試験		10F	—	2016年度			
		電動機分解点検		10Y	—	2016年度			
4V-SF-094 4号 S F P 脱塩水補給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	8	GM4-87 1次系逆止弁検査			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	4 A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	1Y	○	2023年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
		分解点検		4Y	—	2021年度			
		機能・性能試験		4F	—	2021年度			GM4-84 1次系ポンプ機能検査
	4 A 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y	—	2021年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
	4 B 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	1Y	○	2023年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
		分解点検		4Y	—	2022年度			
		機能・性能試験		4F	—	2022年度			GM4-84 1次系ポンプ機能検査
	4 B 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y	—	2022年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
	燃料取替用水ビット	開放点検	高	130M	—	13			
	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備)	4 A 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	15		
4 B 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	15			
4 C 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	15			
4 D 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	15			
4 A 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	○	14	GM4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 B 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	—	15	GM4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 C 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	—	15	GM4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 D 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	○	14	GM4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 A 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	12		一部プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15	GM4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
4 A 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15			
		分解点検		52M	○	12			
4 B 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	13		一部プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15	GM4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
4 B 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15			
		分解点検		52M	—	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 C 1 次冷却材ポンプ	分解点検	高	10年間	—	14		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
	4 C 1 次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		52M	—	15		
	4 D 1 次冷却材ポンプ	分解点検	高	10年間	—	15		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
	4 D 1 次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		52M	—	15		
	4 A 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	○	14	G4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
	4 B 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	—	15	G4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
	4 C 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	○	14	G4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
	4 D 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	—	15	G4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
	加圧器本体	開放点検	高	13M	○	15		
	炉内計装用シンプルチューブ 58本	非破壊試験	高	78M	—	14	G4-110 炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
	4V-RC-055 4号 加圧器安全弁A	分解点検	高	13M	○	15	G4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	15	G4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-8 加圧器安全弁機能検査	
	4V-RC-056 4号 加圧器安全弁B	分解点検	高	13M	○	15	G4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	15	G4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-8 加圧器安全弁機能検査	
4V-RC-057 4号 加圧器安全弁C	分解点検	高	13M	○	15	G4-10 加圧器安全弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	15	G4-9 加圧器安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	15	G4-8 加圧器安全弁機能検査		
4PCV-452A 4号 加圧器逃がし弁A	駆動部点検	高	52M	—	15			
	分解点検		13M	○	15	G4-13 加圧器逃がし弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	15	G4-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	15	G4-11 加圧器逃がし弁機能検査		
4PCV-452B 4号 加圧器逃がし弁B	駆動部点検	高	52M	—	15			
	分解点検		13M	○	15	G4-13 加圧器逃がし弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	15	G4-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	15	G4-11 加圧器逃がし弁機能検査		
4V-RC-054A 4号 加圧器逃がし弁A元弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
	分解点検		130M	—	15			
	機能・性能試験		1C	○	15	G4-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
	電動機分解点検		130M	—	15			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-RC-054B 4号 加圧器逃がし弁B元弁	駆動部点検	高	130M	○	11		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	○	6		
	4PCV-451A 4号 加圧器スプレイ弁A	駆動部点検	高	26M	—	15		
		分解点検		26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GN4-85 1次系弁検査	
	4PCV-451B 4号 加圧器スプレイ弁B	駆動部点検	高	26M	○	14		
		分解点検		26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-RC-017 4号 抽出ライン元弁	分解点検	高	65M	—	15		
	4V-RC-019A 4号 Aループ第一ドレン弁	分解点検	高	39M	—	14		
	4V-RC-019B 4号 Bループ第一ドレン弁	分解点検	高	39M	—	14		
	4V-RC-019C 4号 Cループ第一ドレン弁	分解点検	高	39M	—	15		
	4V-RC-019D 4号 Dループ第一ドレン弁	分解点検	高	39M	—	15		
	4V-RC-077 4号 PRT自動ガス分析ライン内隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		130M	—	12		
	4V-RC-078 4号 PRT自動ガス分析ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
	4V-RC-084 4号 PRT N <sub>2</sub> ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
分解点検		130M		○	6			
4V-RC-095 4号 PRT補給水ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	6			
	分解点検		130M	○	6	GN4-85 1次系弁検査		
4V-RC-088 4号 PRT N <sub>2</sub> ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-87 1次系逆止弁検査		
加圧器比例ヒータ 1式	機能・性能試験	低	1C	○	15			
加圧器後備ヒータ 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15			
4V-BD-101A 4 A S G B D外隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	14			
	分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査		
4V-BD-101B 4 B S G B D外隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	14			
	分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査		
4V-BD-101C 4 C S G B D外隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	15			
	分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査		
4V-BD-101D 4 D S G B D外隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	14			
	分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査		
4V-BD-016A 4 A S/Gサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
	分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-BD-016B 4 B S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-BD-016C 4 C S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-BD-016D 4 D S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-BD-039 4号 SGBDモータ出口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	9		
		漏えい試験		10C	—	9	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	9		
	4V-BD-103A 4 A SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検		130M	—	14		
	4V-BD-103B 4 B SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	13		
		分解点検		130M	—	14		
	4V-BD-103C 4 C SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
分解点検		130M		—	9			
4V-BD-103D 4 D SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	12			
	分解点検		130M	—	9			
4V-BD-117 4号 BDTドレンライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	9	GN4-87 1次系逆止弁検査		
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	4PCV-3610 4 A 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	—	15		
		分解点検		13M	○	15		
		漏えい試験		1C	○	15	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
	4PCV-3620 4 B 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	○	14		
		分解点検		13M	○	15		
		漏えい試験		1C	○	15	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
	4PCV-3630 4 C 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	—	15		
		分解点検		13M	○	15		
		漏えい試験		1C	○	15	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4PCV-3640 4 D 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	○	14			
		分解点検		13M	○	15			
		漏えい試験		1C	○	15	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
	4HCV-3615 4 A 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	—	15			
		駆動部点検		52M	—	13			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4HCV-3625 4 B 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	○	14			
		駆動部点検		52M	—	14			
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	12			
	4HCV-3635 4 C 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	—	15			
		駆動部点検		52M	—	15			
		分解点検		130M	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	13			
	4HCV-3645 4 D 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	○	14			
		駆動部点検		52M	○	12			
		分解点検		130M	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	14			
4V-MS-523A 4 A 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	12				
	駆動部点検		65M	—	12				
	分解点検		130M	—	12				
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	10				
4V-MS-523B 4 B 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	13				
	駆動部点検		65M	—	13				
	分解点検		130M	—	13				
	機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	13				
4V-MS-523C 4 C 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	14				
	駆動部点検		65M	—	14				
	分解点検		130M	—	14				
	機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	14				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-MS-523D 4 D 主蒸気速がし弁元弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	65M	—	15		
		駆動部点検		65M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	GN-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	15		
	4V-MS-526A 4 A 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-526B 4 B 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-526C 4 C 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-526D 4 D 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-527A 4 A 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-527B 4 B 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-527C 4 C 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-527D 4 D 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-528A 4 A 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-528B 4 B 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-MS-528C 4 C 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-528D 4 D 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529A 4 A 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529B 4 B 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529C 4 C 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529D 4 D 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530A 4 A 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530B 4 B 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	15		
		漏えい試験		2C	—	15	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530C 4 C 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530D 4 D 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	14		
		漏えい試験		2C	○	14	G4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-533A 4 A 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	15		
		分解点検		26M	—	15	G4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-533B 4 B 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	15		
		分解点検		26M	—	15	G4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-29 主蒸気隔離弁機能検査	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-MS-533C 4 C 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	14		
		分解点検		26M	○	14	G4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-533D 4 D 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	14		
		分解点検		26M	○	14	G4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-536A 4 A 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	—	15		
4V-MS-536B 4 B 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	—	15		
4V-MS-536C 4 C 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	○	14		
4V-MS-536D 4 D 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	○	14		
4V-MS-570A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁 A		駆動部点検	高	65M	○	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-MS-570B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁 B		駆動部点検	高	65M	○	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-MS-575A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁 A		簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	—	15		
		駆動部点検		65M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	G4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	15		
4V-MS-575B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁 B		簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	—	15		
		駆動部点検		65M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	G4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	15		
4V-MS-576A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁 A		分解点検	高	39M	—	14		
4V-MS-576B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁 B		分解点検	高	39M	—	14		
4V-MS-585A 4 A 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	G4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-MS-585B 4 B 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	G4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-MS-585C 4 C 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁	駆動部点検	高	65M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GM-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	14			
	4V-MS-585D 4 D 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁	駆動部点検	高	65M	—	15			
		分解点検		130M	—	15			
		機能・性能試験		10C	—	15	GM-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	15			
	4TCV-500A 4 A タービンバイパス弁	駆動部点検	低	26M	○	14			
		分解点検		13M	○	15			
		機能・性能試験		1C	○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500B 4 B タービンバイパス弁	駆動部点検	低	26M	○	14			
		分解点検		13M	○	15			
		機能・性能試験		1C	○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500C 4 C タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	○	13			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	○	13			
		分解点検		65M	○	11			
		機能・性能試験		1C	○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500D 4 D タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	○	13			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	○	13			
		分解点検		65M	○	11			
		機能・性能試験		1C	○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500E 4 E タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	—	14			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	14			
		分解点検		65M	—	12			
		機能・性能試験		1C	○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500F 4 F タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	—	14			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	14			
分解点検		65M		—	12				
機能・性能試験		1C		○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査			
4TCV-500G 4 G タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	—	15				
	簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	15				
	分解点検		65M	—	15				
	機能・性能試験		1C	○	15	GM-62 タービンバイパス弁機能検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4TCV-500H 4 H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	15		
		簡易点検(グラントバックシム取替)		39M	—	15		
		分解点検		65M	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500J 4 J タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	14		
		簡易点検(グラントバックシム取替)		39M	○	14		
		分解点検		65M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500K 4 K タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	14		
		簡易点検(グラントバックシム取替)		39M	○	14		
		分解点検		65M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500L 4 L タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	15		
		簡易点検(グラントバックシム取替)		39M	—	15		
		分解点検		65M	—	15		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500M 4 M タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	15		
		簡易点検(グラントバックシム取替)		39M	—	15		
		分解点検		65M	—	15		
		機能・性能試験		1C	○	15	GN-62 タービンバイパス弁機能検査	
4FCV-460 4 A 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	15		
		分解点検		13M	○	15		
4FCV-470 4 B 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	15		
		分解点検		13M	○	15		
4FCV-480 4 C 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	15		
		分解点検		13M	○	15		
4FCV-490 4 D 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	15		
		分解点検		13M	○	15		
4FCV-461 4 A 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	○	12		
		分解点検		52M	○	12		
4FCV-471 4 B 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		52M	—	13		
4FCV-481 4 C 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	15		
		分解点検		52M	—	15		
4FCV-491 4 D 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	15		
		分解点検		52M	—	15		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-FW-520A 4 A 主給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	52M	○	13		
		駆動部点検		65M	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
	4V-FW-520B 4 B 主給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	52M	—	15		
		駆動部点検		65M	—	13		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-FW-520C 4 C 主給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	52M	○	13		
		駆動部点検		65M	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
	4V-FW-520D 4 D 主給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	52M	○	13		
		駆動部点検		65M	○	11		
		分解点検		130M	○	6	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	6		
原子炉冷却系統施設 (余熱除去系統)	4 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4 A 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		52M	—	13	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		52M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		52M	—	14	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		52M	—	15		(振動診断: 1ヶ月)
	4FCV-601 4 A 余熱除去ポンプミニブロー弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4HCV-603 4 A 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
機能・性能試験		10C		—	15	GN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4FCV-604 4 A 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
		分解点検		130M	—	15			
		機能・性能試験		10C	—	15	GN4-85 1次系弁検査		
	4FCV-611 4 B 余熱除去ポンプミニブロー弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4HCV-613 4 B 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
	4FCV-614 4 B 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
	4PCV-420 4 A 余熱除去ラインBループ高温側出口弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4PCV-430 4 B 余熱除去ラインCループ高温側出口弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
		分解点検		130M	—	15	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	15			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-RH-002A 4 A 余熱除去ポンプ入口内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-RH-002B 4 B 余熱除去ポンプ入口内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
機能・性能試験		10C		—	11				
電動機分解点検		130M		—	8				
4V-RH-004A 4 A 余熱除去ポンプ入口逃がし弁	分解点検	高	130M	—	13				
	漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	13				
4V-RH-004B 4 B 余熱除去ポンプ入口逃がし弁	分解点検	高	130M	—	13				
	漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	13				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-RH-005A 4 A 余熱除去ポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M	○	—		第11回定検より追加
		分解点検		130M	○	—		
	4V-RH-005B 4 B 余熱除去ポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M	○	—		第11回定検より追加
		分解点検		130M	○	—		
	4V-RH-012A 4 A 余熱除去ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	13		
		4V-RH-012B 4 B 余熱除去ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	14	
	4V-RH-018A 4 A 余熱除去ポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4V-RH-018B 4 B 余熱除去ポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6		
		電動機分解点検		130M	○	6		
	4V-RH-026A 4 A 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-RH-026B 4 B 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-RH-042A 4 A 余熱除去冷却器出口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	15		
		漏えい試験		10C	—	15	GN4-86 1次系安全弁検査	
機能・性能試験		10C		—	15			
4V-RH-042B 4 B 余熱除去冷却器出口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	14			
	漏えい試験		10C	—	14	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	14			
4V-RH-043A 4 A 余熱除去冷却器出口外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
	分解点検		130M	—	12			
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	—	13			
4V-RH-043B 4 B 余熱除去冷却器出口外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
	分解点検		130M	—	13			
	機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	—	13			
4V-RH-045A 4 A 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁	分解点検	高	130M	—	13			
4V-RH-045B 4 B 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁	分解点検	高	130M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-RH-047A 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁A	駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		電動機分解点検		130M	—	15		
	4V-RH-047B 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁B	駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		電動機分解点検		130M	—	14		
	4V-RH-048A 4 A 余熱除去ラインB ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
	4V-RH-048B 4 B 余熱除去ラインC ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
	4V-RH-050A 4 号 余熱除去ラインA ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	○	6	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050B 4 号 余熱除去ラインB ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050C 4 号 余熱除去ラインC ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050D 4 号 余熱除去ラインD ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	13	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-051A 4 号 余熱除去ラインB ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-051B 4 号 余熱除去ラインC ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	14	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-RH-071 4 号 AM 代替再循環ポンプ出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	15			
4V-RH-072 4 号 AM 代替再循環ポンプ出口弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
	分解点検		130M	—	15			
	電動機分解点検		130M	—	15			
4V-RH-073 4 号 AM 代替再循環ポンプ出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	15			
AM 代替再循環ポンプ	分解点検	高	130M	—	11			
	電動機簡易点検		1C	○	15			
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	1. 高圧及び低圧注入系 ・高圧注入ポンプ 2台 ・余熱除去ポンプ 2台 ・モード切替弁 18個 2. 蓄圧注入系 ・蓄圧タンク 4基	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-16 非常用炉心冷却系機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 高压注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	○	12		
		分解点検		104M	—	12	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
4 A 高压注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
4 B 高压注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	13		
		分解点検		104M	—	13	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
4 B 高压注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
4 A 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	12		
4 B 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 C 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 D 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C	○	15		
4 B 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C	○	15		
4 A 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C	○	15		
4 B 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C	○	15		
4V-S1-002A 4 A 安全注入系ポンプRWS P 側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-S1-002B 4 B 安全注入系ポンプRWS P 側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-S1-004A 4 A 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	高	130M	—	15		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15		
4V-S1-004B 4 B 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	高	130M	○	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	○	11		
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-S1-011A 4 A 高压注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	14		
4V-S1-011B 4 B 高压注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	15		
4V-S1-014A 4 A 高压注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	14		
4V-S1-014B 4 B 高压注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	15		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-SI-015A 4 A 高压注入ポンプ第一ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4V-SI-015B 4 B 高压注入ポンプ第一ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-SI-016A 4 A 高压注入ポンプ第二ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4V-SI-016B 4 B 高压注入ポンプ第二ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-SI-026A 4 A 高压注入ポンプ封水注入ライン止弁	駆動部点検	低	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4V-SI-026B 4 B 高压注入ポンプ封水注入ライン止弁	駆動部点検	低	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-SI-062A 4 A 高压注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	14			
	4V-SI-062B 4 B 高压注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		機能・性能試験		10C	—	12	GN-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-SI-064A 4 A 高压注入ライン隔離逆止弁	分解点検	高	195M	—	7			
4V-SI-064B 4 B 高压注入ライン隔離逆止弁	分解点検	高	195M	—	6				
4V-SI-066A 4 A B 高压注入ポンプ出口連絡弁 A	駆動部点検	高	130M	—	13				
	分解点検		130M	—	13				
	電動機分解点検		130M	—	13				
4V-SI-066B 4 A B 高压注入ポンプ出口連絡弁 B	駆動部点検	高	130M	—	14				
	分解点検		130M	—	14				
	電動機分解点検		130M	—	14				
4V-SI-067A 4号 A B ループ高温側高压注入ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	7				
	分解点検		130M	—	7				
	電動機分解点検		130M	—	7				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術				
4V-SI-067B 4号 C Dループ高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	8						
		分解点検							130M	—	11	
		電動機分解点検							130M	—	8	
4V-SI-072A 4号 Aループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-072B 4号 Bループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	14	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-072C 4号 Cループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	15	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-072D 4号 Dループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	6	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-079A 4号 Aループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-079B 4号 Bループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-079C 4号 Cループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-079D 4号 Dループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	10	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-082A 4号 Aループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-082B 4号 Bループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-082C 4号 Cループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-082D 4号 Dループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査					
4V-SI-093A 4号 A C/V再循環サンプル外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9						
		分解点検							130M	—	9	
		電動機分解点検							130M	—	9	
4V-SI-093B 4号 B C/V再循環サンプル外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10						
		分解点検							130M	—	10	
		電動機分解点検							130M	—	10	
4V-SI-095A 4号 A 安全注入系ポンプC/V再循環サンプル側入口逆止弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加				
4V-SI-095B 4号 B 安全注入系ポンプC/V再循環サンプル側入口逆止弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加				
4V-SI-132A 4号 A 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	12						
		分解点検							130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		電動機分解点検							130M	—	12	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-SI-132B 4 D 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	15			
	4V-SI-132C 4 C 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	14			
	4V-SI-132D 4 D 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
		分解点検		130M	○	15	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	15			
	4V-SI-133A 4 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GM-85 1次系弁検査		
4V-SI-133B 4 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	13				
	分解点検		130M	—	13				
	機能・性能試験		10C	—	13	GM-85 1次系弁検査			
4V-SI-133C 4 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	14				
	分解点検		130M	—	14				
	機能・性能試験		10C	—	14	GM-85 1次系弁検査			
4V-SI-133D 4 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	15				
	分解点検		130M	—	15				
	機能・性能試験		10C	—	15	GM-85 1次系弁検査			
4V-SI-134A 4 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	13	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
4V-SI-134B 4 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	15	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
4V-SI-134C 4 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	7	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
4V-SI-134D 4 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	15	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
4V-SI-135A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	7				
	分解点検		130M	—	7				
	機能・性能試験		10C	—	7	GM-85 1次系弁検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-SI-135B 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SI-135C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SI-135D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁	駆動部点検	低	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SI-136A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	○	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-SI-136B 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	○	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-SI-136C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-SI-136D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-SI-143 4号 安全注入系逆止弁テストライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SI-144 4号 安全注入系逆止弁テストライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SI-154 4号 蓄圧タンク補給ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SI-165 4号 蓄圧タンク窒素供給ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		65M	○	11		
4V-SI-169 4号 蓄圧タンク窒素供給ライン安全弁	分解点検	低	130M	—	7			
	漏えい試験		10C	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	7			
4V-SI-172A 4 A 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11			
	漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	11			
4V-SI-172B 4 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	15			
	漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	11			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-S1-172C 4 C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-S1-172D 4 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	15	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15		
原子炉冷却系統施設 (化学体積制御系統設備)	4 A 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	15		
	4 A 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 B 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	15		
	4 B 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	12		
	4 C 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	15		
		機能・性能試験		1C	○	15		
	4 C 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	15		
	4号 体積制御タンク	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 非再生冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M	—	15		
	4号 再生熱交換器	外観点検	高	1C	○	15		
	4号 封水冷却器	開放点検	高	130M	—	12		
	4号 冷却材フィルタ	開放点検	高	26M	○	14		
	4 A 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	14		
	4 D 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	15		
	4 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	14		
	4 D 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	15		
	4号 封水ストレーナ	開放点検	高	78M	○	11		
	4 A 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	15		
	4 D 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	15		
4号 冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C	○	15			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4FCV-138 4号 充てんライン流量制御弁	駆動部点検	高	52M	—	15			
		分解点検		13M	○	15			
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-85 1次系弁検査		
	4FCV-140 4号 封水注入ライン流量制御弁	駆動部点検	高	52M	—	14			
		分解点検		13M	○	15			
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-85 1次系弁検査		
	4HCV-190 4号 余剰抽出流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査		
	4LCV-451 4号 抽出ライン第一止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		39M	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		3C	—	14			
	4LCV-452 4号 抽出ライン第二止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		39M	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		3C	—	14			
	4FCV-104 4号 抽出ライン圧力制御弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		13M	○	15			
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-85 1次系弁検査		
	4TCV-104 4号 冷却材脱塩塔入口三方弁	駆動部点検	高	52M	—	13			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
	4HCV-102 4号 低圧抽出ライン流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
	4HCV-108 4号 冷却材陽イオン脱塩塔通水流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
4LCV-121A 4号 V C T 入口三方弁	駆動部点検	高	130M	—	14				
	分解点検		130M	—	12				
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4LCV-121B 4号 VCT第一出口弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	14			
	4LCV-121C 4号 VCT第二出口弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	13			
	4LCV-121D 4号 CHP非常用補給弁A	駆動部点検	高	130M	○	6			
		分解点検		130M	○	11			
		機能・性能試験		10C	○	6	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	○	6			
4LCV-121E 4号 CHP非常用補給弁B	駆動部点検	高	130M	○	6				
	分解点検		130M	○	11				
	機能・性能試験		10C	○	6	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	○	6				
4V-CS-005A 4 A 抽出オリフィス出口内隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	13				
	分解点検		130M	—	11	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CS-005B 4 D 抽出オリフィス出口内隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	15				
	分解点検		130M	—	10	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CS-005C 4 C 抽出オリフィス出口内隔離弁	駆動部点検	高	52M	○	12				
	分解点検		130M	—	10	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CS-006 4号 抽出オリフィス逃がし弁	分解点検	低	130M	○	12				
	漏えい試験		10C	○	12	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	○	12				
4V-CS-008 4号 抽出ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8				
	分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CS-022 4号 抽出ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	—	7				
	漏えい試験		10C	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	7				
4V-CS-025 4号 冷却材脱塩塔入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	15				
4V-CS-026A 4 A 冷却材脱塩塔式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	○	6				
	分解点検		130M	○	6				
	機能・性能試験		10C	○	6	GN4-85 1次系弁検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-CS-026B 4 B 冷却材脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-038 4号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-048 4号 冷却材脱塩塔出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	12			
	4V-CS-090 4号 抽出ラインVCT移送逆止弁	分解点検	高	130M	—	15			
	4V-CS-128 4号 VCTカバーガス供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	15	GN4-87 1次系逆止弁検査		
	4V-CS-134 4号 VCT逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4V-CS-152 4号 VCT出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	15			
	4V-CS-162A 4A CHPミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	7			
	4V-CS-162B 4B CHPミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	8			
	4V-CS-162C 4C CHPミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	9			
	4V-CS-165A 4A CHP出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	7			
	4V-CS-165B 4B CHP出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	8			
	4V-CS-165C 4C CHP出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	9			
	4V-CS-215 4号 充てん流量制御補助オリフィス切替弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-217 4号 充てんライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	12			
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-CS-220 4号 充てんライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
分解点検		130M		—	12	GN4-86 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
電動機分解点検		130M		—	12				
4V-CS-222 4号 充てんライン隔離逆止弁	分解点検	高	130M	—	15				
4V-CS-227 4号 加圧器補助スプレイ弁	駆動部点検	高	130M	—	11				
	分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	11				



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CS-229 4号 加圧器補助スプレイ逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-233 4号 Dループ充てんライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	14	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-235 4号 Dループ充てんライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	14	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-236 4号 Dループ充てんライン弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
分解点検		65M		—	15			
機能・性能試験		5C		—	15	GM4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-253 4号 封水注入流量制御補助オリフィス切替弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
分解点検		130M		—	7			
	4V-CS-271A 4 A R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
分解点検		130M		—	11			
機能・性能試験		10C		—	11	GM4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	11			
	4V-CS-271B 4 B R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
分解点検		130M		—	12			
機能・性能試験		10C		—	12	GM4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	12			
	4V-CS-271C 4 C R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	13		
分解点検		130M		—	13			
機能・性能試験		10C		—	13	GM4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	13			
	4V-CS-271D 4 D R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	14		
分解点検		130M		—	14			
機能・性能試験		10C		—	14	GM4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	14			
	4V-CS-276A 4 A R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-276B 4 B R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	9	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-276C 4 C R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	○	6	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-276D 4 D R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	7	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278A 4 A R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278B 4 B R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	9	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278C 4 C R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	○	6	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278D 4 D R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	7	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-283 4号 R C Pバージ水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	低	130M	—	15		
漏えい試験		10C		—	15	GM4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		—	15			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CS-294A 4 A 封水戻りオリフィスバイパス弁	駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
	4V-CS-294B 4 B 封水戻りオリフィスバイパス弁	駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
	4V-CS-294C 4 C 封水戻りオリフィスバイパス弁	駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
	4V-CS-294D 4 D 封水戻りオリフィスバイパス弁	駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
	4V-CS-301 4号 余剰抽出ライン第一止弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
	4V-CS-302 4号 余剰抽出ライン第二止弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
	4V-CS-306 4号 余剰抽出冷却器出口三方弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-307 4号 RCP封水戻りライン逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GM4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CS-310 4号 RCP封水戻りライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
	分解点検		130M	—	11	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M	—	11			
4V-CS-311 4号 RCP封水戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
	分解点検		130M	—	12	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M	—	12			
4V-CS-322 4号 封水冷却器入口戻り水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10			
	漏えい試験		10C	—	10	GM4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	10			
4PCV-0122A 4号 VCT水素放出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
	分解点検		65M	—	15			
4PCV-0122B 4号 VCT窒素放出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
	分解点検		65M	—	15			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	原子炉補機冷却水系 弁 9 個	機能・性能試験	高	1C	○	15	G4-15 原子炉補機冷却系機能検査	
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
		機能・性能試験		4C	—	13	G4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	14		
		機能・性能試験		4C	—	14	G4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	15		
		機能・性能試験		4C	—	15	G4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	12		
		機能・性能試験		4C	○	12	G4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	12		
	4 A 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(重鉛板取替他)	高	13M	○	15		定期事業者検査(非破壊試験)は、第12回定検にて実施 定期事業者検査(開放点検)は、第14回定検にて実施
		開放点検		26M	○	15	G4-92 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	○	15		
	4 B 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(重鉛板取替他)	高	13M	○	15		定期事業者検査(非破壊試験)は、第13回定検にて実施
		開放点検		26M	—	15	G4-92 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	15		
	原子炉補機冷却水サージタンク	開放点検	高	65M	—	15		
	4L CV-1200 4号 C CWサージタンク水位制御弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4V-CCT-101 原子炉補機冷却水サージタンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	G4-88 1次系真空破壊弁検査		
	外観点検		10C	—	10			
4V-CC-010 4号 C CWサージタンク逃がし弁	分解点検	低	195M	—	15			
	漏えい試験		15C	—	15	G4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		15C	—	15			
4V-CC-014A 4号 C CWサージライン止弁A	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-014B 4号 C CWサージライン止弁B	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CC-024 4号 C C Wサージタンク 補給ライン連絡弁	分解点検	高	195M	—	15		
	4V-CC-025 4号 C C Wサージタンク B側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-026 4号 C C Wサージタンク A側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-042 4 C C C W戻り母管止弁	駆動部点検	高	195M	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		195M		—	11			
電動機分解点検		130M		—	10			
	4V-CC-043A 4 A C C C W戻り母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-043B 4 B C C C W戻り母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-052A 4 A C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	○	1		
	4V-CC-052B 4 B C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	2		
	4V-CC-052C 4 C C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	11		
	4V-CC-052D 4 D C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	13		
	4RCV-056 4号 C C Wサージタンク 逃がしライン止弁	駆動部点検	低	130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		195M		—	10			
機能・性能試験		15C		—	10			
	4V-CC-056A 4 A C C W供給母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-056B 4 B C C W供給母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-057A 4号 C C W P 出口連絡弁 A	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-057B 4号 C C W P 出口連絡弁 B	分解点検	高	195M	—	—		第1 4回定検より追加
	4V-CC-058 4 C C C W供給母管止弁	駆動部点検	高	195M	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		195M		—	11			
電動機分解点検		130M		—	10			
	4V-CC-063A 4 A C C W P 出口弁	駆動部点検	高	195M	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		195M		—	5			
機能・性能試験		15C		—	5			
電動機分解点検		130M		—	15			
	4V-CC-063B 4 B C C W P 出口弁	駆動部点検	高	195M	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		195M		—	5			
機能・性能試験		15C		—	5			
電動機分解点検		130M		—	15			
	4V-CC-063C 4 C C C W P 出口弁	駆動部点検	高	195M	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		195M		—	4			
機能・性能試験		15C		—	4			
電動機分解点検		130M		—	14			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CC-063D 4 D C C W 出口弁		駆動部点検	高	195M	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		195M	—	4		
		機能・性能試験		15C	—	4		
		電動機分解点検		130M	—	14		
4V-CC-064A 4 A C C W 冷却器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-064B 4 B C C W 冷却器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-065 4 C C C W 戻り母管透がし弁		分解点検	低	195M	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		15C	—	11		
		機能・性能試験		15C	—	11		
4V-CC-082 4 号 AM用窒素マニホールド出口弁		分解点検	高	195M	—	10		
4V-CC-082 4 号 AM用窒素マニホールド出口ライン安全弁		分解点検	高	195M	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		15C	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7		
4V-CC-106A 4 A B C C W Pモータ C C W 出口止弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-107A 4 A R H R 冷却器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-107B 4 B R H R 冷却器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-114A 4 A R H R 冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		195M	—	5		
		機能・性能試験		15C	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	15		
4V-CC-114B 4 B R H R 冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		195M	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-118B 4 B S I Pモータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-119B 4 B S I P 油冷却器 C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-120B 4 B S I P C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-124A 4 A R H R P、ポンプ、モータ C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-127A 4 A S I P、ポンプ、モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-127B 4 B S I P、ポンプ、モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-133 4 号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第1入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-134 4 号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第2入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-135 4 号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第1出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-136 4 号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第2出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
4V-CC-137 4 号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-CC-149A 4 A SFP冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	—	7			
		分解点検		195M	—	7			
		機能・性能試験		15C	—	7	G4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-CC-149B 4 B SFP冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	—	10			
		分解点検		195M	—	10			
		機能・性能試験		15C	—	10	G4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	10			
	4V-CC-165 4号 封水冷却器CCW出口止弁A	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
	4V-CC-178A 4 A C/Vスプレー冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	—	7			
		分解点検		195M	—	7			
		機能・性能試験		15C	—	7	G4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	7				
4V-CC-178B 4 B C/Vスプレー冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	—	10				
	分解点検		195M	—	10				
	機能・性能試験		15C	—	10	G4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	10				
4V-CC-189A 4 AB C/V再循環ユニットCCW入口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M	—	7				
	分解点検		195M	—	7	G4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	7				
4V-CC-189B 4 CD C/V再循環ユニットCCW入口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M	—	3				
	分解点検		195M	—	3	G4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	7				
4V-CC-195A 4 AB C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11				
	漏えい試験		10C	—	11	G4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	11				
4V-CC-195B 4 CD C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	—	12				
	漏えい試験		10C	—	12	G4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	12				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CC-198A 4 A C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	○	1		
		分解点検		195M	○	1	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-198B 4 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	○	1		
		分解点検		195M	○	1	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-198C 4 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-198D 4 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-207A 4 A 制御用空気圧縮装置CCW出口弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-207B 4 B 制御用空気圧縮装置CCW出口弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-210 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口弁		駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-211 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口弁		駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-212 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	15			
4V-CC-213 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口ライン逃がし弁		分解点検	高	130M	—	15		
		漏えい試験		10C	—	15	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	15		
4V-CC-222B 4 B CHP CCW入口ライン第2切替弁B	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-223A 4 A CHP ポンプ、モータCCW出口弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-223C 4 C CHP ポンプ、モータCCW出口弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-229B 4 B CHPモータCCW入口弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-235B 4 B CHP CCW出口ライン第1切替弁B	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-348 4号 CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	9		
		分解点検		195M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-401 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン止弁		駆動部点検	高	195M	—	8		
		分解点検		195M	—	5	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CC-403 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	3	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		195M	—	3		
		電動機分解点検		130M	—	13		
4V-CC-405 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン隔離逆止弁		分解点検	高	130M	—	15		
4FCV-1319 4A RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4FCV-1320 4B RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4FCV-1321 4C RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
4FCV-1322 4D RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
4V-CC-421A 4A RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11	GN-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-421B 4B RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11	GN-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-421C 4C RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11	GN-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-421D 4D RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11	GN-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-425 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW出口ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11	GN-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-427 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	14	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	14		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-429 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	7	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		195M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-PS-002B 4B CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(継手側)		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-PS-006B 4B CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(軸端側)		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4個	機能・性能試験	高	1C	○	15	G4-15 原子炉補機冷却系機能検査		
	4 A 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	14		第1.5回定検で取替	
		分解点検		26M	○	14	G4-121 2次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	○	12			保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	○	14	G4-122 2次系ポンプ機能検査		第1.5回定検で取替
	4 A 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	○	15			
		分解点検		52M	—	15			
	4 B 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	14		第1.5回定検で取替	
		分解点検		26M	○	14	G4-121 2次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	○	12			保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	○	14	G4-122 2次系ポンプ機能検査		第1.5回定検で取替
	4 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	○	15			
		分解点検		52M	○	13			
	4 C 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	14		第1.5回定検で取替	
		分解点検		26M	—	13	G4-121 2次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	○	12			保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	—	13	G4-122 2次系ポンプ機能検査		第1.5回定検で取替
	4 C 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	—	15			
		分解点検		52M	—	13			
	4 D 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	14		第1.5回定検で取替	
		分解点検		26M	—	13	G4-121 2次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	○	12			保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	—	13	G4-122 2次系ポンプ機能検査		第1.5回定検で取替
	4 D 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	—	15			
分解点検		52M		—	15				
4V-SW-502A 4 A SWP 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	13				
4V-SW-502B 4 B SWP 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	13				
4V-SW-502C 4 C SWP 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	12				
4V-SW-502D 4 D SWP 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	12				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4S-SW-507A 4 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	15		
	4S-SW-507B 4 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	15		
	4S-SW-507C 4 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	15		
	4S-SW-507D 4 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	15		
	4V-SW-509A 4 A SWP 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	14		
	4V-SW-509B 4 B SWP 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	15		
	4V-SW-509C 4 C SWP 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	14		
	4V-SW-509D 4 D SWP 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	15		
	4V-SW-590A 4号 海水供給母管連絡弁 A	駆動部点検	高	130M	—	9	GN4-123 2次系弁検査	
分解点検		65M		—	14			
電動機分解点検		130M		—	8			
	4V-SW-590B 4号 海水供給母管連絡弁 B	駆動部点検	高	130M	—	9	GN4-123 2次系弁検査	
分解点検		65M		—	14			
電動機分解点検		130M		—	9			
	4V-SW-570A 4 A CCW冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		130M		—	9			
電動機分解点検		130M		—	9			
	4V-SW-570B 4 B CCW冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		130M		—	10			
電動機分解点検		130M		—	7			
	海水配管(屋外)	開放点検	高	39M	○	15		
	海水配管(屋内)	開放点検	高	65M	○	14		
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを 監視する装置)	格納容器サンプ水位上昇率測定装置、格納容器内凝縮液量測定装置及び炉 内計装用シンプル配管室漏えい検出装置	機能・性能試験	低	1C	○	15	GN4-79 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量 測定装置漏えい検出器機能検査	
計測制御系統施設 (制御材)	1. 停止グループ制御棒クラスタ 24本 2. 制御グループ制御棒クラスタ 29本	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-30 制御棒駆動系機能検査 GN4-107 制御棒クラスタ動作検査	
	1. 制御棒クラスタ 2. パーナブルボイズン 3. 2次中性子源 4. ブラッキングデバイス	外観点検	高	1C	○	15	GN4-108 制御棒クラスタ検査	※:炉心設計による

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 (制御棒駆動装置)	制御棒位置指示装置	特性試験	低	13M	○	15	G4-109 制御棒位置指示装置設定値検査		
		4 A MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
			普通点検(軸受点検)		39M	—	15		
	分解点検		65M		—	15			
	4 B MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)	
		普通点検(軸受点検)		39M	○	13			
		分解点検		65M	—	13			
	4 A MGセット用電動機	分解点検	低	39M	—	15		(振動診断: 1ヶ月)	
	4 B MGセット用電動機	分解点検	低	39M	○	13		(振動診断: 1ヶ月)	
	計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	4 A ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
分解点検			39M		○	13	G4-51 ほう酸ポンプ分解検査		
機能・性能試験			1C		○	15	G4-56 ほう酸ポンプ機能検査		
4 A ほう酸ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	13		(振動診断: 1ヶ月)	
4 B ほう酸ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)	
		分解点検		39M	—	14	G4-31 ほう酸ポンプ分解検査		
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-56 ほう酸ポンプ機能検査		
4 B ほう酸ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	14		(振動診断: 1ヶ月)	
4 A ほう酸タンク		開放点検	高	130M	—	11			
4 B ほう酸タンク		開放点検	高	130M	—	11			
4号 ほう酸フィルタ		開放点検	高	65M	—	12			
4FCV-220A 4号 ほう酸補給ライン流量制御弁		駆動部点検	低	130M	—	14		G4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14			
4FCV-220B 4号 ほう酸混合器VCT出口側補給弁		駆動部点検	低	130M	—	13		G4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13			
4FCV-223A 4号 1次系純水補給ライン流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	11		G4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11			
4FCV-223B 4号 ほう酸混合器VCT入口側補給弁		駆動部点検	低	130M	—	13		G4-85 1次系弁検査	
	分解点検	39M		—	15				
	機能・性能試験	3C		—	15				
4V-CS-462A 4 A B A T 入口弁	駆動部点検	低	130M	—	14		G4-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	14				
	機能・性能試験		10C	—	14				
4V-CS-462B 4 B B A T 入口弁	駆動部点検	低	130M	—	13		G4-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	13				
	機能・性能試験		10C	—	13				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CS-473 4号 ほう酸補給タンク出口逆止弁	分解点検	低	130M	—	8	G4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-CS-478A 4 A B A T 出口弁	駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	G4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-478B 4 B B A T 出口弁	駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	G4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-486A ほう酸ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	10		
	4V-CS-486B ほう酸ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	10		
	4V-CS-500A 4 A B A T 循環弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	G4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-500B 4 B B A T 循環弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	G4-85 1次系弁検査	
	4V-CST-501A 4 A ほう酸タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	G4-88 1次系真空破壊弁検査	
		外観点検		10C	—	10		
	4V-CST-501B 4 B ほう酸タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	G4-88 1次系真空破壊弁検査	
		外観点検		10C	—	10		
	4V-CS-502 4号 B A T 室薬供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	○	6	G4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-CS-505A 4 A B A T 逃がし弁	分解点検	低	130M	○	6		
		漏えい試験		10C	○	6	G4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	6		
	4V-CS-505B 4 B B A T 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		
漏えい試験		10C		—	11	G4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		—	11			
4V-CS-526 4号 緊急ほう酸注入弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
	分解点検		130M	—	14			
	機能・性能試験		10C	—	14	G4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	—	14			
B 1次系純水タンク	開放点検	低	130M	—	13			
V-PMT-102B B 1次系純水タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	○	11	G4-88 1次系真空破壊弁検査		
V-PMT-106B B 1次系純水タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	G4-88 1次系真空破壊弁検査		
V-PH-505B B P M T 出口弁	駆動部点検	低	130M	—	8			
	分解点検		130M	—	8			
	機能・性能試験		10C	—	8	G4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	V-PM-517B B PMT ミニフロー切替弁	駆動部点検	低	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		機能・性能試験		10C	—	8	GM4-85 1次系弁検査		
	V-PM-545B 脱気水B PMTバイパス逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	GM4-87 1次系逆止弁検査		
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用空気4号側連絡弁 1台 3. 制御用空気供給母管連絡弁 2台 4. 制御用空気格納容器内供給元弁 2台	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM4-32 制御用空気圧縮系機能検査		
	4 A 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
		分解点検		26M	○	14			
	4 A 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	○	14		(振動診断:切替毎)	
	4 B 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
		分解点検		26M	—	15			
	4 B 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	—	15		(振動診断:切替毎)	
	4 A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	○	12			
	4 B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	14			
	4 A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	○	12			
	4 B 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	—	14			
	4 A 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	—	15			
	4 B 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	—	14			
	4 A 制御用空気除湿装置 A 1 吸着塔	開放点検	高	26M	○	14			
	4 A 制御用空気除湿装置 A 2 吸着塔	開放点検	高	26M	—	15			
	4 B 制御用空気除湿装置 B 1 吸着塔	開放点検	高	26M	○	14			
	4 B 制御用空気除湿装置 B 2 吸着塔	開放点検	高	26M	—	15			
	4 A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15			
		分解点検		52M	—	13			
	4 A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	—	13			
	4 B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15			
		分解点検		52M	○	12			
	4 B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	○	12			
	4V-1A-501A 4 A 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12	GM4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	9			
	4V-1A-501B 4 B 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
分解点検		130M		—	12	GM4-85 1次系弁検査			
電動機分解点検		130M		—	8				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
4V-IA-505A 4 A 制御用空気主蒸気逃がし弁等供給元弁	4V-IA-505A 4 A 制御用空気主蒸気逃がし弁等供給元弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
		分解点検		130M	—	9			
		機能・性能試験		10C	—	9	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	9			
	4V-IA-505B 4 B 制御用空気主蒸気逃がし弁等供給元弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-IA-508A 4 A 制御用空気供給ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	14			
	4V-IA-508B 4 B 制御用空気供給ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
分解点検		130M		—	15	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
電動機分解点検		130M		—	15				
4V-IA-510A 4 A 制御用空気格納容器内供給元弁	駆動部点検	高	130M	—	9				
	分解点検		130M	—	9				
	電動機分解点検		130M	—	9				
4V-IA-510B 4 B 制御用空気格納容器内供給元弁	駆動部点検	高	130M	—	8				
	分解点検		130M	—	8				
	電動機分解点検		130M	—	8				
4V-IC-003A 4 A インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	—	14				
	漏えい試験		10C	—	14	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	14				
4V-IC-003B 4 B インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	—	13				
	漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	13				
4V-IC-008A 4 A ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	—	9				
	漏えい試験		10C	—	9	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	9				
4V-IC-008B 4 B ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	—	10				
	漏えい試験		10C	—	10	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	10				
4V-IC-014A 4 A 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	—	13				
	漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	13				
4V-IC-014B 4 B 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	—	14				
	漏えい試験		10C	—	14	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	14				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-IC-022A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-022B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-023A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-023B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-024A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-024B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-025A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-025B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-032A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-032B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-033A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-033B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-037A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-037B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-038A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-038B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	—	15			
	4V-IC-093A 4 A 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	14			
	4V-IC-093B 4 B 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	15			
	計測制御系統施設 (その他設備)	原子炉トリップ遮断器盤	機能・性能試験	高	1C	○	15		
		原子炉トリップ遮断器 (RTA-1)	機能・性能試験	高	1C	○	15		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTA-2)	機能・性能試験	高	1C	○	15		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTB-1)	機能・性能試験	高	1C	○	15		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTB-2)	機能・性能試験	高	1C	○	15		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTC-1)	機能・性能試験	高	1C	○	15		
蓄勢部点検			78M		—	11			
原子炉トリップ遮断器 (RTC-2)		機能・性能試験	高	1C	○	15			
		蓄勢部点検		78M	—	11			
原子炉トリップ遮断器 (RTD-1)		機能・性能試験	高	1C	○	15			
	蓄勢部点検	78M		—	11				
原子炉トリップ遮断器 (RTD-2)	機能・性能試験	高	1C	○	15				
	蓄勢部点検		78M	—	11				
1. 原子炉保護系ロジック回路 29回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 26回路	機能・性能試験	高	1C	○	15		GM-33 安全保護系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 68個 設定器(保護継電器含む) 146個 (2) 核計測装置 設定器 20個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 現場指示計 11個 中央制御室指示計 20個 (2) 核計測装置 中央制御室指示計 8個	特性試験	高	13M	○	15	GN4-34 安全保護系設定値確認検査	
	1. パーミッシブロジック回路 (原子炉保護系ロジック関連) 5回路 2. パーミッシブロジック回路 (安全防護系ロジック関連) 1回路	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-111 安全保護系機能検査(パーミッシブロジック検査)	
	事故時監視計器 指示計 35個	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 ・格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	低	1C	○	15		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	13M	○	15	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
	原子炉、タービン及び発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-113 総合インターロック検査	
	炉外核計測装置 1. 中性子線領域計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台	特性試験	高	13M	○	15	GN4-106 核計装設備検査	一部定検起動後
	炉内核計装装置 1式	機能・性能試験	低	1C	○	15	GN4-106 核計装設備検査	
	原子炉安全保護計装盤 1式	特性試験 機能・性能試験	高 高	13M 1C	○ ○	15 15		
	原子炉安全保護シーケンス盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	炉外核計装保護盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	6. 6 k V非常用母線電圧保護継電器 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	1次冷却材ポンプ電源監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	事故時放射線監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	制御用空気圧縮機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	制御用空気除湿装置制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	計装電源盤(後備電源盤・切替盤・分電盤含む) 1式	特性試験他	高	13M	○	15		
	ディーゼル発電機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	中央制御室外換気空調盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	主盤 1式	外観点検	高	1C	○	15		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	15		
	原子炉関連盤 1式	外観点検	高	1C	○	15		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	15		
	所内盤 1式	外観点検	高	1C	○	15		
	空調用冷凍機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	電気ベネトレーション 1式	外観点検	高	1C	○	15		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	その他設備 1式	特性試験	高	13M	○	15		
	運転指令設備(ページング装置)(3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	緊急時運転パラメータ伝送システム(SPOS)(3,4号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	15		定検停止中又はプラント運転中
計測制御施設 (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置)	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 27回路	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	周辺監視カメラ他(3,4号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	4号 加圧器逃がしタンク	開放点検	低	39M	○	13		
	4号 格納容器冷却材ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	15		
	4号 格納容器サンプ	外観点検	低	1C	○	15		
	4号 補助建屋サンプタンク	開放点検	低	3Y	—	2023年度		プラント運転中
	4号 補助建屋サンプフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2022年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
	4 A 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	—	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	—	15		
		機能・性能試験		3C	—	15	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 D 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	15		
		機能・性能試験		3C	—	15	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	—	2022年度		
		機能・性能試験		6F	—	2022年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6Y	—	2022年度		
		機能・性能試験		6F	—	2022年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 D 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	—	2023年度		
		機能・性能試験		6F	—	2023年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6Y	—	2023年度		
		機能・性能試験		6F	—	2023年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		
		分解点検		78M	—	12		
機能・性能試験		6C		—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査		
4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	15			
	機能・性能試験		3C	—	15	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査		
4 D 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15			
	分解点検		78M	—	15			
	機能・性能試験		6C	—	15	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	15		
		機能・性能試験		3C	—	15		
A 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2023年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2018年度		
		機能・性能試験		6F	○	2018年度		
A 洗浄排水モニタポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	○	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	○	2018年度		
B 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2023年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
B 洗浄排水モニタポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
洗浄排水濃縮液移送ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2023年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2023年度		
雑固体溶融処理建屋床ドレンサンプタンク		開放点検	低	5Y	—	2023年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋洗浄排水サンプタンク		開放点検	低	5Y	—	2022年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋床ドレン送水ポンプ		分解点検	低	6Y	○	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	○	2019年度		
雑固体溶融処理建屋床ドレン送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
雑固体溶融処理建屋洗浄排水送水ポンプ		分解点検	低	6Y	○	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	○	2018年度		
雑固体溶融処理建屋洗浄排水送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	○	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	○	2018年度		
4V-WL-088 4号 CVD T G. Aライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		65M	—	12		
4V-WL-089 4号 CVD T G. Aライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		65M	—	12		
4V-WL-093 4号 CVD Tベントライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	13		
4V-WL-094 4号 CVD Tベントライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	13		
4V-WL-098 4号 CVD T窒素供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		65M	—	14		
4V-WL-143 4号 C/Vサンプポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-WL-144 4号 C/V サンプポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4L-CV-1000 4号 C/V 冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		52M	○	15	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-WL-043 4号 C/V 冷却材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	○	15	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-WL-008 4号 CVD T逃がし弁		分解点検	低	130M	—	13		
		漏えい試験		10C	—	13	GN-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-WL-093 4号 CVD T室薬供給ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	10	GN-87 1次系逆止弁検査	
4V-WL-152 4号 凝縮液量測定装置脱塩水逆止弁		分解点検	低	130M	—	7	GN-87 1次系逆止弁検査	
洗浄排水処理装置 1式		分解・開放点検	低	3Y~10Y	—	2022年度		プラント運転中
A 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中
B 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中
洗浄排水濃縮液タンク		開放点検	低	10Y	—	2022年度		プラント運転中
洗浄排水濃縮液移送容器		開放点検	低	10Y	—	2023年度		プラント運転中
V-WL-332 洗浄排水処理装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度		
		漏えい試験		10F	—	2016年度	GN-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
V-WL-750 洗浄排水濃縮液タンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度		
		漏えい試験		10F	—	2015年度	GN-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F	—	2015年度		
V-WL-306 洗浄排水処理装置薬品注入ライン逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-325 洗浄排水処理装置蒸発器洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-326 洗浄排水処理装置蒸発器上部洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-328 洗浄排水処理装置精留塔洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-334 洗浄排水処理装置室薬供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-741 洗浄排水濃縮液タンク室薬供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-753 洗浄排水濃縮液移送ポンプ入口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-768 洗浄排水濃縮液移送ポンプ出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
雑固体溶融処理設備		機能・性能試験	低	1C	○	15	GN-118 固体廃棄物処理系溶融炉運転性能検査	プラント運転中
雑固体溶融処理設備 1式		開放点検	低	2Y	○	2023年度		プラント運転中
V-WM-200 溶融炉逃がし弁		分解点検	低	4Y	○	2020年度		
		漏えい試験		4F	○	2020年度	GN-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験		4F	○	2020年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術			
	V001A ドレンセパレータA安全弁	分解点検	低	4Y	○	2020年度	GM4-86 1次系安全弁検査	プラント運転中			
		漏えい試験		4F	○	2020年度					
		機能・性能試験		4F	○	2020年度					
		外観点検		4F	○	2020年度					
	V001B ドレンセパレータB安全弁	分解点検	低	4Y	○	2020年度	GM4-86 1次系安全弁検査	プラント運転中			
		漏えい試験		4F	○	2020年度					
		機能・性能試験		4F	○	2020年度					
		外観点検		4F	○	2020年度					
	V008 レンジバタンク安全弁	分解点検	低	4Y	—	2023年度	GM4-86 1次系安全弁検査	プラント運転中			
		漏えい試験		4F	—	2023年度					
		機能・性能試験		4F	—	2023年度					
		外観点検		4F	—	2023年度					
	V-WM-001 燃焼空気ファン出口逆止弁	分解点検	低	4Y	○	2020年度	GM4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中			
		V-WM-013 Co/F入口給気逆止弁		分解点検	低	4Y			○	2020年度	GM4-87 1次系逆止弁検査
		V-WM-015 Co/F戻取出装置バージ空気逆止弁		分解点検		4Y			○	2020年度	
		V-WM-018 Co/F逆流ノズルバージ空気入口逆止弁		分解点検	低	4Y			○	2020年度	GM4-87 1次系逆止弁検査
放射線廃棄物の廃棄施設 (原子炉格納容器本体以外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃 棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置)	補助建屋サブタンク	機能・性能試験	低	1C	○	15	GM4-69 流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能 検査				
	格納容器サブ	機能・性能試験	低	1C	○	15					
	罐固体溶解処理建屋サブタンク室	機能・性能試験	低	1C	○	2023年度		プラント運転中			
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	格納容器内高レンジエリアモニタ 4台	特性試験	高	13M	○	15	GM4-209 エリアモニタ機能検査				
	1. エリアモニタ 8台 2. プロセスモニタ 17台	特性試験 機能・性能試験	低	13M 1C	○ ○	15 15	GM4-77 放射線監視装置機能検査				
放射線管理施設 (換気設備)	4V-HC-305A 4号 C/V水素バージ給気ライン外隔離弁A	駆動部点検		高	130M	○		6	GM4-85 1次系弁検査		
		分解点検	130M		○	6					
		機能・性能試験	10C		○	6					
	4V-HC-305B 4号 C/V水素バージ給気ライン外隔離弁B	駆動部点検	高	130M	○	6	GM4-85 1次系弁検査				
		分解点検		130M	○	6					
		機能・性能試験		10C	○	6					
	4V-HC-307A 4号 C/V水素バージ給気ライン内隔離弁A	駆動部点検	高	130M	—	7	GM4-85 1次系弁検査				
		分解点検		130M	—	7					
		機能・性能試験		10C	—	7					
		電動機分解点検		130M	—	7					
	4V-HC-307B 4号 C/V水素バージ給気ライン内隔離弁B	駆動部点検	高	130M	—	7	GM4-85 1次系弁検査				
		分解点検		130M	—	7					
機能・性能試験		10C		—	7						
電動機分解点検		130M		—	7						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	格納容器空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	15	G4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	4 D 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 D 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2022年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2023年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2021年度		
	4 A 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2023年度		プラント運転中
	4 D 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2022年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2022年度		
	4 D 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2020年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 D 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 D 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4V-VS-054 4号 C/V給気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4V-VS-055 4号 C/V給気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
	4V-VS-056 4号 C/V排気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	10		
	4V-VS-057 4号 C/V排気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4D-VS-060A 4 A C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-060B 4 D C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-061 4号 C/V排気ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-051A 4 A C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	4D-VS-051B 4 D C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	12		
	4D-VS-062A 4 A C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	4D-VS-062B 4 D C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	12		
	4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	格納容器再循環装置	機能・性能試験	低	1C	○	15	G4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	15		
	4 A 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	15		
	4 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	13		
	4 B 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	○	13		
	4 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	15		
	4 C 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	15		
	4 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	13		
	4 D 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	○	13		
	4 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	15		冷却コイル点検含む
	4 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	15		冷却コイル点検含む
	4 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	15		冷却コイル点検含む
	4 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	15		冷却コイル点検含む
	格納容器空気浄化装置	機能・性能試験	低	1C	○	15	G4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	13		
	4 A 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	13		
	4 B 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	14		
	4 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	15		
	4号 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M	—	15		
	アンユラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	○	15	G4-38 アンユラス循環排気系機能検査	
	4 A アンユラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A アンユラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B アンユラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B アンユラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A アンユラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	15	G4-39 アンユラス循環排気系フィルター性能検査	
		機能・性能試験		2C	—	15		
	4 A アンユラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4 B アンユラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	14	G4-39 アンユラス循環排気系フィルター性能検査	
		機能・性能試験		2C	○	14		
	4 B アンユラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4F-VS-101 4号 B アンユラス空気浄化ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-102A 4 A アンユラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-102B 4 B アンユラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-103A 4 A アンユラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-103B 4 B アンユラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4D-VS-101A 4 A アニユラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-101B 4 B アニユラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4V-VS-102A 4 A アニユラス空気浄化全量排気弁	分解点検	高	52M	—	13	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	—	13		
	4V-VS-102B 4 B アニユラス空気浄化全量排気弁	分解点検	高	52M	○	12	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	—	12		
	4V-VS-103A 4 A アニユラス空気浄化少量排気弁	分解点検	高	52M	—	13	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	—	13		
	4V-VS-103B 4 B アニユラス空気浄化少量排気弁	分解点検	高	52M	○	12	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	—	12		
	4D-VS-104A 4 A アニユラス戻りダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-104B 4 B アニユラス戻りダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	補助建屋空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2022年度		ブランド運転中
		分解点検		6Y	—	2020年度		
	4 A 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2022年度		ブランド運転中
	4 B 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2023年度		ブランド運転中
		分解点検		6Y	—	2021年度		
	4 B 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2023年度		ブランド運転中
	4 C 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2022年度		ブランド運転中
分解点検		6Y		—	2022年度			
4 C 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2020年度		ブランド運転中	
4 A 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2022年度		ブランド運転中	
	分解点検		6Y	—	2020年度			
4 A 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2022年度		ブランド運転中	
4 B 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2023年度		ブランド運転中	
	分解点検		6Y	—	2021年度			
4 B 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2023年度		ブランド運転中	
4 C 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2022年度		ブランド運転中	
	分解点検		6Y	—	2022年度			
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2020年度		ブランド運転中	
4 A 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2019年度		ブランド運転中	
4 B 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		ブランド運転中	
4 A 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		ブランド運転中	
4 B 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2021年度		ブランド運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4D-VS-105 4号 排気筒入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-106 4号 排気筒入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-201A 4 A A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	15		
	4D-VS-201B 4 B A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	12		
	4D-VS-201C 4 C A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	4D-VS-207A 4 A A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	15		
	4D-VS-207B 4 B A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	12		
	4D-VS-207C 4 C A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	12		
	安全補機室空気浄化設備	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	○	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	15	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4F-VS-301 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-302 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	15		
	4D-VS-310A 4 A 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-310B 4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-311A 4 A 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-311B 4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4 A 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	○	12	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 A 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	15		
	4 B 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	—	13	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	13		
	4 A 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	○	14	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	—	15	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4F-VS-209 4号 A安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-210 4号 B安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-211 4号 売てんポンプバルブエリア給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-212A 4 A 売てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-212B 4 C 売てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4F-VS-213A 4号 B 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-213B 4号 B 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-214A 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-214B 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-228A 4 A 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4F-VS-228B 4 C 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4F-VS-229A 4号 B 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4F-VS-229B 4号 B 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4F-VS-232 4号 充てんポンプバルブ操作エリア排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4F-VS-233 4号 A 安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4F-VS-234 4号 B 安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	○	14		
	4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4G-VS-303A 4 A 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	15		
	4G-VS-303B 4 B 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	15		
	4G-VS-304A 4 A 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	8		
	4G-VS-304B 4 B 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	9		
	4G-VS-306A 4 A 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	8		
	4G-VS-306B 4 B 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	9		
	4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4 A 安全補機閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	○	14		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	12		
	4 A 安全補機閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	12		(振動診断:切替毎)
	4 B 安全補機閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	—	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 B 安全補機閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	15		(振動診断:切替毎)
	4 A 安全補機閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M	○	14		
	4 B 安全補機閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	15		
	4D-VS-532A 4 A SWGR空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-532B 4 B SWGR空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-533A 4 A SWGR空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-533B 4 B SWGR空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-534A 4 A SWGR空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-534B 4 B SWGR空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4D-VS-535A 4 A SWGR給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	15		
	4D-VS-535B 4 B SWGR給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4F-VS-531A 4 A SWGR室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-531B 4 B SWGR室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-532A 4 A SWGR室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-532B 4 B SWGR室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-533 4号 A EP盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-534A 4 A EP盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-534B 4 B EP盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-535 4号 A継電器室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-536A 4 A 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-536B 4 B 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-537A 4 A 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-537B 4 B 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-538A 4 A インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-538B 4 B インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-542A 4 A EP盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-542B 4 B EP盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-543 4号 A EP盤室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-544A 4 A SWGR室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-544B 4 B SWGR室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-545A 4 A SWGR室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-545B 4 B SWGR室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-546A 4 A 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-546B 4 B 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-547 4号 A継電器室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-551 4号 トレイエリア給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2022年度		プラント運転中
	4 A 中間補機棟空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	—	15		
		分解点検		52M	—	13		
	4 A 中間補機棟空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 中間補機棟空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	○	14		
		分解点検		52M	○	12		
	4 B 中間補機棟空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 A 中間補機棟空調ユニット	開放点検	高	52M	—	13		
	4 B 中間補機棟空調ユニット	開放点検	高	52M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4G-VS-563A 4 A I/B空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	6		
	4G-VS-563B 4 B I/B空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	6		
	4D-VS-564A 4 A I/B給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-564B 4 B I/B給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4F-VS-561A 4 A M/D AFWP室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-561B 4 B M/D AFWP室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-562A 4 A 制御用空気圧縮機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-562B 4 B 制御用空気圧縮機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-563A 4 A D/G電気燃室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-563B 4 B D/G電気燃室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-565A 4 A M/D AFWP室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-565B 4 B M/D AFWP室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-566A 4 A 制御用空気圧縮機室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-566B 4 B 制御用空気圧縮機室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-567A 4 A D/G電気燃室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-567B 4 B D/G電気燃室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	中央制御室空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	○	14		
	4 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	15		
	4 A 中央制御室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	○ ○	14 12		(振動診断:切替毎)
	4 A 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	12		(振動診断:切替毎)
	4 B 中央制御室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	— —	15 14		(振動診断:切替毎)
	4 B 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断:切替毎)
	4 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	○	12		
	4 A 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	12		
	4 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-601A 4 A 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-601B 4 B 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-606A 4 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-606B 4 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4D-VS-607A 4 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-607B 4 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4HCD-2840 4 A 中央制御室外気取入流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4HCD-2843 4 A 中央制御室外気放出流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4HCD-2844 4 A 中央制御室循環流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4HCD-2850 4 B 中央制御室外気取入流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4HCD-2853 4 B 中央制御室外気放出流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4HCD-2854 4 B 中央制御室循環流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4F-VS-601 4号 フラントデータ管理センタ室給気第一防火兼流量設定ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-602 4号 フラントデータ管理センタ室給気第二防火兼流量設定ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-603 4号 中央制御室給気防火兼流量設定ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-606 4号 中央制御室戻り防火ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-607 4号 中央制御室戻り防火兼流量設定ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-611 4号 フラントデータ管理センタ室戻り防火兼流量設定ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM-40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	15	GM-41 中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	
	4 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	14		(振動診断: 1ヶ月)
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4F-VS-604 4号 中央制御室給気第一防火ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-605 4号 中央制御室給気第二防火ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-608 4号 中央制御室非常用循環F/U入口防火ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4F-VS-609 4号 中央制御室非常用循環F/U出口防火兼流量設定ダンバ	機能点検	高	13M	○	15		
	4D-VS-605A 4 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-605B 4 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4HCD-2841 4 A 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4HCD-2842 4 A 中央制御室非常時循環流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4HCD-2851 4 B 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4HCD-2852 4 B 中央制御室非常時循環流量設定ダンバ	駆動部点検	高	52M	○	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	15		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	15		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	○	13		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A ほう機ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4 B ほう機ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4F-VS-201 4号 ほう機ポンプ室給気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-202 4号 ほう機ポンプ室排気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4G-VS-210A 4 A ほう機ポンプ室空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	2008年度		前は第8保全サイクルに実施
	4G-VS-210B 4 B ほう機ポンプ室空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	2008年度		前は第8保全サイクルに実施
	4 A ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	○	12		
	4 A ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	12		
	4 B ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 C ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	○	12		
	4 C ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	12		
	4 D ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 D ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4F-VS-401A 4 A D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-401B 4 B D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-401C 4 C D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4F-VS-401D 4 D D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2023年度		プラント運転中
	4B-VS-402A 4 A D/G室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	—	13		
	4B-VS-402B 4 B D/G室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	○	11		
	4G-VS-401A 4 A D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401B 4 B D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401C 4 C D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401D 4 D D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	雑固体溶融処理建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	15	6M-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	固化体冷却室空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	15	6M-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	—	2022年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2023年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	○	2018年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2023年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	○	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
C 雑固体溶融処理建屋排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2023年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	—	2022年度		プラント運転中
C 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機		分解点検	低	6Y	—	2022年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋給気ユニット(Aバンク, Bバンク)		開放点検	低	9Y	—	2022年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋排気フィルタユニット (Aバンク, Bバンク)		開放点検	低	9Y	○	2019年度		プラント運転中
D-MI-200 雑固体溶融処理建屋給気ファン入ロダンバ		駆動部点検	低	9Y	—	2022年度		プラント運転中
FCD-10502 雑固体溶融処理建屋排気風量制御ダンバ		駆動部点検	低	9Y	—	2023年度		プラント運転中
固化体冷却室排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2023年度		プラント運転中
		分解点検		3Y	○	2022年度		プラント運転中
固化体冷却室排気ファン用電動機		分解点検	低	6Y	—	2022年度		プラント運転中
固化体冷却室排気フィルタ		開放点検	低	3Y	○	2021年度		プラント運転中
4V-CHT-101 空調用冷水膨張タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	G4-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CH-262 4号 空調用冷水膨張タンク純水補給止弁		分解点検	高	195M	—	15		
4 A 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		39M	○	13		
		非破壊試験		39M	○	13		
4 A 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	○	13		
4 B 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		39M	—	15		
		非破壊試験		39M	—	15		
4 B 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	15		
4 C 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		39M	○	13		
		非破壊試験		39M	○	13		
4 C 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	○	13		
4 D 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		39M	—	15		
		非破壊試験		39M	—	15		
4 D 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	15		
4 A 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	13		
4 A 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	13		(振動診断:切替毎)
4 B 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	15		
4 B 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	15		(振動診断:切替毎)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 C 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	13		
4 C 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	13		(振動診断:切替毎)
4 D 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	15		
4 D 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	15		(振動診断:切替毎)
4号 空調用冷水膨張タンク		開放点検	高	130M	—	10		
4V-CH-354 4号 DRP1室冷却ユニット入口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	12		
4V-CH-358 4号 DRP1室冷却ユニット出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	12		
4V-CH-253 4号 空調用冷水膨張タンクN2供給逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-CH-356 4号 DRP1室冷却ユニット逃がし弁		分解点検	低	130M	—	12		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-CH-500 4号 空調用冷水C母管逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4TCV-2760 4 A 1/B空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2770 4 B 1/B空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4TCV-2780 4 A SWGR空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2790 4 B SWGR空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4TCV-2848 4 A 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2858 4 B 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4V-CH-016A 4 A 冷水供給弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CH-016B 4 D 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-CH-017A 4 A 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4V-CH-017B 4 D 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-CH-020 4号 C 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CH-021 4号 C 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
	分解点検		130M	—	10			
	電動機分解点検		130M	—	10			
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	1. 「T信号」及び「T信号とUV信号との一致」により隔離される弁 65個 2. 「P信号」により隔離される弁 16個	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	原子炉格納容器	漏えい試験	高	3C	—	15	GM-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
		非破壊検査		5年間	—	14	GM-105 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	
		外観点検(アニュラスシール)		10C	—	10		
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	15	GM-44 原子炉格納容器局漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M	○	15		
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	○	11		
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	15	GM-44 原子炉格納容器局漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M	○	15		
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	○	11		
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	○	15	GM-44 原子炉格納容器局漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M	○	15		
	1. 配管貫通部 8個 2. 電線貫通部 48個	漏えい試験	高	1C	○	15	GM-44 原子炉格納容器局漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		燃料移送管	漏えい試験	高	1C	○	15	GM-44 原子炉格納容器局漏えい率検査
	開放点検		13M		○	15		
	原子炉格納容器隔離弁 60個	漏えい試験	高	1C	○	15	GM-44 原子炉格納容器局漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・モード切替弁 6個 ・常設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	○	15	GM-48 原子炉格納容器安全系機能検査	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	13		
		分解点検		104M	—	13	GM-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
4 A 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		78M	—	14		
4 B 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	○	12		
		分解点検		104M	—	12	GM-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	
4 B 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		78M	—	13		
4 A 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
4 B 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
よう素除去薬品タンク		開放点検	高	130M	—	13		
4V-CPT-101 よう素除去薬品タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GM-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CPT-102 よう素除去薬品タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GM-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CP-001A 4 A C/V スプレイポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-001B 4 B C/V スプレイポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-014A 4 A C/V スプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	8		
4V-CP-014B 4 B C/V スプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	9		
4V-CP-024A 4 A C/V スプレイライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	15		
4V-CP-024B 4 B C/V スプレイライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	6		
4V-CP-054A 4 A よう素除去薬品注入弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-054B 4 B よう素除去薬品注入弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CP-056A 4号 A よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-056B 4号 D よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GM4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-068 4号 よう素除去薬品タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GM4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CP-084 4号 AM用水消火ライン止め弁		分解点検	高	130M	○	6		
4V-CP-085 4号 AM用水消火ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	6	GM4-87 1次系逆止弁検査	
格納容器減圧排気フィルタユニット		開放点検	低	13M	○	15	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
4号 A 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		機能・性能試験	低	1C	○	15		
4号 D 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		機能・性能試験	低	1C	○	15		
4V-DP-311A 4号 C/V減圧ライン内隔離弁 A		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-DP-311B 4号 C/V減圧ライン内隔離弁 B		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-DP-313A 4号 C/V減圧ライン外隔離弁 A		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-DP-313B 4号 C/V減圧ライン外隔離弁 B		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-PP-035 4号 A/L所内用空気加圧ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GM4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-RM-001 4号 C/V空気サンプル取出ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	15		
		電動機分解点検		130M	—	15		
4V-RM-002 4号 C/V空気サンプル取出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		65M	○	11		
4V-RM-008 4号 C/V空気サンプル戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		65M	○	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-IG-009 4号 炉内核計測装置ガスバージライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
	4V-IG-010 4号 炉内核計測装置ガスバージライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
	4V-FS-502 4号 水消火ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	G4-85 1次系弁検査	
	4V-FS-536 4号 AM用水消火ライン第一隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
	4V-FS-537 4号 AM用水消火ライン第二隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
	4 A サンプル冷却器	外観点検	高	1C	○	15		
	4 B サンプル冷却器	外観点検	高	1C	○	15		
	4V-SS-503 4号 加圧器気相部サンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	52M	○	12		
		分解点検		130M	—	7	G4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-523 4号 加圧器液相部サンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	52M	○	12		
		分解点検		65M	—	14	G4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-524 4号 加圧器、Aループサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	14	G4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-543A 4号 Aループサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	G4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4V-SS-543B 4号 Bループサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	15		
		分解点検		65M	—	15	G4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-SS-544 4号 Bループサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	14	G4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-548A 4 A 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
	4V-SS-548B 4 B 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4V-SS-563A 4 A 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	G4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-563B 4 B 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	13	G4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-SS-563C 4 C 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-563D 4 D 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-564 4号 蓄圧タンクサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-587 4号 V C T気相部サンプル元弁	駆動部点検	低	130M	—	15		
		分解点検		65M	—	15		
		機能・性能試験		5C	—	15	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-620 4号 事故時1次冷却材サンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-SS-658 4号 C/V 蒸気ガスサンプルライン空室供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-SS-691 4号 C/V 蒸気ガスサンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
分解点検		65M		○	11			
機能・性能試験		5C		○	11	GN4-85 1次系弁検査		
原子炉施設 (その他設備)	クラス1機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間	○	15	GN4-1 クラス1機器供用期間中検査	
		漏えい試験		1C	○	15		
		非破壊試験		10年間	○	15		
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間	○	15	GN4-5 クラス2機器供用期間中検査	
		漏えい試験			○	15		
	クラス2管(原子炉格納容器内)のうち 一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統 1式	非破壊試験			○	15	GN4-99 クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査	
	C/V E L. -4.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	C/V E L. -3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	12	GN4-103 耐震健全性検査	
	C/V E L. -1.3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	—	13	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -18.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	14	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -18.0m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	14	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -11.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	15	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -11.0m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	15	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -11.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	15	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -3.5m 【管内】	外観点検	高	10C	○	10	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -3.5m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	○	10	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -3.5m 【管外】	外観点検	高	10C	○	10	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. -3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 20.4m(屋上) 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	屋外(取水ビット, 海水管ダクト, 放水ビット)	外観点検	高	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	WM/B	外観点検	低	10C	—	11	G4-103 耐震健全性検査	
	容器	—	—	—	—	—	—	—
	余熱除去冷却器(胴側)	非破壊試験	高	10年間	—	13	G4-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器(胴側)	非破壊試験	高	10年間	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器	非破壊試験	高	10年間	○	12	G4-104 構造健全性検査	
	D/G 清水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	G4-104 構造健全性検査	
	D/G 潤滑油冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	13	G4-104 構造健全性検査	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水ポンプ	非破壊試験	高	10年間	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	配管	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	14	G4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	15	G4-104 構造健全性検査	
	支持構造物	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	15	G4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	15	G4-104 構造健全性検査	
	漏えい検査	—	—	—	—	—	—	—
	A, B 使用済燃料ビットポンプ入ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	A, B 使用済燃料ビットポンプ出ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	G4-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	13	G4-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	G4-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	G4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	13	G4-104 構造健全性検査	
	A, B 海水ポンプ出ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	14	G4-104 構造健全性検査	
	C, D 海水ポンプ出ロライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	G4-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	A 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	14	G4-104 構造健全性検査	
	B 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	制御用空気Cヘッダーライン	漏えい試験	高	10年間	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	A ディーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	B ディーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	G4-104 構造健全性検査	
	A ディーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	B ディーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	外観点検	—	—	—	—	—	—	—
	C/V E.L. —4.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	12	G4-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 11.3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	—	13	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —18.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	14	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —18.0m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	14	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —11.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —11.0m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —11.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	15	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —3.5m 【管内】	外観点検	高	10C	○	10	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —3.5m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	○	10	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. —3.5m 【管外】	外観点検	高	10C	○	10	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 20.4m(屋上)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	屋外(取水ビット, 海水管ダクト, 放水ビット)	外観点検	高	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	WM/B	外観点検	低	10C	—	11	G4-104 構造健全性検査	
	排気筒	外観点検	高	10F	—	2015年度	G4-104 構造健全性検査	ブランド運転中
	主蒸気配管レストレイント 8箇所	外観点検	高	10C	—	8	G4-114 レストレイント検査	
	主給水配管レストレイント 14箇所	外観点検	高	10C	—	8	G4-114 レストレイント検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	2次系配管等	外観点検	高	1C	○	15	G4-127 2次系配管検査		
		外観点検		4C	○	12		屋外保温材施工部	
	2次系配管	非破壊試験	高	余寿命による	○	15	G4-127 2次系配管検査		
		非破壊試験		余寿命による	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査		
主給水配管 (主給水隔離弁～S/G) 主蒸気配管 (S/G～主蒸気隔離弁)	非破壊試験	高	余寿命による	○	15	G4-136 主蒸気・主給水配管検査			
蒸気タービン (車室、円板、隔板、噴口)	4号 高压タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	14	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	15			
		開放点検(組立状況)		39M	—	14			
		開放点検(組立状況)		1C	○	15			
	4号 第1 低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	15			
		開放点検(組立状況)		13M	○	15			
		開放点検(組立状況)		39M	—	15			
	4号 第2 低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	○	13	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	15			
		開放点検(組立状況)		13M	○	15			
		開放点検(組立状況)		39M	○	13			
	4号 第3 低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	15			
		開放点検(組立状況)		13M	○	15			
		開放点検(組立状況)		39M	—	15			
	蒸気タービン本体及びその附属設備	機能・性能試験(保安装置)	低	1C	○	15	G4-130 蒸気タービン性能検査		
		総合性能試験(負荷)		1C	○	15	G4-55 総合負荷性能検査	定検起動後	
	蒸気タービン (調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁)	タービン調速装置・非常調速装置	開放点検(目視)	低	13M	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	
			開放点検(目視)		39M	○	13	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		39M	○	13		
			開放点検(組立状況)		3C	○	13		
		機能・性能試験(保安装置)	1C	○	15	G4-130 蒸気タービン性能検査			
		#1 主蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
開放点検(非破壊)			39M		—	15			
開放点検(組立状況)			3C		—	15			
機能・性能試験(保安装置)			1C		○	15	G4-130 蒸気タービン性能検査		
#2 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	—	15			
		開放点検(組立状況)		3C	—	15			
	機能・性能試験(保安装置)	1C		○	15	G4-130 蒸気タービン性能検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	# 3 主蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	13		
		開放点検(組立状況)		3C	○	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	# 4 主蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	15		
		開放点検(組立状況)		3C	—	15		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	# 1 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	15		
		開放点検(組立状況)		3C	○	15		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
# 2 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	14			
	開放点検(組立状況)		3C	—	14			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査
# 3 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	15			
	開放点検(組立状況)		3C	○	15			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査
# 4 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	15			
	開放点検(組立状況)		3C	—	15			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査
A 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	13			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査
B 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	13			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査
C 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	14			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査
D 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	14			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15			GN4-130 蒸気タービン性能検査



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	E 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	15		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	F 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	15		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	A インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	B インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	C インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	D インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	E インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	15		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
	F インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	15		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	15		
蒸気タービン (復水器)	A 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	13		
	B 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	14		
	C 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	15		
	D 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	10		
	E 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	F 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 B 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 C 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器)	第1段 湿分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	—	13	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	—	13		
	第1段 湿分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	○	14	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	○	14		
	第1段 湿分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	—	13	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	—	13		
	第1段 湿分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	○	14	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	○	14		
	第2段 湿分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	—	13	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	—	13		
	第2段 湿分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	○	14	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	○	14		
	第2段 湿分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	—	13	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	—	13		
	第2段 湿分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	○	14	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施 第1.5回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	○	14		
	A 湿分離器	開放点検(目視)	低	13M	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M	○	15		
	B 湿分離器	開放点検(目視)	低	13M	○	15	G4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M	○	15		
	4 A 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	○	13	G4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	10		
	4 B 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	14	G4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
4 C 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	15	G4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	12			
4 A 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	○	13	G4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	○	10			
4 B 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	14	G4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	11			
4 C 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	15	G4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 低圧第3給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	15	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	4 B 低圧第3給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	14	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	15		
	4 B 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第5給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	15	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	15		
	4 B 低圧第5給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	14	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	14		
4号 グランド蒸気復水器	開放点検(目視)	低	39M	○	13	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	13			
4 A 高圧第7給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M	—	15			
4 B 高圧第7給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M	○	14			
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備)	4 A 復水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	13		
		機能・性能試験		3C	○	13		
	4 A 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	13		
	4 B 復水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	14		
		機能・性能試験		3C	—	14		
	4 B 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	14		
	4 C 復水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	15		
機能・性能試験		3C		—	15	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査		
4 C 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M	—	15			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	○	13		(振動診断:切替毎)
4 B 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	15		(振動診断:切替毎)
4 C 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 C 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	15		(振動診断:切替毎)
4 A 復水器真空ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	13		(振動診断:切替毎)
4 B 復水器真空ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	15		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	14		(振動診断:切替毎)
4 A 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
4 D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
4 C 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
4 D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
4 E 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
4 F 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
復水フィルタ		開放点検	低	130M	—	13		
4号 脱気器		開放点検	高	13M	○	15	G4-125 2次系容器検査	
4号 電動主給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	○	13	G4-121 2次系ポンプ分解検査	
4号 電動主給水ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
4 A タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	—	15	G4-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-122 2次系ポンプ機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	○	14	G4-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	15	G4-122 2次系ポンプ機能検査	
4号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		簡易点検(グラントバッキン取替他)	低	13M	○	15		
		分解点検		39M	○	13	G4-121 2次系ポンプ分解検査	
4号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	○	13		
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	15		
4 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 D タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	14		
4 A 循環水ポンプ		簡易点検(グラントバッキン取替他)	低	13M	○	15		
		分解点検		26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 循環水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	13		
4 B 循環水ポンプ		簡易点検(グラントバッキン取替他)	低	13M	○	15		
		分解点検		26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	G4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 循環水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	14		
4 A 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	15		
4 B 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	14		
4 C 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	15		
4 D 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	14		
4 A 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	15		
4 B 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	14		
4 C 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	15		
4 D 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 湿分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	15		
	4 B 湿分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	15		
	4 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	15		
	4 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	15		
	4V-AS-006 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-AS-007 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-027A 4 A C P吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-027B 4 B C P吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-027C 4 C C P吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-028A 4 A 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-028B 4 B 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-028C 4 C 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-029A 4 A 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-029B 4 B 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-FW-013A 4 A 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-FW-013B 4 B 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-121 4号 湿分分離加熱器逃がし弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-122 4 A 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-123 4 B 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-124 4 C 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14	GM-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-RS-125 4 D 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		
4V-RS-126 4 E 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		
4V-RS-127 4 F 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		
4V-RS-128 4 G 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-RS-129 4 H 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-RS-130 4 J 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-RS-131 4 K 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-RS-132 4 L 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-RS-133 4 M 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-RS-134 4 N 湿分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-BS-771A 4 A 低圧第3給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-BS-771B 4 B 低圧第3給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		
4V-BS-781A 4 A 低圧第4給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-BS-781B 4 B 低圧第4給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		
4V-BS-801A 4 A 低圧第5給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-BS-801B 4 B 低圧第5給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		
4V-BS-821A 4 A 高圧第7給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
4V-BS-821B 4 B 高圧第7給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	14		
		機能・性能試験		2C	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-SC-501 4号 スチームコンバータ安全弁	分解点検	低	26M	—	15		
		機能・性能試験		2C	—	15		
	4V-AS-637 4号 14号機補助タンク加熱器入口安全弁	分解点検	低	10Y	—	2021年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2021年度	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2021年度		
	補助給水系	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-23 補助給水系機能検査	
	4 A 電動補助給水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	15	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
	4 A 電動補助給水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	15		
	4 B 電動補助給水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	13	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
	4 B 電動補助給水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	13		
	4号 タービン動補助給水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	12	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
	4号 タービン動補助給水ポンプタービン	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	12	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		4C	○	12	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4号 復水ピット	開放点検	高	26M	○	14		
4HCV-3715 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁A	駆動部点検	高	130M	—	15			
	分解点検		130M	—	15			
	機能・性能試験		10C	—	15	GN4-85 1次系弁検査		
4HCV-3725 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁B	駆動部点検	高	130M	○	6			
	分解点検		130M	—	12			
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
4HCV-3735 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁C	駆動部点検	高	130M	—	7			
	分解点検		130M	—	13			
	機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
4HCV-3745 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁D	駆動部点検	高	130M	—	8			
	分解点検		130M	—	14			
	機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
4V-FW-553A 4 A M/D A FWP 出口遮止弁	分解点検	高	39M	—	15			
4V-FW-553B 4 B M/D A FWP 出口遮止弁	分解点検	高	39M	—	14			



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-FW-557A 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁A	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4V-FW-557B 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁B	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	13			
	4V-FW-557C 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁C	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	10			
	4V-FW-557D 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁D	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-FW-559A 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁A	分解点検	高	39M	—	14			
	4V-FW-559B 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁B	分解点検	高	39M	—	15			
	4V-FW-559C 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁C	分解点検	高	39M	—	14			
	4V-FW-559D 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁D	分解点検	高	39M	—	14			
4V-FW-568A 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁A	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-568B 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁B	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-568C 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁C	分解点検	高	39M	—	15				
4V-FW-568D 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁D	分解点検	高	39M	—	15				
4V-FW-573A 4 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-573B 4 B 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-573C 4 C 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	15				
4V-FW-573D 4 D 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	15				
4V-FW-574A 4 A 補助給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	12				
	駆動部点検		65M	—	12				
	分解点検		130M	—	12				
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	12				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-FW-574B 4 B 補助給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	65M	—	13			
		駆動部点検		65M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13	GN-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	13			
	4V-FW-574C 4 C 補助給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	65M	—	14			
		駆動部点検		65M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	14			
	4V-FW-574D 4 D 補助給水隔離弁	簡易点検(グラウンドバッキン取替)	高	65M	—	15			
		駆動部点検		65M	—	15			
		分解点検		130M	—	15			
		機能・性能試験		10C	—	15	GN-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	15			
	4V-FW-580 4号 復水ビットM/D AFWP側止弁	駆動部点検	高	130M	—	15			
		分解点検		130M	—	15			
		機能・性能試験		10C	—	15	GN-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	15			
	4V-FW-581 4号 復水ビットT/D AFWP側止弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
分解点検		130M		—	7				
機能・性能試験		10C		—	7	GN-85 1次系弁検査			
電動機分解点検		130M		—	7				
4V-FW-587 4号 T/D AFWP 2次系純水タンク側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7				
	分解点検		130M	—	7				
	電動機分解点検		130M	—	7				
4V-FW-589 4号 T/D AFWP 2次系純水タンク側逆止弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加		
スチームコンバータ	開放点検	低	13M	○	15				
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	—	14			
	低温再熱蒸気管(A湿分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		78M	—	11			
	低温再熱蒸気管(A湿分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		78M	—	15			
	低温再熱蒸気管(A湿分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		78M	—	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	低温再熱蒸気管(D湿分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	低温再熱蒸気管(D湿分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	10		
	低温再熱蒸気管(D湿分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	14		
	高温再熱蒸気管(LP-1)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	13		
	高温再熱蒸気管(LP-2)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
	高温再熱蒸気管(LP-3)	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	15		
	第7抽気管	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	15		
	第6抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	15		
	第5抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	15		
	第4抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	15		
第3抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	15			
第2抽気管	外観点検	低	1C	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査		
第1抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	15			
湿分離加熱器第1段加熱蒸気管	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	15			
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)	1. ディーゼル発電機 2台 2. 安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信時、非常用ディーゼル発電機に電源を求める機器 50台	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-53 非常用予備発電装置機能検査	
		非常用ディーゼル発電機保護装置(継電器)	特性試験	高	13M	○		
	4 A ディーゼル発電機	発電機分解点検	高	78M	—	13		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		26M	—	15		
		簡易点検		13M	○	15		
	4 A ディーゼル発電機NGR断路器	外観点検	高	1C	○	15		
	4 A ディーゼル発電機接地変圧器	外観点検	高	1C	○	15		
	4 A ディーゼル発電機C T取納盤	外観点検	高	1C	○	15		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 B ディーゼル発電機		発電機分解点検	高	78M	—	15		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	15		
		簡易点検		13M	○	15		
4 B ディーゼル発電機NGR断路器		外観点検	高	1C	○	15		
4 B ディーゼル発電機接地変圧器		外観点検	高	1C	○	15		
4 B ディーゼル発電機C T取納盤		外観点検	高	1C	○	15		
4 A No1,9シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No2,10シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	12	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No3,11シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	13	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No4,12シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	14	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No5,13シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No6,14シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	○	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No7,15シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No8,16シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No1,9シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No2,10シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No3,11シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	○	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No4,12シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No5,13シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	14	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No6,14シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	13	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No7,15シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	12	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No8,16シリンダ・ピストン・ピストン接続棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 吸気弁 (32台) 開放シリンダのみ実施		分解点検	高	104M	○	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 吸気弁 (32台) 開放シリンダのみ実施		分解点検	高	104M	○	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 排気弁 (32台)		分解点検	高	13M	○	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 排気弁 (32台)		分解点検	高	13M	○	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 燃料噴射弁 (16台)		分解点検	高	13M	○	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 燃料噴射弁 (16台)		分解点検	高	13M	○	15	G4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 非常用ディーゼル発電機系統		外観点検	高	1C	○	15	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 A 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	4C	○	12		屋外保温材施工部
4 B 非常用ディーゼル発電機系統		外観点検	高	1C	○	15	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 B 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	4C	○	12		屋外保温材施工部
4 A 潤滑油プライミングポンプ		分解点検	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
4 A 潤滑油プライミングポンプ用電動機		分解点検	高	26M	○	14		(振動診断: 1ヶ月)
4 B 潤滑油プライミングポンプ		分解点検	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
4 B 潤滑油プライミングポンプ用電動機		分解点検	高	26M	○	14		(振動診断: 1ヶ月)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	14		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	14		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	26M	—	15		
	4 B シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	26M	○	14		
	4 A 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	—	14	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	15		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	—	14	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	15		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 燃料油供給ポンプ(機付)	分解点検	高	39M	—	14		
	4 B 燃料油供給ポンプ(機付)	分解点検	高	39M	○	13		
	4 A 潤滑油ポンプ(機付)	分解点検	高	52M	—	14		
	4 B 潤滑油ポンプ(機付)	分解点検	高	52M	—	15		
	4 A 燃料油移送ポンプ	簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		65M	○	11	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	—	15		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 燃料油移送ポンプ	簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		65M	—	12	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 過給機(左, 右)	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		130M	—	11		
	4 B 過給機(左, 右)	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	15		
		分解点検		130M	—	11		
	4 A 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 清水冷却器	開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 清水冷却器	開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15	G4-134 非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 燃料弁冷却水冷却器		開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15		
4 B 燃料弁冷却水冷却器		開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15		
4 A-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15		
4 A-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15		
4 B-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15		
4 B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	15		
		非破壊試験		13M	○	15		
4 A-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	15		
4 A-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	15		
4 A-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	15		
4 A-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	15		
4 B-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	15		
4 B-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	15		
4 B-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	15		
4 B-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	15		
4 A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	15		
4 B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	15		
4 A-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	15		
4 A-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	15		
4 B-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	15		
4 B-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	15		
4 A 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	15		
4 B 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	15		
4 A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	15		
4 A 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	15		
4 B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	15		
4 B 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	15		
4 A 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 B 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	15		
4 B 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	15		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 潤滑油主こし器(右)	開放点検	高	13M	○	15		
	4 A 潤滑油主こし器(左)	開放点検	高	13M	○	15		
	4 B 潤滑油主こし器(右)	開放点検	高	13M	○	15		
	4 B 潤滑油主こし器(左)	開放点検	高	13M	○	15		
	4 A 燃料油第1こし器1	開放点検	高	13M	○	15		
	4 A 燃料油第1こし器2	開放点検	高	13M	○	15		
	4 B 燃料油第1こし器1	開放点検	高	13M	○	15		
	4 B 燃料油第1こし器2	開放点検	高	13M	○	15		
	4 A 燃料油第2こし器1	開放点検	高	13M	○	15		
	4 A 燃料油第2こし器2	開放点検	高	13M	○	15		
	4 B 燃料油第2こし器1	開放点検	高	13M	○	15		
	4 B 燃料油第2こし器2	開放点検	高	13M	○	15		
	4 A シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	14		
	4 B クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	14		
	4 A 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	—	15		
	4 A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 B 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	15		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	○	14		
	4 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 調速装置	分解点検	高	52M	○	12		
	4 B 調速装置	分解点検	高	52M	○	13		
	4 A 計測装置	特性試験	高	13M	○	15	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 計測装置	特性試験	高	13M	○	15	GN-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	15		
	4 A 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	15		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 B 1 主始動弁	分解点検	高	13M	○	15		
	4 B 2 主始動弁	分解点検	高	13M	○	15		
	4 A 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	15		
	4 B 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	15		
	4 A 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	14		
		気密試験		2C	○	14		
	4 A 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	15		
	4 A 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	○	14		
	4 A 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	15		
	4 B 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	15		
		気密試験		2C	○	14		
	4 B 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	15		
	4 B 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	○	14		
	4 B 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	15		
	4V-DG-613A 4 A 空気だめ安全弁(A)	分解点検	高	130M	—	13		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-DG-613B 4 B 空気だめ安全弁(A)	分解点検	高	130M	—	13		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-DG-614A 4 A 空気だめ安全弁(B)	分解点検	高	130M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-DG-614B 4 B 空気だめ安全弁(B)	分解点検	高	130M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-DG-627A 4 A 空気圧縮機 1段安全弁	分解点検	低	130M	○	6		GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	○	6		
		漏えい試験		10C	○	6		
		外観点検		10C	○	6		
	4V-DG-627B 4 B 空気圧縮機 1段安全弁	分解点検	低	130M	—	7		GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7		
		外観点検		10C	—	7		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-DG-630A 4 A 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	○	6	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	○	6			
		漏えい試験		10C	○	6			
		外観点検		10C	○	6			
	4V-DG-630B 4 D 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	7			
		漏えい試験		10C	—	7			
		外観点検		10C	—	7			
	4V-DG-633A 4 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	○	6	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	○	6			
		漏えい試験		10C	○	6			
		外観点検		10C	○	6			
	4V-DG-633B 4 D 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	7			
		漏えい試験		10C	—	7			
		外観点検		10C	—	7			
	4V-DG-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	—	13			
	4V-DG-015B 4 D 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	—	13			
	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	発電機	普通点検(軸受点検)	低	26M	—	15	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
			分解点検		78M	—	15		
機能・性能試験 (組立状況)			1C		○	15			
励磁機		普通点検(軸受点検他)	低	26M	—	15			
		分解点検		78M	—	15			
主変圧器		普通点検(特性試験他)	高	13M	○	15			
		分解点検		195M	—	15			
所内変圧器		普通点検(特性試験他)	高	13M	○	15			
		分解点検		195M	—	12			
主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)		特性試験	低	26M	○	14			
2 Lユニット		普通点検(特性試験他)	低	13M	○	15			
		分解点検		156M	—	15			
4 M T rユニット		普通点検(特性試験他)	高	13M	○	15			
		分解点検		156M	—	10			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	BUS TIEユニット	普通点検(特性試験他)	低	13M	○	15		
		分解点検		156M	—	11		
	4 C 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4 C ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	4 C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C	○	15		
	送電線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M	—	14		
	電流計(500kV 玄海幹線2L北線)(3,4号機共用)	特性試験	低	26M	—	15		
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-4 A E G	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		内部点検		130M	—	13		
	遮断器 4-4 B E G	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		内部点検		130M	—	12		
	6. 6 k V 4-4 C母線	機能・性能試験	高	4C	—	13		
	6. 6 k V 4-4 C母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	6. 6 k V 4-4 C母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	6. 6 k V 4-4 D母線	機能・性能試験	高	4C	○	12		
	6. 6 k V 4-4 D母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	6. 6 k V 4-4 D母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	受電遮断器 4-4 E C	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		内部点検		130M	—	13		
	受電遮断器 4-4 E D	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		内部点検		130M	—	12		
	受電遮断器 4-4 H C	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		内部点検		130M	—	13		
	受電遮断器 4-4 H D	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		内部点検		130M	—	12		
	遮断器 3-4 C 1 H	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		内部点検		130M	—	13		
	遮断器 3-4 C 2 H	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		内部点検		130M	—	13		
	遮断器 3-4 D 1 H	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		内部点検		130M	—	12		
	遮断器 3-4 D 2 H	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		内部点検		130M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4-4C 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		内部点検		130M	—	13		
	4-4D 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		内部点検		130M	—	12		
	所内電源保護装置(継電器)	特性試験	高	26M	○	15		
	440V 3-4C1母線	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	遮断器 3-4C1L	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
	440V 3-4C1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	440V 3-4C1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	4C1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	—	15		
	440V 3-4C2母線	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	遮断器 3-4C2L	機能・性能試験	高	2C	—	15		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
	440V 3-4C2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	440V 3-4C2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	15		
	4C2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	—	15		
	440V 3-4D1母線	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	遮断器 3-4D1L	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
	440V 3-4D1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	440V 3-4D1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	4D1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	○	14		
	440V 3-4D2母線	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	遮断器 3-4D2L	機能・性能試験	高	2C	○	14		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
	440V 3-4D2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	440V 3-4D2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	4D2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	○	14		
	3-4C 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	簡易点検	高	1C	○	—		第16回定検より点検項目追加
機能・性能試験		2C		—	15			
蓄勢部点検		78M		—	11			
3-4D 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	簡易点検	高	1C	○	—		第16回定検より点検項目追加	
	機能・性能試験		2C	—	14			
	蓄勢部点検		78M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 C 1	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	13	
	4 C 2	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	13	
	4 C 3	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	15	
	4 C 4	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	11	
	4 D 1	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	14	
	4 D 2	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	14	
	4 D 3	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	15	
	4 D 4	原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	○	11	
	4 A	ディーゼル発電機コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	11	
	4 B	ディーゼル発電機コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	○	10	
	4 A	直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	11	
	4 A	充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	15	
	4 A	ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	15	
	4 A	蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-222 直流電源系機能検査 GN4-223 直流電源系作動検査
機能・性能試験			1C					
	4 B	直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	11	
	4 D	充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	15	
	4 D	ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	15	
	4 D	蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-222 直流電源系機能検査 GN4-223 直流電源系作動検査
機能・性能試験			1C					
		直流分電盤(安全系)	機能・性能試験	高	16C	○	15	
		タービン動補助給水ポンプ盤	機能・性能試験	高	16C	—	12	
		計装用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-112 インバータ機能検査
大災防護設備 (消火設備)		ハロン消火設備 (4号本館建屋)	機能・性能試験	低	1C	○	15	
		ハロン消火設備 (雑固体溶融処理建屋)	機能・性能試験	低	1F	○	2023年度	定検停止中又はプラント運転中
		二酸化炭素自動消火設備 (D/G)	機能・性能試験	低	1C	○	15	
		水噴霧消火設備 (WM/B) (3,4号機共用)	分解点検	低	10Y	—	—	定検停止中又はプラント運転中 第11回定検より追加
機能・性能試験	1F		○		2023年度			
大災防護設備 (その他設備)		防火ダンパ 1台	機能点検	高	13M	○	15	
		防火ダンパ 3台	機能点検	高	26M	○	14	
		防火ダンパ 32台	機能点検	低	26M	○	14	
		防火兼ハロン運動ダンパ 4台	機能点検	高	26M	○	14	
		防火兼ハロン運動ダンパ 4台	機能点検	低	26M	○	14	
		ハロン運動ダンパ 38台	機能点検	高	26M	○	14	
		ハロン運動ダンパ 19台	機能点検	低	26M	○	14	
		原子炉補助建屋 防火扉 12箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度	定検停止中又はプラント運転中
		原子炉周辺建屋 防火扉 80箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度	定検停止中又はプラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
浸水防護設備 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備)	原子炉周辺建屋水密扉 5箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプエリア水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	取水ビット搬入口蓋 (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉周辺建屋扉 15箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉周辺建屋管理区域外伝ば防止扉 9箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備)	床ドレンライン逆止弁 70台	分解点検	低	10Y	—	—		定検停止中又はプラント運転中 第11回定検より追加
非常用取水設備 (取水設備)	取水口 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	15		
	取水管路 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	15		
	取水ビット (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	15		
土木建築設備	原子炉格納容器	外観点検	高	1C	○	15		
	原子炉周辺建屋	外観点検	高	1C	○	15		
	雑固体溶融処理建屋	外観点検	低	1C	○	15		
プラント総合全取機器	発電用原子炉及びその附属施設(非常用電源設備を除く)	総合性能試験	高	1C	○	15	GM-55 総合負荷性能検査	定検起動後
電巻防護設備	ディーゼル発電機室水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気塔入口扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池室 (安全系) 排気塔入口扉	外観点検	低	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	15		
	蓄電池室 (安全系) 排気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	15		

## 2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ピット水位(SA) 1台	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ピット水位 (広域) 2台	特性試験	高	13M	○	15	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット温度(SA) 1台	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ピット状態監視カメラ 1台	特性試験	低	13M	○	15		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 2 0 mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 3 0 mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 4 0 mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン 使用済燃料ピットスプレイヘッダ送水用 1 0 mホース 3本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設 備)	1. 高圧注入系 ・高圧注入ポンプ : 2台 ・モード切替弁 : 14個 2. 低圧注入系 ・余熱除去ポンプ : 2台 ・モード切替弁 : 8個 3. 原子炉格納容器スプレイ系 ・B格納容器スプレイポンプ ・モード切替弁 : 4個 4. 充てん注入系 ・充てんポンプ : 3台 ・モード切替弁 : 4個 5. 蓄圧注入系 ・蓄圧タンク : 4基 ・蓄圧タンク出口弁 : 4個 6. 常設電動注入ポンプ: 1台	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-205 その他原子炉注水系機能検査	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却設備)	原子炉補機冷却水サージタンク用窒素ボンベ 7本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用 3. 8 mフレキシブルホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 3 mフレキシブルホース (オス型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 4 mフレキシブルホース (メス型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	4V-CC-241 4 A C/W冷却器海水供給ライン第二止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4 回定検より追加
	4V-CC-246 4 B S 1 P ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4 回定検より追加
	4V-CC-247 4 B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4 回定検より追加
	4V-CC-248A 4 A C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	分解点検	高	195M	○	—		第1 4 回定検より追加
	4V-CC-248B 4 B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	分解点検	高	195M	○	—		第1 4 回定検より追加
	4V-CC-251 4 B C H P 自己冷却水供給ライン第二止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4 回定検より追加
4V-CC-252 4 B C H P 自己冷却水戻りライン第一止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1 4 回定検より追加	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (計測装置)	AM用消火水積算流量	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	4 B格納容器スプレイ流量積算流量	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	格納容器内温度(SA)	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉下部キャビティ水位	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	AM用格納容器圧力	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉容器水位	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	アニュラス水素濃度 2 個	特性試験	高	13M	○	15	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	重大事故等対処用入出力盤	特性試験	高	13M	○	15		
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	13M	○	15		
計測制御系統施設 (工学的安全施設等の作動信号)	多様化自動作動設備	特性試験	高	13M	○	15	GN4-207	
		機能・性能試験		1C	○	15	重大事故時安全停止回路機能検査	
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	加圧器逃がし弁用窒素ポンベ 6本(予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンベ 2本(予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	事故時試料採取設備弁用窒素ポンベ 2本(予備含む)	外観点検	高	1F	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	4V-M-208 加圧器逃がし弁A窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-M-218 加圧器逃がし弁B窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-M-248 加圧器逃がし弁窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-1A-713 4 Bアニュラス空気浄化系弁用窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	15	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	15		
機能・性能試験		10C		—	15			
4V-1A-654 格納容器空気サンプル取出及び格納容器雰囲気ガスサンプル戻りライン外 隔離弁事故時制御用窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	14	GN4-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	14			
	機能・性能試験		10C	—	14			
加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 2.5 mフレキシブルホース 3本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	15			
アニュラス空気浄化ファン弁用制御用空気ライン窒素供給用 6 mフレキシブルホース 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	15			
事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン窒素供給用 3 mフレキシブルホース 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	15			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (その他設備)	可搬型計測器(3,4号機共用) 41台	特性試験	低	1Y	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用)(3,4号機共用) 4台	特性試験	低	1Y	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力(SA)(3,4号機共用)	特性試験	低	1Y	○	2023年度		定検停止中又はプラント運転中
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	使用済燃料ピット周辺線量率(低レンジ)(3,4号機共用) 1台	特性試験	低	13M	○	15	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット周辺線量率(中間レンジ)(3,4号機共用) 1台	特性試験	低	13M	○	15	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット周辺線量率(高レンジ)(3,4号機共用) 1台	特性試験	低	13M	○	15	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
原子炉格納施設 (圧力低減設備)	常設電動注入ポンプ	簡易点検(油人替他)	高	13M	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	14	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	常設電動注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	15		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	15		
	4 A 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	15		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 B 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	15		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 C 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	15		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 D 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	15		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 E 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	15		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	電気式水素燃焼装置 14個(予備含む)	普通点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	15		
機能・性能試験		1C		○	15	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	15	GN4-73 計測制御系監視機能検査		
電気式水素燃焼装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	15	GN4-73 計測制御系監視機能検査		
原子炉施設 (その他設備)	重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間	○	15	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。〔別紙-4〕
		漏えい試験			○	15		
		非破壊試験		5年間	—	14	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査
	重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象) 1式	漏えい試験	高	10年間	—	13	GN4-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	ISIプログラムによる。〔別紙-5〕



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	○	15	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査	第11回定検より追加
		普通点検		39M	—	15		
		精密点検		130M	—	—		
		機能・性能試験		1C	○	15		
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C	○	15	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	第11回定検より追加
		普通点検		65M	○	—		
		精密点検		130M	—	—		
		機能・性能試験		1C	○	15		
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	開放点検	高	130M	○	—	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	第11回定検より追加
		気密試験		2C	○	15		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ	簡易点検	高	13M	○	15	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		65M	—	15		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	分解点検	高	130M	—	—	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	(振動診断:1ヶ月) 第11回定検より追加
	可搬型直流変換器 (3,4号機共用) 3台 (予備含む)	普通点検	高	1Y	○	2023年度	GN4-222 直流電源系機能検査	定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池 (重大事故等対処用) 2組	機能・性能試験	高	1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	第16回定検より追加
		機能・性能試験		1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	
	蓄電池 (3系統目)	機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-222 直流電源系機能検査	第16回定検より追加
	充電器盤 (3系統目蓄電池用)	機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-223 直流電源系機能検査	第16回定検より追加
	蓄電池 (3系統目) 切替盤	普通点検	高	6C	○	—	GN4-223 直流電源系機能検査	第16回定検より追加
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用) (3,4号機共用) 3個 (予備含む)	簡易点検	高	1F	○	2023年度	GN4-223 直流電源系機能検査	
	重大事故等対処用変圧器盤	普通点検	高	1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	
	重大事故等対処用変圧器受電盤	普通点検	高	1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	
	重大事故等対処用分電盤	普通点検	高	1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	
	常設電動注入ポンプ電源切替盤	普通点検	高	1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	
	計装用電源切替盤 2台	普通点検	高	1C	○	15	GN4-223 直流電源系機能検査	
	計装電源盤 (3系統目蓄電池用)	機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-112 インバータ機能検査	第16回定検より追加
	計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 1式	外観点検	高	1C	○	—	GN4-112 インバータ機能検査	第16回定検より追加
号炉間電力融通電路 (3,4号機共用、3号機に設置)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	15	GN4-112 インバータ機能検査		
号炉間電力融通電路 (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	15	GN4-112 インバータ機能検査		
予備ケーブル (号炉間電力融通用) (3,4号機共用) 12本	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F	○	2023年度	GN4-112 インバータ機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
代替電源接続盤 1	普通点検	高	1C	○	15	GN4-112 インバータ機能検査		
代替電源接続盤 2 (3,4号機共用)	普通点検	高	1C	○	15	GN4-112 インバータ機能検査		
重大事故等対処用直流コントロールセンタ	普通点検	高	65M	—	15	GN4-112 インバータ機能検査		
浸水防護施設 (内郭浸水防護設備)	原子炉補助建屋 4A-1~4A-2	外観点検	低	1F	○	—	GN4-112 インバータ機能検査	第16回定検より追加



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 順 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
		分解点検	低	130M	---	---		第16回定検より追加	
		分解点検	低	130M	---	---		第16回定検より追加	
		駆動部点検	高	130M	---	---		GN4-85 1次系弁検査	第16回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		GN4-85 1次系弁検査	第16回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		GN4-85 1次系弁検査	第16回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		GN4-85 1次系弁検査	第16回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		GN4-85 1次系弁検査	第16回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
機能・性能試験	10C	---		---					
電動機分解点検	130M	---		---					
駆動部点検	高	130M	---	---		GN4-85 1次系弁検査	第16回定検より追加		
分解点検		130M	---	---					
機能・性能試験		10C	---	---					
電動機分解点検		130M	---	---					
計測制御系統施設 (計測装置)		特性試験	高	13M	○	---	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	---	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	---	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	---	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 順 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検 査 名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	第16回定検より追加
計測制御系統施設 (制御用空気設備)		外観点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		分解点検	低	130M	—	—		第16回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験	10C	—	—			
		分解点検	低	130M	—	—		第16回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加		
分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査			
機能・性能試験		10C	—	—				
電動機分解点検		130M	—	—				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 (その他設備)		特性試験	高	13M	○	—	GN4-73 計測制御系監視機能検査	第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	—		第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	—		第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	—		第16回定検より追加	
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)		特性試験	高	13M	○	—	GN4-208 プロセスモニタ機能検査	第16回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	—	GN4-209 エリアモニタ機能検査	第16回定検より追加	
放射線管理施設 (換気設備)		機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-215 緊急時制御室の居住性確認検査	第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-210 緊急時制御室給気系機能検査	第16回定検より追加	
		外観点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		分解点検	高	78M	—	—		(振動診断: 1カ月) 第16回定検より追加	
		分解点検	高	78M	—	—		(振動診断: 1カ月) 第16回定検より追加	
		開放点検	高	26M	—	—		第16回定検より追加	
		機能・性能試験		1C	○	—	GN4-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査	第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加	
		分解点検	低	52M	—	—		第16回定検より追加	
		分解点検	低	130M	—	—		GN4-86 1次系安全弁検査	第16回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—			
		機能・性能試験		10C	—	—			
		分解点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加	
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)		機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-48 原子炉格納容器安全系機能検査	第16回定検より追加	
		機能・性能試験	高	1C	○	—	GN4-217 圧力逃がし系作動検査	第16回定検より追加	



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保 全 方式 又は 順 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		特性試験	低	13M	○	—	GN4-73 計測制御系監視機能検査	第16回定検より追加
		特性試験	低	13M	○	—	GN4-73 計測制御系監視機能検査	第16回定検より追加
		開放点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		開放点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		開放点検	高	65M	—	—		第16回定検より追加
		機能・性能試験		5C	—	—	GN4-218 圧力逃がし系フィルター性能検査	
		簡易点検	高	13M	○	—		(振動診断：1カ月) 第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		分解点検	高	65M	○	—		(振動診断：1カ月) 第16回定検より追加
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		







機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 順 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
		外観点検	高	10C	---	---	GN4-103 耐震健全性検査	第16回定検より追加
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)		開放点検	高	130M	---	---		第16回定検より追加
		気密試験		2C	---	---		
		開放点検	高	130M	---	---		第16回定検より追加
		気密試験		2C	---	---		
		簡易点検	高	26M	---	---		第16回定検より追加
		分解点検		169M	---	---	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	---	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C	○	---		第16回定検より追加
		分解点検		169M	---	---		
		分解点検又は取替	高	104M	---	---		第16回定検より追加
		分解点検	高	39M	---	---		第16回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	---		第16回定検より追加
取替	高	117M	---	---		第16回定検より追加		
分解点検	高	130M	---	---		第16回定検より追加		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保 全 方 式 又 は 願 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 ( 定 検 回 数 )	検 査 名	備 考 ( ) 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
		簡易点検	高	26M	—	—	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査	第16回定検より追加
		分解点検		169M	—	—		
		機能・性能試験		1C	○	—		
		簡易点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		分解点検		169M	—	—		
		分解点検又は取替	高	104M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	39M	—	—		第16回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		取替	高	117M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		簡易点検	高	13M	○	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		分解点検	高	65M	—	—		第16回定検より追加
		簡易点検	高	13M	○	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		分解点検	高	65M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	117M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	39M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	117M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	39M	—	—		第16回定検より追加
		簡易点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		普通点検		26M	—	—		
		分解点検		104M	—	—		
		機能・性能試験		1C	○	—		
		簡易点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		普通点検		26M	—	—		
		分解点検		104M	—	—		
		機能・性能試験		1C	○	—		
		取替	高	39M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	39M	—	—		第16回定検より追加

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保 全 方 式 又 是 願 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 ( 定 検 回 数 )	検 査 名	備 考 ( ) 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—		第16回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	—		第16回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	—		第16回定検より追加
		開放点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		開放点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検	高	130M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		130M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
		分解点検又は取替	高	104M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	104M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検又は取替	高	104M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	104M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	52M	—	—		第16回定検より追加
		取替	高	52M	—	—		第16回定検より追加



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保 全 方 式 又 は 順 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 ( 定 検 回 数 )	検 査 名	備 考 ( ) 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
		取替	低	10Y	---	---		プラント運転中 第16回定検より追加
		取替	低	10Y	---	---		プラント運転中 第16回定検より追加
		外観点検	低	1F	○	---		第16回定検より追加
		外観点検	低	1F	○	---		第16回定検より追加
土木建築設備		外観点検	低	1F	○	---		第16回定検より追加

4. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

なし

5. 長期施設管理方針に基づく点検計画

なし

クラス1 機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度:高)  
1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリー	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回		第20回	第21回	第22回
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	SA1 SA2
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)								100%	SA1 SA2
		トランジションリングと下部鏡との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)								100%	SA1 SA2
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)							100%	SA1 SA2
B3.106	B-C	上部鏡板と上蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ所	UT	100%	15%	15%	15%	15%			10%	SA1 SA2
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA1 SA2
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA1 SA2
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸み部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA1 SA2
		冷却材出口管台内面の丸み部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA1 SA2
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)	A	C	B				4箇所	SA1 SA2
			体積及び表面	100%	4箇所	PT		D						D	
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)								4箇所
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)	8個	8個	8個	7個	8個	8個	8個	SA1 SA2
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	54本	UT	100% (54本)	8本	8本	8本	7本	8本	8本	8本	SA1 SA2
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	54箇所	UT	100% (可能範囲)	8箇所	8箇所	8箇所	7箇所	8箇所	8箇所	8箇所	SA1 SA2
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)	8個	8個	8個	7個	8個	8個	8個	SA1 SA2
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンカップリング	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)							1箇所	SA1 SA2

※ 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原研技発第1408063号)」を適用

・UT及びPTについてはNi基金金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※)対応)



クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度:高)  
 1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012				玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査回数	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	SA77s	
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハウジングの溶接継手及びT/Cハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	最外周24箇所	PT	最外周の25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)				C,D出口 2箇所			SA1 SA2		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中PT)	約3年毎に100% (可能範囲)	100%	100%	100%		100%		SA1 SA2		
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	6箇所	VT-3 (水中PT)	100% (可能範囲)						100%	SA1 SA2		
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中PT)	100% (可能範囲)						100%	SA1 SA2		
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中PT)	100% (可能範囲)						100%	SA1 SA2		



クラス1 機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度:高)  
 2. 加圧器(2/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)							SAIクラス	備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回			第19回	第20回	第21回	第22回
B5.40	B-F	サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT・PT	管台数の25%(2箇所)		1箇所						・UT及びCPPTについてはNI基金 使用部位に係る検査対象 (亀裂の解釈(※)対応)	
		スプレイン用管台とセーフエンドとの溶接継手			6箇所											
		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			3箇所											
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所						1箇所					
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25%(4本)		1本				2本	SA1 SA2	・漏えい検査時実施	
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体積	7.5%	1ヶ所	UT	7.5%						7.5%	SA1 SA2		
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%(可能範囲)		100%	100%	100%	100%	100%	—		
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎ボルト含む。)	VT-3	25%	1箇所	VT-3	100%(1箇所)							1箇所	SA1 SA2	

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)  
3. 蒸気発生器(1/1)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回
B2.40	B-B	管板と水室鏡との周溶接継手	体積	代表1基の25%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の25%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	SA1 SA2	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みのみ部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT	代表1基の25%(1箇所)						A入口1箇所	SA1 SA2	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%	2箇所/基×4基	UT・PT	代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	A入口1箇所						SA1 SA2	・UT及びPTについてはNI基金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※)対応) ・超音波探傷試験の代替試験必要箇所
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×4基	VT-1	代表1基の25%(8本)	A入口2本	A入口2本				A入口2本	SA1 SA2	・漏えい検査時実施
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×4基	PT	代表1基の7.5%(1箇所)						A:1箇所	SA1 SA2	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%(可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%	4基	ECT	-	-	-	-	-	-	-	SA1 SA2	・別要領書により実施。
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ベースプレート、基礎ボルト含む。)	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×4基	VT-3	代表1基の25%(1箇所)						C:1箇所	SA1 SA2	

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリー	玄海原子力発電所4号機検査計画										備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第16回	第17回	第18回		第19回	第20回	第21回	第22回	SA775
-	-	冷却材出入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×4基	ECT	UT実施箇所100%	UT実施時					A入口1箇所			SA1 SA2	・超音波探傷試験の代替措置計画に基づく検査対象箇所(亀裂の解釈(※)対応)

クラス1 機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)  
4. 配管 (1/4)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S-MAI-2012		玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考		
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回	
B7.50	封水注入ライン	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		体積	25%	5箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	55箇所	UT	25% (14箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	—	
		体積	25%	1箇所	UT	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	
		体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA2
		体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2
		体積	25%	66箇所	UT	25% (17箇所)	2箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	SA1 SA2
B9.11	加圧器補助スプレイルライン	体積	25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2	
		体積	25%	18箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		表面	25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	
		表面	25%	34箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	5箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	3箇所	PT	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	9箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
B9.21	封水注入ライン	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		体積	25%	5箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		体積	25%	55箇所	UT	25% (14箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	—	
		体積	25%	1箇所	UT	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	
		体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2	
		体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		体積	25%	66箇所	UT	25% (17箇所)	2箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	SA1 SA2	
B9.21	加圧器補助スプレイルライン	体積	25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2	
		体積	25%	18箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		表面	25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	
		表面	25%	34箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	5箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	3箇所	PT	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		表面	25%	9箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	









クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)  
 5.1 次給配材ポンプ(V/L)

項目番号	発電用原子力設備規格 JSME S NAL-2012				乏核原原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体積	代表1台の25%	24本×4台	UT	代表1台の25% (6本)							D:6本	SA1 SA2
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の25%	24箇所×4台	VT-1	代表1台の25% (6箇所)							D:6箇所	SA1 SA2
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャー	VT-1	代表1台の25%	24個×4台	VT-1	代表1台の25% (6個)							D:6個	SA1 SA2
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	4台	VT-3	代表1台の100%							D:100%	SA1 SA2
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ベースプレート, 基礎ボルト含む。)	VT-3	代表1台の25%	3箇所×4台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	A:1箇所							SA1 SA2



クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)  
6. 弁(2/3)

項目 番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		北海道電力 4号機 検査計画 (10年間)										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回	SA77A	
B7.70	B-G-2	蓄圧注入ライン (4V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-1	代表1台の 25%	8台	VT-1	代表1台の 100%							1台 (136C)	SA1 SA2	・漏えい検査時に実施 (第1逆止弁を選択)	
			VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%			1台 (082B)					SA2	・漏えい検査時に実施 (第1逆止弁を選択)	
			VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%	1台 (050A)								SA2	・使用時に実施
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057) 余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430) 余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B) 蓄圧注入ライン (4V-SI-134A~D, 136A~D) 高温側低圧注入ライン (4V-RH-051A, B, 4V-SI-082B, C) 低温側低圧注入ライン (4V-RH-050A~D)	VT-3	代表1台	3台	VT-3	代表1台		1台 (057)						SA2	・分解点検時に実施	
			VT-3	代表1台	2台	VT-3	代表1台							1台 (430)	SA2	・分解点検時に実施	
			VT-3	代表1台	2台	VT-3	代表1台		1台 (002A)							SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	8台	VT-3	代表1台						1台 (134B)			SA1 SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台							1台 (051B)		SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台						1台 (050D)			SA2	・分解点検時に実施
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-		

弁本体の内表面



クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)  
1. 容器(1/2)

余熱除去冷却器(管側)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考					
							第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回		第8回	第7回	第6回	第5回	第4回
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%														SA775	
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%														SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及びび表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)														SA2	B入口1箇所

蒸気発生器(二次側)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考					
							第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回		第8回	第7回	第6回	第5回	第4回
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%														SA2	
C1.20	C-A	円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%														SA2	A:7.5%
C1.30	C-A	上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%														SA2	A:7.5%
C2.21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及びび表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所×4基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)														SA2	A:1箇所
C2.22	C-B	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及びび表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所×4基	UT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)														SA2	A:1箇所

※1 第16回定検以降は維持規格(JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む))を適用

クラス2機器供用期間中検査 GN 4-5 (保全重要度：高)  
 1. 容器(2/2)

格納容器スプレイ冷却器 (管側)

項目 番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間)							SA77s	備考	
							第16回	第17回	第18回	第14回	第15回	第13回	第12回			第11回
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの 周溶接継手	体積	代表1基の 溶接継手長さの 7.5%	17m/基 ×2基	UT	代表1基の 溶接継手長さの 7.5%	—	—	—	—	—	—	—	SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第16回定検より DB-1SIへ検査計画移行)
C1.20	C-A	管側胴と管側胴との 周溶接継手	体積	代表1基の 溶接継手長さの 7.5%	17m/基 ×2基	UT	代表1基の 溶接継手長さの 7.5%	—	—	—	—	—	—	—	SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第16回定検より DB-1SIへ検査計画移行)
C4.10	C-D	カラーボルト	体積	代表1基の 7.5%	36本 ×2基	UT	代表1基の 7.5% (3本)	—	—	—	—	—	—	—	SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第16回定検より DB-1SIへ検査計画移行)
		全ネジボルト	体積	代表1基の 7.5%	12本 ×2基	UT	代表1基の 7.5% (1本)	—	—	—	—	—	—	—	SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第16回定検より DB-1SIへ検査計画移行)

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配置 (1/8)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.NAI-2008, 2012 (※1)										SM/パス	備考			
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回	第18回
C3.20 C-C	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2	
	余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2	
	高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2	
	低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所						SA2	
	高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所			SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う設備数変更
	格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所		SA2	
	主給水ライン	表面	7.5%	20箇所	PT	7.5% (2箇所)			-			1箇所		SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期より計画策定)
	主蒸気ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)			-				1箇所	SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期より計画策定)

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度:高)  
2. 配置(2/8)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.NA1-2008, 2012 (※1)										SM75S	備考				
		検査の 対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回	第18回	
C5.11	C-F	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.NA1-2008, 2012 (※1)	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SM75S	備考	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積及び表面	7.5%	17箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所		1箇所			SA2		
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	50箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所		1箇所			SA2		
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2		
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	67箇所	UT・PT	7.5% (6箇所)	1箇所		1箇所		1箇所			SA2		
		高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)				1箇所					SA2	
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	44箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所			1箇所			SA2	
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	57箇所	UT・PT	7.5% (5箇所)	1箇所		1箇所		1箇所				SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う設備数変更
		高圧注入ポンプ出口連絡ライン	体積及び表面	7.5%	8箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)				1箇所					-	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		燃料取替用水ピット出口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						SA2	
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)									SA2	・接近不可のため検査は実施不可となる が工場の強度評価において問題ないことを確認している。
		主給水ライン	体積及び表面	7.5%	48箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)							1箇所		SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	56箇所	UT・PT	7.5% (5箇所)							1箇所		SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		主蒸気ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		-	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		主蒸気逃がしライン(1)	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)									SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		主蒸気逃がしライン(1)	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)									SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(1)	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)									SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		
格納容器給気ダクトライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							1箇所		-	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		
格納容器排気ダクトライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							1箇所		-	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		



クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配置(3/8)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.NA1-2008, 2012 (※1)										SM7/AS	備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回	第18回		
C5.12	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所								SA2		
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	76箇所	UT・PT	7.5% (6箇所)						1箇所	1箇所		SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		格納容器給気ダクトライン	体積及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)						1箇所			-		・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		格納容器排気ダクトライン	体積及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							1箇所		-		・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
C5.21	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	72箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所	1箇所			1箇所				SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						SA2	・15回改造工事に伴う変更	
		高圧注入ポンプミニフロローライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		-	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	77箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所		1箇所	1箇所			1箇所		SA1 SA2		
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		SA1 SA2		
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所				SA1 SA2		
		代替炉心注入ライン	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)								1箇所		SA1	・15回改造工事に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
		封水注入ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所			SA2		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所						SA2		
		高圧注入ポンプミニフロローライン	表面	7.5%	18箇所	PT	7.5% (2箇所)								1箇所		-	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
C5.30	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	28箇所	PT	7.5% (3箇所)	1箇所				1箇所			SA1 SA2			
		封水注入ライン	表面	7.5%	24箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所							SA2			
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						SA2		
C5.41	C-F	高圧注入ポンプミニフロローライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所					SA2			
		高圧注入ポンプミニフロローライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		-	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配管 (4/8)

項目番号	ケーブル	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		乏海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA/7ス	備考										
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			第18回									
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	RII 21箇所	VT-3	7.5% (4箇所)	2箇所																	
					MS 9箇所							1箇所													
					HS 11箇所						1箇所														
					SHI 5箇所																				
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	RII 17箇所	VT-3	7.5% (3箇所)	1箇所	1箇所																
					HS 11箇所																				
					SHI 2箇所																				
					RII 8箇所																				
F1.21	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	7.5%	RII 8箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所																	
					HS 8箇所																				
					RII 30箇所																				
					MS 7箇所																				
F1.21	F-A	余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	7.5%	RII 7箇所	VT-3	7.5% (4箇所)																		
					HS 7箇所																				
					SHI 2箇所																				
					AN 3箇所																				
F1.21	F-A	余熱除去冷却器出口連絡ライン	VT-3	7.5%	HS 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)																		
					RII 56箇所																				
F1.21	F-A	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	RII 56箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所																

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画確定)

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配管 (5/8)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2008, 2012 (※1)				玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SN75	
F1.21 F-A	低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	RII 21箇所	VT-3	7.5% (3箇所)	1箇所				1箇所				SA2
				MS 5箇所			1箇所								
				IIS 2箇所											
				AN 2箇所											
	高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	RII 25箇所	VT-3	7.5% (3箇所)						1箇所			SA2
				IIS 1箇所											
				AN 1箇所											
	高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	RII 34箇所	VT-3	7.5% (3箇所)	1箇所					1箇所			SA2
				MS 2箇所											
				SII 1箇所											
				AN 2箇所											
	高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3	7.5%	RII 2箇所	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所			-
RII 17箇所															
高圧注入ポンプミニフローライン	VT-3	7.5%	RII 59箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所							1箇所	-	
			RII 17箇所												
低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	RII 59箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所					1箇所			SA1 SA2	
			RII 59箇所												
高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	RII 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)								1箇所	SA1 SA2	
			RII 4箇所												
高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	RII 2箇所	VT-3	7.5% (1箇所)								1箇所	SA1 SA2	
			RII 2箇所												

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

・15回改造工事に伴う変更  
・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う設備数変更

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)



クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配管 (7/8)

項目番号	ケーブル	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考			
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	SA/7ス	
F1.21	F-A	格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	9箇所 RH 7箇所 SH 2箇所	VT-3	7.5% (1箇所)									クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)	
			VT-3	7.5%	15箇所 RH 15箇所	VT-3	7.5% (2箇所)									クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)	
		格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	7箇所 MS 1箇所 SH 1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所					・15回改造工事に伴う変更 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)
			VT-3	7.5%	1箇所 RH 1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)										クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)
		AM用水消火ライン	VT-3	7.5%	8箇所 RH 8箇所	VT-3	7.5% (2箇所)									・15回改造工事に伴う変更 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)	
		格納容器スプレイ系給～ 余熱除去系統間のタイライイン(1)	VT-3	7.5%	15箇所 MS 6箇所 HS 0箇所 AN 1箇所	VT-3	7.5% (6箇所)									・15回改造工事に伴う変更 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)	
		主給水ライン	VT-3	7.5%	74箇所 RH 18箇所 MS 24箇所 HS 24箇所 SH 8箇所	VT-3	7.5% (6箇所)							1箇所		・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	

クラス2機器供用期間中検査 GN 4-5 (保全重要度：高)  
2. 配管 (8/8)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		乏海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										SM7ス	備考	
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回
F1.21	主蒸気ライン	VT-3	7.5%	RII 22箇所	VT-3	7.5% (4箇所)						1箇所		
				MS 20箇所										
				IIS 4箇所										
				SII 4箇所										
F-A	主蒸気逃がしライン(1)	VT-3	7.5%	4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所		
	タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(1)	VT-3	7.5%	RII 8箇所 MS 2箇所	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所		
	原子炉キヤビライ浄化取水ライン	VT-3	7.5%	4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)							1箇所	

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)  
3. ポンプ(1/2)

充てんポンプ														
発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)														
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
							第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回
C3.30	ポンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所×3台	PT	7.5% (4箇所)	A:1箇所	A:1箇所	B:1箇所	B:1箇所			SA2	
C4.30	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)	B:2本						SA2	
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)			B:1箇所				SA2	
F1.43	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	B:1箇所						SA2	

糸熟除去ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)														
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
							第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	A:1箇所						SA2	
F1.43	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)			B:1箇所				SA2	

高圧注入ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)														
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
							第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回
C3.30	ポンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所×2台	PT	7.5% (3箇所)				A:1箇所			SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
C4.30	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本×2台	UT	代表1台の7.5% (2本)				A:1本			SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
C5.30	バランスフランジ及びバランス管の耐圧部分の溶接継手	表面	7.5%	2箇所×2台	PT	7.5% (1箇所)							SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
C6.10	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%	4箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)
F1.43	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)  
 3. ボンプ(2/2)

格納容器スプレイボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	JSMF S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA775	備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回				
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)										SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第16回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)



クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)  
4. 弁(1/1)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)										玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SA77ス						
Fl.43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン (4HCY-603, 613)	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所	HS	4箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15回改造工事に伴う追加 (第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)</li> </ul>					
		余熱除去冷却器出入口ライン (4FCY-604, 614)	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所	HS	4箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2						
		高圧注入ポンプ出口ライン (4V-SI-062A)	VT-3	代表1台の7.5%	1箇所	MS	1箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2						
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の7.5%	3箇所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)			1箇所 (067A)				SA2						
		高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の7.5%	3箇所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA2						
		代替炉心注入ライン (4V-ES-164A, B)	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所	RH	4箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							SA1						
		封水注入ライン (4V-SI-026A, B)	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所	RH	4箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				1箇所 (026A)			SA2						
		高圧注入ポンプミニフロローライン (4V-SI-015A, B, 016A, B)	VT-3	代表1台の7.5%	8箇所	RH	8箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)													
		主給水ライン (4V-FW-520A~D)	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所	RH	4箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)													
		主蒸気ライン (4HCY-3615, 3625, 3635, 3645)	VT-3	代表1台の7.5%	8箇所	HS	8箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)													
		主蒸気逃がしライン(I) (4V-MS-523A~D)	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所	RH	4箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)													
		格納容器減圧ライン (4V-DP-313A, B)	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)													

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度：高)  
5. クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考			
		系統名	ライン名称		第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回		
C7.10, C7.30, C7.70	C-H	化学体種制御系統	体種制御タンク及びび出入ロライン	検査圧力	VT-2						○			
C7.10, C7.30, C7.70			A 充てんポンプ出口ロライン	定常運転圧力 (0.11MPa) 以上	VT-2	●								
C7.30, C7.50, C7.70			B 充てんポンプ出口ロライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2		●							
C7.30, C7.50, C7.70			C 充てんポンプ出口及びび封水注入ライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2			●						
C7.10, C7.30, C7.70			抽出ライン (1)	定常運転圧力 (15.0MPa) 以上	VT-2				●					
C7.10, C7.30, C7.70			抽出ライン (2)	定常運転圧力 (2.1MPa) 以上	VT-2				●					
C7.30, C7.70			抽出ライン (3)	定常運転圧力 (0.45MPa) 以上	VT-2			●						
C7.30, C7.70			体種制御タンク入口ロライン	定常運転圧力 (0.24MPa) 以上	VT-2			●						
C7.10, C7.30, C7.70			A ほう酸ポンプ入口ロライン	定常運転圧力 (0.007MPa) 以上	VT-2		●							
C7.10, C7.30, C7.70			B ほう酸ポンプ入口ロライン	定常運転圧力 (0.007MPa) 以上	VT-2		●							
C7.30, C7.50, C7.70			A ほう酸ポンプ出口ロライン	機能試験圧力 (0.787MPa) 以上	VT-2				●					
C7.30, C7.50, C7.70			B ほう酸ポンプ出口ロライン	機能試験圧力 (0.787MPa) 以上	VT-2				●					
C7.30, C7.70	ほう酸混合器及びび出入ロライン	機能試験圧力 (0.788MPa) 以上	VT-2							○				
C7.30, C7.70	R C P 封水注入戻りライン	定常運転圧力 (0.10MPa) 以上	VT-2							○				
C7.30, C7.50, C7.70	A, B 高圧注入ポンプ入口ロライン	定常運転水位 燃料取替用水ピット水位 96%以上 (水張り)	VT-2		●									
C7.30, C7.50, C7.70	A 高圧注入ポンプ出口ロライン (1)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2				●							
C7.30, C7.70	A 高圧注入ポンプ出口ロライン (2)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2				●							
C7.30, C7.50, C7.70	B 高圧注入ポンプ出口ロライン (1)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2							○				
C7.30, C7.70	B 高圧注入ポンプ出口ロライン (2)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2							○				
C7.30, C7.70	A 格納容器再循環サンプ出口ロライン	最高使用圧力 (0.393MPa) 以上	VT-2				●							
C7.30, C7.70	B 格納容器再循環サンプ出口ロライン	最高使用圧力 (0.393MPa) 以上	VT-2				●							
C7.10, C7.30, C7.70	A 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2		●									
C7.10, C7.30, C7.70	B 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2		●									
C7.10, C7.30, C7.70	C 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2		●									
C7.10, C7.30, C7.70	D 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2		●									
C7.30, C7.70	蓄圧タンクテストロライン	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2			●								
C7.30, C7.70	蓄圧タンク N <sub>2</sub> 供給ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2				●							

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度:高)  
5.クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考		
		系統名	ライン名称			第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	
C7.30, C7.50, C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ入口ライン	原子炉停止時冷却運転圧力(2.75MPa)以上	VT-2	●								
C7.30, C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ入口ライン	原子炉停止時冷却運転圧力(2.75MPa)以上	VT-2		●							
C7.10, C7.30, C7.50, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン(1)	原子炉停止時冷却運転圧力(3.8MPa)以上	VT-2	●								
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン(2)	原子炉停止時冷却運転圧力(3.8MPa)以上	VT-2						○			
C7.10, C7.30, C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン(1)	原子炉停止時冷却運転圧力(3.8MPa)以上	VT-2			●						
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン(2)	原子炉停止時冷却運転圧力(3.8MPa)以上	VT-2					○				
C7.30, C7.50, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A 格納容器スプレイポンプ入口ライン	定常運転水位 燃料取替用水ピット水位 96%以上(水張り)	VT-2	●								
C7.30, C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ入口ライン	定常運転水位 燃料取替用水ピット水位 96%以上(水張り)	VT-2	●								
C7.10, C7.30, C7.50, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)	機能試験圧力(1.79MPa)以上	VT-2		●							
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)	機能試験圧力(1.79MPa)以上	VT-2			●						
C7.10, C7.30, C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)	機能試験圧力(1.79MPa)以上	VT-2						○			
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)	機能試験圧力(1.79MPa)以上	VT-2				●					
C7.10, C7.30, C7.50, C7.70	C-H	燃料取替用水系統	よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	定常運転圧力(0.03MPa)以上	VT-2	●								
C7.30, C7.70			A よう素除去薬品タンク出口ライン	定常運転圧力(0.03MPa)以上	VT-2	●								
C7.30, C7.70			B よう素除去薬品タンク出口ライン	定常運転圧力(0.03MPa)以上	VT-2	●								
C7.10, C7.30, C7.70			燃料取替用水ピット及び出入口ライン	定常運転水位 燃料取替用水ピット水位 96%以上(水張り)	VT-2			●						
C7.30, C7.70			原子炉キヤビティ浄化入口ライン	—	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70			原子炉キヤビティ浄化出口ライン	—	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	—	
C7.10, C7.30, C7.70	C-H	給水系統	A 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力(6.2MPa)以上	VT-2					○				
C7.10, C7.30, C7.70			B 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力(6.2MPa)以上	VT-2	●								
C7.10, C7.30, C7.70			C 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力(6.2MPa)以上	VT-2			●						
C7.10, C7.30, C7.70			D 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力(6.2MPa)以上	VT-2						○			
C7.30, C7.70			A 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力(5.9MPa)以上	VT-2						○			
C7.30, C7.70			B 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力(5.9MPa)以上	VT-2	●								
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統	C 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力(5.9MPa)以上	VT-2									
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力(5.9MPa)以上	VT-2						○			
C7.30, C7.70			A 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力(5.9MPa)以上	VT-2									
C7.30, C7.70			B 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力(5.9MPa)以上	VT-2			●						



クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)  
 5. クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考			
		系統名	ライン名称			第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回							
C7.30, C7.70	C-H	換気空調系統	A 格納容器換気水素パージ給気ライン	定常運転圧力 (0.67MPa) 以上	VT-2	●													
C7.30, C7.70			B 格納容器換気水素パージ給気ライン	定常運転圧力 (0.67MPa) 以上	VT-2	●													
C7.30, C7.70			A 格納容器減圧ライン	-	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70			B 格納容器減圧ライン	-	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70	C-H	補助蒸気系統	格納容器補助蒸気ライン	定常運転圧力 (0.79MPa) 以上	VT-2				●										
C7.30, C7.70	C-H	所内用空気系統	格納容器所内用空気ライン	定常運転圧力 (0.63MPa) 以上	VT-2						○								
C7.30, C7.70	C-H	消火用水系統	格納容器消火用水ライン	定常運転圧力 (0.79MPa) 以上	VT-2	●													
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	格納容器再循環ユニットA, B 冷却水 入口ライン	定常運転圧力 (0.6MPa) 以上	VT-2		●												
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットA 冷却水出口ライン	定常運転圧力 (0.5MPa) 以上	VT-2		●												
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットB 冷却水出口ライン	定常運転圧力 (0.5MPa) 以上	VT-2							○							
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットC, D 冷却水 入口ライン	定常運転圧力 (0.6MPa) 以上	VT-2							○							
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットC 冷却水出口ライン	定常運転圧力 (0.5MPa) 以上	VT-2								○						
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットD 冷却水出口ライン	定常運転圧力 (0.5MPa) 以上	VT-2									○					
C7.30, C7.70			制御棒駆動装置冷却水出口ライン	定常運転圧力 (0.5MPa) 以上	VT-2														
C7.30, C7.70			一次冷却材ポンプ及び余剰抽出冷却器 冷却水入口ライン	定常運転圧力 (0.7MPa) 以上	VT-2				●										
C7.30, C7.70			一次冷却材ポンプ及び余剰抽出冷却器 冷却水出口ライン	定常運転圧力 (0.2MPa) 以上	VT-2												○		
C7.30, C7.70			制御用空気Aヘッダライン	定常運転圧力 (0.63MPa) 以上	VT-2				●										
C7.30, C7.70	制御用空気Bヘッダライン	定常運転圧力 (0.63MPa) 以上	VT-2											○					

クラス2配管（原子炉格納容器内）特別検査 GN4-99（保全重要度：高）  
 クラス2配管特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	亀裂解釈(原規技発第1408063号)				玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	SA/77s			
		配管の円周方向溶接継手																
		抽出ライン	体積	25%	13箇所	UT	25% (4箇所)	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
		充てんライン	体積	25%	22箇所	UT	25% (6箇所)		1箇所		1箇所	2箇所		2箇所				SA2
		再生熱交換器連絡管																
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所		1箇所			1箇所					
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)				1箇所							SA2

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)					
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	
	B-B	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	100%	
	B-B	トランジションリングと下部鏡との周溶接継手	体積	100%	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	
	B-D	冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%	
	B-F	冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーママンカップリング	VT-1	25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)  
 1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハウジングの溶接継手及びT/Cハウジングの溶接継手	積体又は表面	最外周の25%	北海道電力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
FL.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	
GL.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%	
GL.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	
GL.40 GL.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%	



重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
2. 加圧器 (1/2)

項目番号	ケアゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡との周溶接継手	体積	5%	北海原子力発電所4号機機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
		下部胴と下部鏡との周溶接継手	体積	5%	
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	
B2.12	B-B	中間胴の長手溶接継手	体積	10%	
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	
		上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%	
B2.13	B-B	中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
		サージ用管台と容器との溶接継手	体積	5%	
B3.30	B-D	スプレイライン用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	
		安全弁用管台と容器との溶接継手			
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			
		サージ用管台内面の丸みの部分			
B3.40	B-D	スプレイライン用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	
		安全弁用管台内面の丸みの部分			
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 2. 加圧器 (2/2)

項目番号	発電用原子力設備規格_維持規格 JSME S NA1-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B5.40	B-F	サージ用管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		スプレインライン用管台とセーフエントとの溶接継手			
		安全弁用管台とセーフエントとの溶接継手			
		逃がし弁用管台とセーフエントとの溶接継手			
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	
B8.20	B-II	スカータ取付溶接継手	体積	7.5%	
F1.41	F-A	支持構造物 (スカータ, 基礎ボルト含む。)	VT-3	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 3. 蒸気発生器 (1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリ	検査の対 象 箇 所				
B2.40	B-B	管板と水室鏡との周溶接継手	体 積	体 積	代表1基の 25%	玄海原子力発電所 4 号機 検査計画 (10年間)       クラス1 機器供用期間中検査で管理
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体 積	体 積	代表1基の 25%	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体 積 及び表面	体 積 及び表面	代表1基の 溶接継手数の 25%	
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の 25%		
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表 面	代表1基の 7.5%		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体 積	100%		
F1.41	F-A	支持構造物 〔 支脚脚ベースプレート, 基礎ボルト含む。 〕	VT-3	代表1基の 25%		

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
—	—	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体 積	UT実施箇所 100%	玄海原子力発電所 4 号機 検査計画       クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)  
 4. クラス1配管 (1/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%
B9.11	B-J	一次冷却材管	体 積	25%
		加圧器サージライン	体 積	25%
		加圧器安全弁ライン	体 積	25%
		加圧器逃がしライン	体 積	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体 積	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体 積	25%
		蓄圧注入ライン	体 積	25%
		高温側低圧注入ライン	体 積	25%
		低温側低圧注入ライン	体 積	25%
		加圧器逃がしライン	表 面	25%
B9.21	B-J	クロスオーバーレグドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表 面	25%
		弁てんライン	表 面	25%
		封水注入ライン	表 面	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表 面	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)  
 4. クラス1配管(2/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2012		検査方法	検査範囲	備考
	カテゴリー	検査の対象箇所			
B9.21	B-J	高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	
B9.31	B-J	一次冷却材管	体積	25%	
		一次冷却材管	表面	25%	
B9.32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	
		蓄圧注入ライン	表面	25%	
		高温側低圧注入ライン	表面	25%	
		一次冷却材管	表面	25%	
B9.40	B-J	クロスオーバーバレッジドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面	25%	
		封水注入ライン	表面	25%	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 4. クラス1配管(3/3)

項目番号	発電原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリー	検査の対 象 箇 所				
FL10	F-A		加圧器サージライン	VT-3	25%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
			加圧器逃がしライン	VT-3	25%	
			クロスオーバーレグドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	VT-3	25%	
			売てんライン	VT-3	25%	
			封水注入ライン	VT-3	25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	
			蓄圧注入ライン	VT-3	25%	
			高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
			低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%				
低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 5.1 次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012				備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体積	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の25%	
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	
F1.41	F-A	支持構造物 〔 支持脚ベースプレート、基礎ボルト含む。〕	VT-3	代表1台の25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)  
6.クラス1章(17/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
		圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)			
B6.210	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	体積	代表1台の25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A,B)	体積	代表1台の25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)			
B6.220	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	VT-1	代表1台の25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(ナット,ワッシャ)			
B6.230	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	VT-1	代表1台の25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(ボルト,ナット)			
		加圧器安全弁ライン (4V-RC-055,056,057)	VT-1	代表1台の25%	
		加圧器逃がしライン (4PCV-452A,B)	VT-1	代表1台の25%	
		加圧器逃がしライン (4V-RC-054A,B)	VT-1	代表1台の25%	
		クロスオーバーバレーブドドレンライン,抽出ライン,余剰抽出ライン (4V-RC-0194~D)	VT-1	代表1台の25%	
B7.70	B-G-2	クロスオーバーバレーブドドレンライン,抽出ライン,余剰抽出ライン (4LCV-451,452)	VT-1	代表1台の25%	
		クロスオーバーバレーブドドレンライン,抽出ライン,余剰抽出ライン (4V-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	
		充てんライン (4V-CS-233,235)	VT-1	代表1台の25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)



重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)  
6.クラス1系(2/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAL-2012		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリ	検査の対 象 箇 所				
B7.70	B-G-2	蓄圧注入ライン (4V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-1	代表1台の 25%	北海原子力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理	
		高温側低圧注入ライン (4V-RH-051A, B, 4V-SI-082B, C)	VT-1	代表1台の 25%		
		低温側低圧注入ライン (4V-RH-050A~D)	VT-1	代表1台の 25%		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面				
		加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台		
		蓄圧注入ライン (4V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-3	代表1台		
		高温側低圧注入ライン (4V-RH-051A, B, 4V-SI-082B, C)	VT-3	代表1台		
		低温側低圧注入ライン (4V-RH-050A~D)	VT-3	代表1台		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 6. クラス1 弁 (3/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAJ-2012			検査範囲	備考
	コア コリ	検査の対象箇所	検査方法		
FL41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の 25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		加圧器逃がしライン (4PCV-452A, B)	VT-3	代表1台の 25%	
		加圧器逃がしライン (4V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の 25%	
		クロスオーバーバレッジドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (4LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入ロライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入ロライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
7. 容器(1/2)

余熱除去冷却器 (管側)

余熱除去冷却器 (管側)		検査の対象箇所		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	カテゴリー	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回					
C1.20	C-A	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%								
C1.30	C-A	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%												
C2.21	C-B	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%												

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)		検査の対象箇所		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
項目番号	カテゴリー	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C1.10	C-A	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ノム/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%				
C1.10	C-A	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ノム/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%							7.5%	
C2.21	C-B	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)							1箇所	
C2.22	C-B	体積	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)							1箇所	
C3.10	C-C	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	3箇所×1基	PT	代表1基の溶接継手数の7.5%(1箇所)							1箇所	
F1.43	F-A	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×1基	VT-3	代表1基の7.5%(1箇所)				1箇所				

※1 第16回定検以降は維持規格JSME S NA1-2012 (2013, 2014年追加含む) を適用

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
7. 容器(2/2)

蒸気発生器 (二次側)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
		検査の対 象 箇 所	検査方法			検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C1.20	C-A	円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%		第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C1.30	C-A	上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%		第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C2.21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面積	代表1基の管台数の7.5%		第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加			
					第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回					
					第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回					
C2.22	C-B	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面積	代表1基の管台数の7.5%	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加				
					第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回					
					第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回					

格納容器スプレイ冷却器 (管側)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
		検査の対 象 箇 所	検査方法			検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1-1M/基×2基	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第16回定検以降DB-IST側へ検査計画移行)			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C1.20	C-A	管側胴と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1-1M/基×2基	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第16回定検以降DB-IST側へ検査計画移行)			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C4.10	C-D	カラーボルト	体積	代表1基の7.5%(3本)	36本×2基	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第16回定検以降DB-IST側へ検査計画移行)			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C4.10	C-D	全ネジボルト	体積	代表1基の7.5%(1本)	12本×2基	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第16回定検以降DB-IST側へ検査計画移行)			
						第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 8. 配管(1/8)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考						
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回					
C3.20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所								
		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所							
		原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)													
		タービン動補給水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)			—				1箇所					・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(2)	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)			—					1箇所				・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%																
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%																
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%																
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%																
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%																
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%																
		主給水ライン	表面	7.5%																・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
		主蒸気ライン	表面	7.5%																・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(2/8)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考						
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回		第14回	第15回	第16回	第17回		
C5.11	C-F	A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所								
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)										
		A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所				
		主蒸気速がしライン(2)	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)								1箇所		
		電動補助給水ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	26箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)			—					1箇所	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		電動補助給水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			—					1箇所	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		タービン動補給水ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	15箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)			—					1箇所	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(2)	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)			—					1箇所	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積及び表面	7.5%													
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%													
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%													
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%													
		高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%													
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%													
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%													
燃料取替用水ピット出口ライン	表面	7.5%															
格納容器再循環ポンプ出口ライン	表面	7.5%															

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 8. 配管(3/8)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)											備考						
	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回					
C5.11	C-F	主給水ライン	体積及び表面	7.5%	11箇所	PT	7.5% (1箇所)								・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加					
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%										・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加						
		主蒸気逃がしライン(1)	体積及び表面	7.5%												・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加				
		主蒸気逃がしライン(1)	表面	7.5%													・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加			
		タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(1)	表面	7.5%														・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
クラス2機器供用期間中検査で管理																				
C5.12	C-F	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	11箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所						・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加					
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%																
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%																
		A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%																
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%																
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%																
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%																
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%																
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%																
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%																
C5.21	C-F	高圧補助注入ライン	表面	7.5%	11箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所		・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加					
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%																
		封水注入ライン	表面	7.5%																
		クラス2機器供用期間中検査で管理																		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)  
 8. 配管(4/8)

項目番号	発電用原子力設備規格_維持規格_JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査計画(10年間)	備考
	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲		
C5.30	高温側高圧補助注入ライン	表面 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
	低温側高圧補助注入ライン	表面 7.5%		
	封水注入ライン	表面 7.5%		
	格納容器再循環サブ出口ライン	表面 7.5%		
C5.41	高圧注入ポンプ出口ライン	表面 7.5%		



重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(5/8)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)				玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		
F1.21	F-A	格納容器再循環ユニット 入ロライン	VT-3	7.5%	55箇所	RH 54箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
					1箇所	AN 1箇所										
		格納容器再循環ユニット 出ロライン	VT-3	7.5%	74箇所	RH 71箇所	VT-3	7.5% (6箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					3箇所	AN 3箇所										
		格納容器再循環ユニット出口 海水放出ライン	VT-3	7.5%	59箇所	RH 48箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
						MS 4箇所										
						AN 7箇所										
		原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%	15箇所	RH 11箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所					
						AN 4箇所										
		原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン	VT-3	7.5%	9箇所	RH 7箇所	VT-3	7.5% (1箇所)				1箇所				
AN 2箇所																
原子炉補機冷却水冷却器 入ロライン	VT-3	7.5%	4箇所	RH 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
				AN 0箇所												
格納容器サブレイライン	VT-3	7.5%	12箇所	RH 12箇所	VT-3	7.5% (1箇所)								・ISI実施範囲見直しにより、第16回定検より検査対象外		
				AN 0箇所												
格納容器サブレイ系統～ 余熱除去系統間のタイライン(2)	VT-3	7.5%	14箇所	RH 10箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所				1箇所			・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う設備数変更		
				MS 4箇所												
				HS 0箇所												
				AN 0箇所												

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(6/8)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考		
		検査箇所	検査範囲			20箇所	RH			第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
F1.21	F-A	常設電動注入ポンプ出口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	20箇所	RH	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所				1箇所					
		炉心注入ライン (A/Bシャッター側)	7.5%	VT-3	7.5%	57箇所	RH	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所				1箇所				
		炉心注入ライン (R/Bシャッター側)	7.5%	VT-3	7.5%	39箇所	RH	VT-3	7.5% (3箇所)	1箇所	1箇所				1箇所				
		主蒸気逃がしライン(2)	7.5%	VT-3	7.5%	4箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
		電動補助給水ポンプ出口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	15箇所	RH	VT-3	7.5% (2箇所)		—				1箇所			・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		タービン動補助給水ポンプ出口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	8箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)		—				1箇所			・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		タービン動補助給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(2)	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所			・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)	
		AN	1箇所																
		余熱除去ポンプ入口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
		余熱除去ポンプ出口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
		AN	1箇所																
		余熱除去冷却器出入ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
		AN	1箇所																
余熱除去冷却器出口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所						
AN	1箇所																		
高温側高圧補助注入ライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所						
AN	1箇所																		
低温側低圧注入ライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所						
AN	1箇所																		
高圧注入ポンプ入口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
AN	1箇所																		
高圧注入ポンプ出口ロライン	7.5%	VT-3	7.5%	7箇所	RH	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所						
AN	1箇所																		

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(7/8)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	第16回	第17回		
F1.21	F-A	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	RH 13箇所	VT-3	7.5% (2箇所)			1箇所				クラス2機器供用期間中検査で管理	クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
		高圧補助注入ライン連絡管	VT-3	7.5%	HS 1箇所												
		高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	SH 2箇所												
		格納容器再循環サブ出口ライン	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)			1箇所						クラス2機器供用期間中検査で管理	クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更 (第16回定検以降DB-ISI側へ検査計画移行)
		燃料取替用水ピット出口ライン	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)			1箇所							
		封水注入ライン	VT-3	7.5%	9箇所	VT-3	7.5% (1箇所)			1箇所							
		格納容器再循環ユニット戻りライン	VT-3	7.5%	15箇所	VT-3	7.5% (2箇所)			1箇所							
格納容器サブレイポンプ入口連絡ライン	VT-3	7.5%	6箇所	VT-3	7.5% (1箇所)												
格納容器サブレイポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)												
格納容器サブレイポンプ冷却器入口ライン	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)												
F1.21	F-A	格納容器サブレイポンプ冷却器出口ライン	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)			1箇所							
		A.M用水消火ライン	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)			1箇所							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 8. 配管(8/8)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数				検査計画(10年間)					備考							
		格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間のタイライン(1)				検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回									
F1.21	F-A		格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間のタイライン(1)	VT-3	7.5%	29箇所	RH	18箇所	VT-3	7.5% (3箇所)					クラス2機器供用期間中検査で管理	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第16回定検以降DB-ISI側へ検査計画移行)  ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加  ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加  ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加  ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加						
			主給水ライン	VT-3	7.5%																	
			主蒸気ライン	VT-3	7.5%																	
			主蒸気逃がしライン(1)	VT-3	7.5%																	
			タービン動補助給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(1)	VT-3	7.5%																	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 9. ボンプ(1/2)

充てんボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%								
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%								
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%								
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%								

クラス2機器供用期間中検査で管理

余熱除去ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%								
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%								

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	第16回
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)			A:1箇所				

格納容器スプレイボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	第16回
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)			A:1箇所				

クラス2機器供用期間中検査で管理  
 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第16回定検以降DB-ISI側へ検査計画以降)

常設電動注入ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	第16回
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							1箇所

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 9. ボンプ(2/2)

高圧注入ボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C3.30	C-C	ボンプ支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%								・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%								・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
C5.30	C-F	バランスフランジ及びバランス管の耐圧部分の溶接継手	表面	7.5%								・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%								・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%								・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		

クラス2機器供用期間中検査で管理

電動補助給水ボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%						A:1箇所		・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%							A:1箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		

タービン動補助給水ボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%						1箇所		・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%							1箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加(第2検査時期追加のため第3検査時期より計画策定)		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
10. 弁(U/I)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回				
F1.43	F-A	A, B格納容器再循環ユニット 出口ライン (4FCV-2430, 2431)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所	RH 4箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	1箇所 (2430)										
		主蒸気逃がしライン(2) (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	VT-3	代表1台の 7.5%	8箇所	RH 4箇所 MS 4箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所 (3610)							
		余熱除去冷却器出入口ライン (4HCV-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		余熱除去冷却器出入口ライン (4FCV-604, 614)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		高圧注入ポンプ出口ライン (4V-SI-062A)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		封水注入ライン (4V-SI-026A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		主蒸気逃がしライン(1) (4V-MS-523A~D)	VT-3	代表1台の 7.5%															

クラス2機器供用期間中検査で管理

・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	●	○	○		
B15.20			加圧器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	●	○	○		
B15.30			蒸気発生器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	●	○	○		
B15.50			クラス1配管	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	●	○	○		
B15.60			一次冷却材ポンプ	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	●	○	○		
B15.70			クラス1弁	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	●	○	○		
C7.30, C7.70	C-H	化学体積制御系統	B 充てんポンプ自己冷却水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○			
C7.30, C7.70			B 充てんポンプ自己冷却水戻りライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70			体積制御タンク及びび出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10, C7.30			A 充てんポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2		●							
C7.50, C7.70			B 充てんポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.70			C 充てんポンプ出口及びび封水注入ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.50			A ほう酸ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2		●							
C7.10, C7.30			B ほう酸ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2		●							
C7.10, C7.30			A ほう酸ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.50			B ほう酸ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.50			B ほう酸ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.70			B 高圧注入ポンプ海水排水ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			A, B 高圧注入ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.50			A 高圧注入ポンプ出口ロライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2						●			
C7.70	A 高圧注入ポンプ出口ロライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						●					
C7.30, C7.70	B 高圧注入ポンプ出口ロライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2							○				
C7.30, C7.50	B 高圧注入ポンプ出口ロライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2							○				
C7.30, C7.70	A 格納容器循環サンプル出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2						●					
C7.30, C7.70	B 格納容器循環サンプル出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2						●					
C7.10, C7.30	A 蓄圧タンク及びび出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2				●							
C7.10, C7.30	B 蓄圧タンク及びび出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2				●							
C7.10, C7.30	C 蓄圧タンク及びび出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2				●							
C7.10, C7.30	D 蓄圧タンク及びび出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2				●							



重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考			
		系統名	ライン名称		検査圧力	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回		
C7.30, C7.70	C-H	余熱除去系統	格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間のタイライン	SA時の使用圧力							○				
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力		●									
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力			●								
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				SA時の使用圧力										○	
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力						●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				SA時の使用圧力								○			
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力									○		
C7.30, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力		●									
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力		●									
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				SA時の使用圧力				●							
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力						●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				SA時の使用圧力										○	
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.70	C-H	使用済燃料ピット浄化冷却系統	使用済燃料ピット補給用給水ライン(1)	SA時の使用圧力		●									
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力		●									
C7.30, C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力											
C7.30, C7.50 C7.70				SA時の使用圧力							○				
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	燃料取替用水ピット及びび出入口ライン	SA時の使用圧力						●					
C7.10, C7.30 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.10, C7.30 C7.70				SA時の使用圧力										○	
C7.10, C7.30 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.10, C7.30 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.10, C7.30 C7.70				SA時の使用圧力											○
C7.10, C7.30 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	補助給水系統	補助給水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力						●					
C7.30, C7.50 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.50 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.50 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.50 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.50 C7.70				SA時の使用圧力											
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力											○

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (3/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考					
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回						
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統		A 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2									○				
C7.30, C7.70				B 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2	●												
C7.30, C7.70				C 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2				●									
C7.30, C7.70				D 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2								○					
C7.30	C-H	換気空調系統		中央制御室換気空調ライン	VT-2								○			技術基準規則第58条第2項のただし書による「他の方法」として外観検査を実施		
C7.30, C7.70				アニュラス空気浄化ライン	VT-2										○			
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統		A 原子炉補機冷却水冷却器海水供給ライン	VT-2			●										
C7.30, C7.70				A 格納容器再循環ユニット屋外放出ライン	VT-2				●									
C7.30, C7.70				B 格納容器再循環ユニット屋外放出ライン	VT-2							●						
C7.30, C7.70				A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2						●							
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統		A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	VT-2				●									
C7.30, C7.70				C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	VT-2									○				
C7.10, C7.30 C7.70				原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	VT-2						●							
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				A, B 海水ポンプ出口ライン	VT-2							●						
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統		C, D 海水ポンプ出口ライン	VT-2					●								
C7.30, C7.70					VT-2													

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	A加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			Aニュフラス空気浄化ファン弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70	C-H	ディーゼル発電機始動用空気系統	A制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			B制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10	C-H	ディーゼル発電機始動用空気系統	Aディーゼル発電機始動空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10			Bディーゼル発電機始動空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70	C-H	一次系サンプリング系統	事故時サンプリングライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン(3)	SA時の使用圧力	VT-2			●						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)  
 1.2. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考
-	-	配管の円周方向溶接継手			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

重大事故等クラス3機器漏えい検査 GN4-228-N1 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	設備数	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年)										備考		
		ライン(設備)名	機器名			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027		2028	
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サータンク加圧ライン	窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サータンク用)～原子炉補機冷却水サータンク加圧ライン窒素供給用3.8mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2					●								
D2.30	D-B	A、B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用2.5mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3									○				

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
			体積	100%	北海道電力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			体積及び表面	100%	
			体積及び表面	100%	
			VT-1	100%	
			体積	100%	
			体積	100%	
			VT-1	100%	
			VT-1	25%	

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格-維持規格 JSME S NAI-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
			積体又は表面	最外周の25%	北海道電力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
			VT-3	25%	
			VT-3	100%	
			VT-3	100%	
			VT-3	100%	
			VT-3	100%	

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格_維持規格 JSME S NAI-2012		備考
		検査方法	検査範囲	
		体積	5%	
		体積	5%	
		体積	10%	
		体積	10%	
		体積	10%	
		体積	5%	
		体積	5%	
		体積	管台数の25%	
		体積	管台数の25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理



重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格_維持規格_JSME S NA1-2012		備考
		検査方法	検査範囲	
		体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	
		VT-1	25%	
		体積	7.5%	
		VT-3	25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理				

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)				備考	
				体積	体積	体積及び表面	表面		体積
			代表1基の25%						
			代表1基の25%						
			代表1基の溶接継手数の25%						
		VT-1	代表1基の25%						
		表面	代表1基の7.5%						
		体積	100%						
		VT-3	代表1基の25%						
				クラス1機器供用期間中検査で管理					

項目番号	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所 4号機検査計画		備考
			体積	体積	
		UT実施箇所100%			
			クラス1機器供用期間中検査で管理		

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度:高)

項目番号	発電用原子力設備規格 細目規格 JSME S NAI-2012		検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所		
			VT-1	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
			体積	
			体積	
			体積	
			体積	
			表面	
			表面	
			体積	
			表面	
			表面	
			表面	
			表面	
			VT-3	
			VT-3	
			VT-3	
			VT-3	

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	検査の対象箇所	体積	代表1台の25%	
		VT-1	代表1台の25%	
		VT-1	代表1台の25%	
		VT-3	代表1台の100%	
		VT-3	代表1台の25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理				

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN 4-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MA1-2012 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)	備考
			VT-1	代表1台の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
			VT-1	代表1台の 25%		
			VT-1	代表1台の 25%		
			VT-3	代表1台		
			VT-3	代表1台の 25%		
			VT-3	代表1台の 25%		

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	差電用原子力設備規格_維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回	
			体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基 × 1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	7.5%								
			体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基 × 1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%					
			表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	1箇所/基 × 1基	PT	代表1基の溶接継手数の7.5% (1箇所)						1箇所			

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度:高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考			
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回				
		表面	7.5%	10箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所									
		表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所								
		表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所							
		体積 及び表面	7.5%	61箇所	UT・PT	7.5% (5箇所)		1箇所	1箇所	1箇所				1箇所	1箇所		
		体積 及び表面	7.5%	114箇所	UT・PT	7.5% (9箇所)		2箇所	1箇所	1箇所				1箇所	2箇所		
		体積 及び表面	7.5%	3箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)								1箇所			
		体積 及び表面	7.5%	90箇所	UT・PT	7.5% (7箇所)		2箇所	1箇所	1箇所				1箇所	1箇所		
		表面	7.5%														
		表面	7.5%														
		表面	7.5%														
		表面	7.5%														
		表面	7.5%														

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012	玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)										備考																									
			検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回		第20回	第21回	第22回																						
		VT-3	7.5%	50箇所	RH	49箇所	VT-3	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所																							
					AN	1箇所																																
					RH	66箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所																								
					AN	2箇所																																
		VT-3	7.5%	55箇所	RH	40箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所																								
					MS	13箇所																																
					AN	2箇所																																
		VT-3	7.5%	24箇所	RH	11箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所																								
					MS	8箇所																																
					SH	4箇所																																
					AN	1箇所																																
		VT-3	7.5%																																			

クラス2機器供用期間中検査で管理



重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度:高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回			
			表面	7.5%	12箇所 ×2台	PT	7.5% (2箇所)		A:1箇所					B:1箇所				
			体積	代表1台の 7.5%	12本 ×2台	UT	代表1台の 7.5% (1本)			A:1本								
			表面	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)									A:1箇所		
			VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)								A:1箇所			

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN 4-200 (保全重要度:高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012	玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)										備考			
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回		第20回	第21回	第22回
				VT-3	代表1台の7.5%	8箇所 MS 8箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							1箇所 (001)	
				VT-3	代表1台の7.5%											

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目 番号	カテ ゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備 考													
		系 統 名	ライン名称			第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回												
					VT-2	○	○	○	○	○	○	○													
					VT-2	○	○	○	○	○	○	○													
					VT-2	○	○	○	○	○	○	○													
					VT-2	○	○	○	○	○	○	○													
					VT-2	○	○	○	○	○	○	○													
					VT-2		○																		
					VT-2			○																	
					VT-2				○																
					VT-2					○															
					VT-2						○														
					VT-2							○													
					VT-2								○												
					VT-2									○											
					VT-2										○										
					VT-2											○									
					VT-2												○								
					VT-2													○							
					VT-2														○						
					VT-2															○					
					VT-2																○				
					VT-2																	○			
					VT-2																		○		
					VT-2																			○	

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN4-200 (保全重要度：高)

項目 番号	カテ ゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備 考		
		系 統 名	ライン名称			第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回			
					VT-2				○						
					VT-2						○				
					VT-2			○							
					VT-2									○	

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

## 1. 定期事業者検査の判定方法

### (1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等) 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第17サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA-1-2012/2013 追補/2014 追補) に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸 透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及 び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。



添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

別紙－３のとおり

## 添付書類二

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

## 1. 保全活動管理指標（系統レベル）

No.	系統名	変更理由	該当ページ
1	特定重大事故等対処施設	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、保全活動管理指標を追加した。	9

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
特定重大事故等対応施設		<1回/年/7%		
		<1回/年/7%		
	代替注入（炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ）をするための設備(SA-1)	<1回/年/7%		
	フィルタベントをするための設備(SA-1)	<1回/年/7%		
	緊急時制御室(SA-1)	<1回/年/7%		
	電源設備	<1回/年/7%		
	計表設備	<1回/年/7%		
	通信連絡設備	<2回/年/7%		

## 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

## 1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 4V-FW-520A, 520B, 520C, 520D 4A, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	至近の点検における劣化状況や機器の設置環境等から総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「130M」から「65M」に変更する。	12/85
2	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 4LCV-1000 4号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁	至近の点検における劣化状況や機器の設置環境等から総合的に評価し、分解点検の頻度を「130M」から「52M」に変更する。	43/85
3	原子炉格納施設(原子炉格納容器) 電線管貫通部	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 (実施数を「46個」から「48個」に変更する)	56/85
4	原子炉格納施設(原子炉格納容器) 原子炉格納容器隔離弁	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 (実施数を「52個」から「60個」に変更する)	56/85
5	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 4V-FW-574A, 574B, 574C, 574D 4A, 4B, 4C, 4D補助給水隔離弁	至近の点検における劣化状況や類似機器の保全状況等から総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「130M」から「65M」に変更する。	73, 74/85
6	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 発電機保護装置(継電器)	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	81/85
7	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 母線保護装置(継電器)	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	82/85
8	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)(その他の電源装置) 3-4C, 3-4D 440Vパワーセンタ (安全系遮断器)	3号機における非常用予備発電装置機能検査時に3A空調用冷凍機の起動遅れが発生した事象に関する是正処置について検討を行った結果、3号機と同様に遮断器に生じた酸化被膜等による接触不良事象を考慮し、簡易点検(グリス再塗付、接点抵抗測定等、頻度:1C)を今回の点検計画に追加する。	83/85

## 2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	非常用電源設備 蓄電池(3系統目)	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/4
2	非常用電源設備 充電器盤(3系統目蓄電池用)	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/4
3	非常用電源設備 蓄電池(3系統目)切替盤	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/4
4	非常用電源設備 計装電源盤 (3系統目蓄電池用)	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/4

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
5	非常用電源設備 計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 1式	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/4
6	浸水防護施設(内郭浸水防護設備) 原子炉補助建屋堰 4A-1~4A-2	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/4

### 3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	1/13
2		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/13
3		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/13
4		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/13
5		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/13
6		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/13
7		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/13
8		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/13
9		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/13
10		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/13
11		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
12		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
13		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
14		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
15		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
16		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
17		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
18		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
19		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
20		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
21		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
22		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/13
23		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
24		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
25		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
26		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
27		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
28		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
29		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
30		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
31		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
32		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/13
33		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
34		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
35		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
36		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
37		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
38		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
39		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
40		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
41		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
42		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
43		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	4/13
44		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	4/13
45		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
46		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	4/13
47		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	4/13
48		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
49		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
50		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
51		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13
52		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/13



No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
53		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	4/13
54		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	4/13
55		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
56		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
57		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
58		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
59		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
60		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
61		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/13
62		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
63		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
64		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
65		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
66		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
67		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	6/13
68		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	6/13
69		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
70		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
71		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
72		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
73		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/13
74		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13
75		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13
76		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13
77		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13
78		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13
79		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
80		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/13
81		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/13
82		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/13
83		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/13
84		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/13
85		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/13
86		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/13
87		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/13
88		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/13
89		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/13
90		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13
91		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13
92		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
93		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13
94		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13
95		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13
96		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9, 10/13
97		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/13
98		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/13
99		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/13
100		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/13
101		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/13
102		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/13
103		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
104		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
105		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
106		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
107		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
108		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
109		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
110		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
111		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
112		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
113		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/13
114		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
115		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
116		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
117		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
118		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
119		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
120		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
121		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
122		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
123		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
124		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
125		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
126		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
127		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
128		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
129		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
130		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
131		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
132		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
133		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
134		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
135		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
136		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/13
137		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/13
138		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/13
139		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/13
140		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/13
141		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/13

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-FW-520A 4 A 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M		
	4V-FW-520B 4 B 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M		
	4V-FW-520C 4 C 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M		
4V-FW-520D 4 D 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M			
	駆動部点検		65M			
	分解点検		130M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M			
原子炉冷却系統施設 (余熱除去系統)	4 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M		
	4 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M		
	4 A 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	4 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M		
	4 B 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	4 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M		
	4FCV-601 4 A 余熱除去ポンプミニブロー弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M		
4HCV-603 4 A 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-WL-144 4号 C/Vサンプポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4LCV-1000 4号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M		
		分解点検		52M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-WL-043 4号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-WL-008 4号 CVD T逃がし弁		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
4V-WL-095 4号 CVD T窒素供給ライン逆止弁		分解点検	低	130M	GN4-87 1次系逆止弁検査	
4V-WL-152 4号 凝縮液量測定装置脱塩水逆止弁		分解点検	低	130M	GN4-87 1次系逆止弁検査	
洗浄排水処理装置 1式		分解・開放点検	低	3Y~10Y		プラント運転中
A 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
B 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
洗浄排水濃縮液タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
洗浄排水濃縮液移送容器		開放点検	低	10Y		プラント運転中
V-WF-332 洗浄排水処理装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F		
V-WL-750 洗浄排水濃縮液タンク安全弁		分解点検	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F		
V-WF-306 洗浄排水処理装置薬品注入ライン逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WF-325 洗浄排水処理装置蒸発器洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WF-326 洗浄排水処理装置蒸発器上部洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WF-328 洗浄排水処理装置精留塔洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WF-334 洗浄排水処理装置窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-741 洗浄排水濃縮液タンク窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-753 洗浄排水濃縮液移送ポンプ入口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-768 洗浄排水濃縮液移送ポンプ出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
雑固体溶解処理設備		機能・性能試験	低	1C	GN4-118 固体廃棄物処理系溶解炉運転性能検査	プラント運転中
雑固体溶解処理設備 1式		開放点検	低	2Y		プラント運転中
V-WM-200 溶解炉逃がし弁		分解点検	低	4Y		プラント運転中
		漏えい試験		4F	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4F		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-CI-016B 4 B 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-CI-017A 4 A 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-CI-017B 4 B 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-CI-020 4号 C冷水供給弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
4V-CI-021 4号 C冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	1. 「T信号」及び「T信号とUV信号との一致」により隔離される弁 65個 2. 「P信号」により隔離される弁 16個	機能・性能試験	高	1C	GN4-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	原子炉格納容器	漏えい試験	高	3C	GN4-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査		
		非破壊検査		5年間	GN4-105 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査		
		外観点検(アニュラスシール)		10C			
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M			
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M			
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
	1. 配管貫通部 8個 2. 電線貫通部 43個	漏えい試験	高	1C	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		漏えい試験		1C	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
	原子炉格納容器隔離弁 60個	漏えい試験	高	1C	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・モータ駆動弁 6個 ・常設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	GN4-48 原子炉格納容器安全系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-FW-557A 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁 A	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
	4V-FW-557B 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁 B	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
	4V-FW-557C 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁 C	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
	4V-FW-557D 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁 D	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
	4V-FW-559A 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 A	分解点検	高	39M			
	4V-FW-559B 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 B	分解点検	高	39M			
	4V-FW-559C 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 C	分解点検	高	39M			
	4V-FW-559D 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 D	分解点検	高	39M			
4V-FW-568A 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 A	分解点検	高	39M				
4V-FW-568B 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 B	分解点検	高	39M				
4V-FW-568C 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 C	分解点検	高	39M				
4V-FW-568D 4号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 D	分解点検	高	39M				
4V-FW-573A 4 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M				
4V-FW-573B 4 B 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M				
4V-FW-573C 4 C 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M				
4V-FW-573D 4 D 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M				
4V-FW-574A 4 A 補助給水隔離弁	簡易点検(グラントバッキン取替)	高	65M				
	駆動部点検		65M				
	分解点検		130M				
	機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-FW-574B 4 B 補助給水隔離弁	簡易点検(グラントバックキン取替)	高	65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M		
	4V-FW-574C 4 C 補助給水隔離弁	簡易点検(グラントバックキン取替)	高	65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M		
	4V-FW-574D 4 D 補助給水隔離弁	簡易点検(グラントバックキン取替)	高	65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M		
	4V-FW-580 4号 復水ビットM/D AFWP 側止弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M		
	4V-FW-581 4号 復水ビットT/D AFWP 側止弁	駆動部点検	高	130M		
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C		GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M				
4V-FW-587 4号 T/D AFWP 2次系純水タンク側入口弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
4V-FW-589 4号 T/D AFWP 2次系純水タンク側逆止弁	分解点検	高	195M			
	スチームコンバータ	開放点検	低	13M		
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検(目視)	低	13M	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に 定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M		
	低圧再熱蒸気管(A湿分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に 定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	低圧再熱蒸気管(A湿分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に 定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	低圧再熱蒸気管(A湿分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に 定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-DG-630A 4 A 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		漏えい試験		10C			
		外観点検		10C			
	4V-DG-630B 4 B 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		漏えい試験		10C			
		外観点検		10C			
	4V-DG-633A 4 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		漏えい試験		10C			
		外観点検		10C			
	4V-DG-633B 4 B 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		漏えい試験		10C			
		外観点検		10C			
	4V-DG-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M			
	4V-DG-015B 4 B 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M			
	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	発電機	普通点検(軸受点検)	低	26M	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
			分解点検		78M		
機能・性能試験 (組立状況)			1C				
励磁機		普通点検(軸受点検他)	低	26M			
		分解点検		78M			
発電機保護装置(継電器)		特性試験	低	26M			
主変圧器		普通点検(特性試験他)	高	13M			
		分解点検		195M			
所内変圧器		普通点検(特性試験他)	高	13M			
		分解点検		195M			
主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)		特性試験	低	26M			
2 Lユニット		普通点検(特性試験他)	低	13M			
		分解点検		156M			
4 MT rユニット		普通点検(特性試験他)	高	13M			
		分解点検		156M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	BUS TIEユニット	普通点検(特性試験他)	低	13M		
		分解点検		156M		
	4 C 充電器盤	機能・性能試験	高	1C		
	4 C ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C		
	4 C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C		
	母線保護装置(避雷器)	特性試験	低	78M		
	送電線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M		
電流計 (500kV 玄海幹線21北線) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M			
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-4 A E G	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 4-4 B E G	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	6. 6 k V 4-4 C 母線	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 C 母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 C 母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 D 母線	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 D 母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 D 母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	受電遮断器 4-4 E C	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	受電遮断器 4-4 E D	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	受電遮断器 4-4 H C	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	受電遮断器 4-4 H D	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 C 1 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 C 2 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 D 1 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 D 2 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4-4C 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	4-4D 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	所内電源保護装置(継電器)	特性試験	高	26M		
	440V 3-4C1母線	機能・性能試験	高	4C		
	遮断器 3-4C1L	機能・性能試験	高	2C		
		蓄勢部点検		78M		
	440V 3-4C1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C		
	440V 3-4C1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C		
	4C1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C		
	440V 3-4C2母線	機能・性能試験	高	4C		
	遮断器 3-4C2L	機能・性能試験	高	2C		
		蓄勢部点検		78M		
	440V 3-4C2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C		
	440V 3-4C2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C		
	4C2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C		
	440V 3-4D1母線	機能・性能試験	高	4C		
	遮断器 3-4D1L	機能・性能試験	高	2C		
		蓄勢部点検		78M		
	440V 3-4D1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C		
	440V 3-4D1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C		
	4D1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C		
	440V 3-4D2母線	機能・性能試験	高	4C		
	遮断器 3-4D2L	機能・性能試験	高	2C		
		蓄勢部点検		78M		
	440V 3-4D2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C		
	440V 3-4D2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C		
	4D2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C		
	3-4C 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	簡易点検	高	1C		
機能・性能試験		2C				
蓄勢部点検		78M				
3-4D 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	簡易点検	高	1C			
	機能・性能試験		2C			
	蓄勢部点検		78M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検 査 名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	GM4-220 その他非常用発電装置の分解検査		
		普通点検		39M			
		精密点検		130M			
		機能・性能試験		1C			GM4-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C	GM4-221 その他非常用発電装置の機能検査		
		普通点検		65M			
		精密点検		130M			
		機能・性能試験		1C			
	大容量空冷式発電機用燃料タンク		開放点検	高	130M		
			気密試験		2C		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ		簡易点検	高	13M		(振動診断：1ヶ月)
			分解点検		65M		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機		分解点検	高	130M		(振動診断：1ヶ月)
	可搬型直流変換器 (3,4号機共用)	3台 (予備含む)	普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池 (重大事故等対処用)	2組	機能・性能試験	高	1C	GM4-222 直流電源系機能検査	
			機能・性能試験		1C	GM4-223 直流電源系作動検査	
	蓄電池 (3系統目)		機能・性能試験	高	1C	GM4-222 直流電源系機能検査 GM4-223 直流電源系作動検査	
	充電器盤 (3系統目蓄電池用)		機能・性能試験	高	1C		
	蓄電池 (3系統目) 切替盤		普通点検	高	6C		
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用) (3,4号機共用)	3個 (予備含む)	簡易点検	高	1F		
	重大事故等対処用変圧器盤		普通点検	高	1C		
	重大事故等対処用変圧器受電盤		普通点検	高	1C		
	重大事故等対処用分電盤		普通点検	高	1C		
	常設電動注入ポンプ電源切替盤		普通点検	高	1C		
	計装用電源切替盤	2台	普通点検	高	1C		
	計装用電源盤 (3系統目蓄電池用)		機能・性能試験	高	1C	GM4-112 インバート機能検査	
	計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 3式		外観点検	高	1C		
	号炉間電力融通電路 (3,4号機共用、3号機に設置)		普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C		
	号炉間電力融通電路 (3,4号機共用)		普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C		
	予備ケーブル (号炉間電力融通用) (3,4号機共用)	12本	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
代替電源接続盤 1		普通点検	高	1C			
代替電源接続盤 2 (3,4号機共用)		普通点検	高	1C			
重大事故等対処用直流コントロールセンタ		普通点検	高	65M			
浸水防護施設 (内館浸水防護設備)		原子炉補助建屋棟 4A-1～4A-2	低	1F			



## 3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)		機能・性能試験	高	1C	GN4-205 その他原子炉注水系機能検査	
		簡易点検	高	13M		(振動診断：1カ月)
		分解点検		130M	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		簡易点検（油入替他）	高	1C		(振動診断：1カ月)
		分解点検		65M		
		簡易点検	高	13M		(振動診断：1カ月)
		分解点検		130M	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		簡易点検（油入替他）	高	1C		(振動診断：1カ月)
		分解点検		65M		
		簡易点検	高	13M		(振動診断：1カ月)
		分解点検		130M	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		分解点検	高	65M		(振動診断：1カ月)
		簡易点検	高	13M		(振動診断：1カ月)
		分解点検		130M	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		分解点検	高	65M		(振動診断：1カ月)
		開放点検	高	130M		
		分解点検	高	130M		
		駆動部点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		分解点検	高	130M	GN4-87 1次系逆止弁検査	
	分解点検	低	130M			
	分解点検	低	130M			
	分解点検	低	130M			
	分解点検	低	130M			
	分解点検	低	130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 類 度	検 査 名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		分解点検	低	130M		
		分解点検	低	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
機能・性能試験	10C					
電動機分解点検	130M					
駆動部点検	高	130M				
分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査			
機能・性能試験		10C				
電動機分解点検		130M				
計測制御系統施設 (計測装置)		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 類 度	検 査 名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
計測制御系統施設 (制御用空気設備)		外観点検	高	1C		
		外観点検	高	1C		
		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (その他設備)		特性試験	高	13M	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		特性試験	高	13M		
		特性試験	高	13M		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		特性試験	高	13M		
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)		特性試験	高	13M	GN4-208 プロセスモニタ機能検査	
		特性試験	高	13M	GN4-209 エリアモニタ機能検査	
放射線管理施設 (換気設備)		機能・性能試験	高	1C	GN4-215 緊急時制御室の居住性確認検査	
		機能・性能試験	高	1C	GN4-210 緊急時制御室給気系機能検査	
		外観点検	高	1C		
		分解点検	高	78M		(振動診断：1カ月)
		分解点検	高	78M		(振動診断：1カ月)
		開放点検	高	26M		
		機能・性能試験		1C	GN4-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査	
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		分解点検	低	52M		
		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
分解点検	高	130M				
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)		機能・性能試験	高	1C	GN4-48 原子炉格納容器安全系機能検査	
		機能・性能試験	高	1C	GN4-217 圧力逃がし系作動検査	



機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 類 度	検 査 名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		特性試験	低	13M	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
		特性試験	低	13M	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	65M		
		機能・性能試験		5C	GN4-218 圧力逃がし系フィルター性能検査	
		簡易点検	高	13M		(振動診断：1カ月)
		分解点検		130M		
		分解点検	高	65M		(振動診断：1カ月)
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C		
電動機分解点検	130M					

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		駆動部点検	高	130M	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
取替	低	130M	GN4-88 1次系真空破壊弁検査			
取替	低	130M	GN4-88 1次系真空破壊弁検査			
原子炉施設（その他設備）		非破壊試験	高	10年間	GN4-200 重大事故等クラス1機器供用期間中検査	
		漏えい試験				
		非破壊試験	5年間	GN4-200 重大事故等クラス1機器供用期間中検査	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	





機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査	
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)		開放点検	高	130M		
		気密試験		2C		
		開放点検	高	130M		
		気密試験		2C		
		簡易点検	高	26M		
		分解点検		169M	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査	
		機能・性能試験		1C	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C		
		分解点検		169M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	39M		
		外観点検	高	1C		
		取替	高	117M		
		分解点検	高	130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		簡易点検	高	26M		
		分解点検		169M	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査	
		機能・性能試験		1C	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C		
		分解点検		169M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	39M		
		外観点検	高	1C		
		取替	高	117M		
		分解点検	高	130M		
		簡易点検	高	13M		
		分解点検		130M		
		分解点検	高	65M		
		簡易点検	高	13M		
		分解点検		130M		
		分解点検	高	65M		
		取替	高	117M		
		取替	高	39M		
		取替	高	117M		
		取替	高	39M		
		簡易点検	高	1C		
		普通点検		26M		
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		1C	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C		
		普通点検		26M		
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		1C	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		取替	高	39M		
		取替	高	39M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		特性試験	高	13M		
		特性試験	高	13M		
		外観点検	高	1C		
		外観点検	高	1C		
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	104M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	104M		
		取替	高	52M		
		取替	高	52M		



機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
		取替	低	10Y		プラント運転中
		取替	低	10Y		プラント運転中
		外観点検	低	1F		
		外観点検	低	1F		
土木建築設備		外観点検	低	1F		

## 添付書類四

## 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）の変更箇所

## 1. 定期事業者検査の判定方法

No.	項目	変更理由	該当ページ
1	重大事故等クラス1機器供用期間中検査	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、追加した。	2
2	JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補	非破壊検査時の判定根拠に用いている「発電用原子力設備規格 維持規格」の適用年版の変更	3

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第17サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

表－１ 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA-1-2012/2013 追補/2014 追補) に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸 透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及 び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画（添付書類三 別紙1）のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。



添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二及び三）について  
の評価結果

## 玄海原子力発電所 第4号機

### 保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう、保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

## 保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	プラントレベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPPF: 2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30 UA: 2022. 1. 1 ～ 2023. 11. 30	系統レベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。  (特定重大事故等対処施設については、2023年2月2日より監視開始)
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項・気付き事項）、状態報告、回転機器振動診断（定期診断）工事記録	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、状態報告（点検・検査報告書）、回転機器振動診断（定期診断）工事記録の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	不適合、是正処置情報を確認し評価を行った結果、3-4C 及び 3-4D 440V パワーセンタ(安全系遮断器)について点検項目を追加する。本件について点検計画に反映する。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤自社他プラントの高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	安全性向上評価の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき情報はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	未然防止処置対策の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報 (NUCIA情報)		
	⑧海外情報		
	⑨通達等の文書		通達等の文書の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映する事項はなかった。
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑪電力共同研究・技術開発		保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	⑫以上に該当しない情報	2022. 5. 1 ～ 2023. 11. 30	社内方針決定文書等の内容を確認し評価を行った結果、特定重大事故等対処施設設置工事等について、保全活動管理指標、点検計画及び設計及び工事の計画へ反映する。

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			インプット情報の項目	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後		事象の概要	評価内容	
1	特定重大事故等対処施設	予防可能故障回数目標値	—	<1回/年/台	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					
2	特定重大事故等対処施設 代燃注入(炉心注入及び原子炉格納容器サブレイ)をするための設備(SA-1)	予防可能故障回数目標値	—	<1回/年/台	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					
3	特定重大事故等対処施設 フィルタベントをするための設備(SA-1)	予防可能故障回数目標値	—	<1回/年/台	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					

## 1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映				評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容		
								予防可能故障 回数目標値	
4	特定重大事故等対処施設 緊急時制御室(SA-1)	予防可能故障 回数目標値	—	<1回/ヶ月>	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目 標値	—						
5	特定重大事故等対処施設 電源設備	予防可能故障 回数目標値	—	<1回/ヶ月>	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目 標値	—						
6	特定重大事故等対処施設 計装設備	予防可能故障 回数目標値	—	<1回/ヶ月>	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目 標値	—						
7	特定重大事故等対処施設 通信連絡設備	予防可能故障 回数目標値	—	<2回/ヶ月>	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目 標値	—						

## 2. 点検計画への反映 (設計基準事故対処設備等)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前					変更後	
1	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 4V-FW-520A, 520B, 520C, 520D 4A, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	駆動部点検 頻度	130M	65M	「その他」	至近の点検における劣化状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	①		
2	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 4LCV-1000 4号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁	分解点検 頻度	130M	52M	「その他」	至近の点検における劣化状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	①	GM4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3	原子炉格納施設 (原子炉格納容器) 電線管貫通部	実施数	46個	48個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	—	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
4	原子炉格納施設 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器隔離弁	実施数	52個	60個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	—	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
5	蒸気タービン (蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 4V-FW-574A, 574B, 574C, 574D 4A, 4B, 4C, 4D補助給水隔離弁	駆動部点検 頻度	130M	65M	「その他」	至近の点検における劣化状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	①		
6	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 発電機保護装置 (継電器)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 26M	—	「その他」	保護リレー盤更新工事の実施に伴い、更新後の左記設備の点検計画見直しについて検討を行った。	—		
7	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 母線保護装置 (継電器)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 78M	—	「その他」	保護リレー盤更新工事の実施に伴い、更新後の左記設備の点検計画見直しについて検討を行った。	—		
8	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 3-4C, 3-4D 440Vパワーセンタ (安全系遮断器)	点検及び試験の項目 頻度	—	簡易点検 1C	「不適合」	3号機における非常用予備発電装置機能検査時に3A空調用冷凍機の起動遅れが発生した事象に関する是正処置について検討を行った。	①		

※点検頻度の変更に応じた評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

## 2. 点検計画への反映 (重大事故等対処設備)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前後		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	変更前	変更後	機能・性能 試験					
1	非常用電源設備 蓄電池 (3系統目)	点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GM4-222 直流電源系機能検査 GM4-223 直流電源系作動検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
2	非常用電源設備 充電器盤 (3系統目蓄電池用)	点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
3	非常用電源設備 蓄電池 (3系統目) 切替盤	点検及び試験の項目	—	普通点検	「その他」	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	6C						
4	非常用電源設備 計装電源盤 (3系統目蓄電池用)	点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GM4-112 インバータ機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
5	非常用電源設備 計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 1式	点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
6	浸水防護施設 (内郡設水防護設備) 原子炉補助建屋堰 4A-1～4A-2	点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						

※点検頻度の変更に適用した評価方法

①点検及び取替結果の評価

②劣化トレンドによる評価

③類似機器等のベンチマークによる評価

④研究成果等による評価

## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前		変更後		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	点検及び試験 の項目	項目	点検及び試験 の項目	項目	点検及び試験 の項目					
1		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、実施 する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、実施 する定期事業者検査について検討した結果、 左記の系統・機器に関連する定期事業者検査 を、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-205 その他原子炉注水系機能検査	
		保全重要度	—	高	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分 解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 (振動診断：1カ月)	
2		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 分解点検	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
3		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 分解点検	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
4		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 分解点検	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分 解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 (振動診断：1カ月)	
5		点検及び試験 の項目	—	分解点検	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
6		点検及び試験 の項目	—	開放点検	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—		

## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前		変更後		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	頻度	項目	頻度	項目	頻度					
7		点検及び試験 の項目			分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検			「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に 反映する。	—	
		保全重要度			高							
		頻度			130M 130M 130M							
8		点検及び試験 の項目			分解点検			「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に 反映する。	—	GN4-87 1次系逆止弁検査
		保全重要度			高							
		頻度			130M							
9		点検及び試験 の項目			分解点検			「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度			低							
		頻度			130M							
10		点検及び試験 の項目			分解点検			「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度			低							
		頻度			130M							
11		点検及び試験 の項目			分解点検			「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度			低							
		頻度			130M							



## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容					評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	頻度								
12		点検及び試験 の項目	—	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	—	低						
		頻度	—	—	130M						
13		点検及び試験 の項目	—	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	—	高						
		頻度	—	—	130M 130M 10C 130M						
14		点検及び試験 の項目	—	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	—	高						
		頻度	—	—	130M 130M 10C 130M						

## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前後		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		項目	変更前	変更後								
15		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
16		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
17		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								

## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前後						
		項目	変更前	変更後						
18		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
19		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
20		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
21		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
22		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更	変更前	変更後					
23		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 フロント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
24		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 フロント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
25		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 フロント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
26		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 フロント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
27		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 フロント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
28		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-35 フロント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更	変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
29		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
30		点検及び試験 の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-86 1次系安全弁検査	
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M 10C 10C						
31		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
32		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※					
		項目	変更前後									
33		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-73 計測制御系監視機能検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	13M								
34		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	1C								
35		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	1C								
36		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	13M								
37		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	13M								
38		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—				
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	1C								

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※			
		項目	変更前 変更後							
39		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
40		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
41		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-208 プロセスモニタ機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
42		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-209 エリアモニタ機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
43		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-215 緊急時制御室の居住性確認検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
44		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-210 緊急時制御室給気系機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後	「その他」					
45		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
46		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	78M						
47		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	78M						
48		点検及び試験 の項目	—	開放点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-212 緊急時制御室給気系フィルター 性能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	26M 1C						
49		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						



2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更	変更前	変更後	項目					
50		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	52M						
51		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-86 1次系安全弁検査	
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M 10C 10C						
52		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
53		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-48 原子炉格納容器安全系機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
54		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-217 圧力逃がし系作動検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前		変更後		インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後	項目	変更前	変更後					
55		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
56		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
57		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前後						
		項目	変更前	変更後						
58		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
59		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-87 1次系逆止弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
60		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
61		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C 3C						
62		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	13M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容										評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前		変更後		インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※					
		項目	変更前	変更後	項目	特性試験	項目					特性試験				
63		点検及び試験の項目	—	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-73 計測制御系監視機能検査						
		保全重要度	—	—	低											
		頻度	—	—	13M											
64		点検及び試験の項目	—	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—							
		保全重要度	—	—	高											
		頻度	—	—	130M											
65		点検及び試験の項目	—	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—							
		保全重要度	—	—	高											
		頻度	—	—	130M											
66		点検及び試験の項目	—	—	開放点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-218 圧力逃がし系フィルター性能検査						
		保全重要度	—	—	高											
		頻度	—	—	65M 5C											
67		点検及び試験の項目	—	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)						
		保全重要度	—	—	高											
		頻度	—	—	13M 130M											
68		点検及び試験の項目	—	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)						
		保全重要度	—	—	高											
		頻度	—	—	65M											

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前		変更後		インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	頻度	項目	頻度	項目	頻度					
69		点検及び試験の項目			分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度			高							
		頻度			130M 130M 10C 130M							
70		点検及び試験の項目			分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度			高							
		頻度			130M 130M 10C 130M							
71		点検及び試験の項目			分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度			高							
		頻度			130M 130M 10C 130M							

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前後		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	変更前	変更後						
72		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
73		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
74		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		更新後の内容		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		項目	変更前	変更後								
75		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検								
76		保全重要度	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検								
		保全重要度	—	高								
77		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN4-85 1次系弁検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 130M 10C 130M								
		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検								

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		インプット情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの評価項目※		
		項目	変更前	変更後	「その他」					
78		点検及び試験の項目	—	取替	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M						
79		点検及び試験の項目	—	非破壊試験 漏えい試験 非破壊試験	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-200 重大事故等クラス1機器供用期間中検査		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10年間 10年間 5年間						
80		点検及び試験の項目	—	外観点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
81		点検及び試験の項目	—	外観点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						



2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前後		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	変更前	変更後						
82		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
83		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
84		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
85		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容						評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※					
		項目	変更前後									
86		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	10C								
87		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	10C								
88		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-103 耐震健全性検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	10C								
89		点検及び試験 の項目	—	開放点検 気密試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査 GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	130M 2C								
90		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査 GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査			
		保全重要度	—	高								
		頻度	—	26M 169M 1C								

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更	変更前	変更後					
91		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C 169M					
92		点検及び試験の項目	—	分解点検 又は取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	104M					
93		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	39M					
94		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
95		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	117M					
96		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映  
(特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		変更前	変更後							
97		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M 130M						
98		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	65M						
99		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	117M						
100		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	39M						
101		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	39M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後						
102		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 普通点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C 26M 104M 1C						
103		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
104		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
105		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
106		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後	「その他」					
107		点検及び試験 の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
108		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 130M						
109		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 130M						
110		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 130M						
111		点検及び試験 の項目	—	分解点検 又は取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	104M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更	変更前	変更後					
112		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	104M					
113		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	52M					
114		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	52M					
115		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-112 インバータ機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
116		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
117		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN4-222 直流電源系機能検査 GN4-223 直流電源系動作検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					

## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後	「その他」					
118		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
119		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	20C						
120		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	20C						
121		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
122		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
123		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	6C						



2. 点検計画への反映  
(特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		項目	変更前 変更後							
124		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
125		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	4C						
126		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	4C						
127		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
128		点検及び試験 の項目	—	総合点検 機器点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1Y 6ヶ月						
129		点検及び試験 の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	39M						

## 2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後	「その他」					
130		点検及び試験 の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	52M						
131		点検及び試験 の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	52M						
132		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M						
133		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
134		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
135		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		項目	変更前 変更後							
136		点検及び試験 の項目	—	取替	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
137		点検及び試験 の項目	—	取替	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
138		点検及び試験 の項目	—	取替	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
139		点検及び試験 の項目	—	外観点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
140		点検及び試験 の項目	—	外観点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
141		点検及び試験 の項目	—	外観点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						

※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

## 3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容			
1	火災防護設備 (その他設備)	電線管内ケーブル系統分離対策工事	「その他」	耐火対策を要する火災防護対象ケーブルを収納する電線管に対して、既工認を踏まえた耐火隔壁設置工事を実施する。	第16回定期事業者検査において、電線管内ケーブル系統分離対策工事を実施する。			
2	火災防護設備	火災感知器追設工事	「その他」	火災防護に関する審査基準の改正を踏まえ、火災感知器追加設置工事を実施する。	第16回定期事業者検査において、火災感知器追設工事を実施する。			
3	蒸気タービン (蒸気タービンに附属 する管等) 低温再熱蒸気管	低温再熱蒸気管修繕工事	「その他」	配管の減肉が確認されたため、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	第16回定期事業者検査において、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	GN4-127 2次系配管検査		
4	蒸気タービン 給水ブースタポンプ吐 出管	給水ブースタポンプ吐出管修繕工事	「その他」	配管の減肉が確認されたため、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	第16回定期事業者検査において、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	GN4-127 2次系配管検査		
5	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水 設備)	1次系海水管修繕工事	「その他」	他プラントにおいて、ゴムライニング配管の劣化が確認されていることから、高耐久ポリエチレン配管への取替えを実施し、海水管の信頼性向上を図る。	第16回定期事業者検査において、1次系海水管修繕工事を実施する。			
6	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	R C P S 伝送器修繕工事	「その他」	蒸気発生器広域水位等の計測装置の検出器について予防保全の観点から取替えを実施する。	第16回定期事業者検査において、R C P S 伝送器の取替えを実施する。	GN4-34 安全保護系設定値確認検査 GN4-35 プラント状態監視設備機能検査		
7	重大事故等対処設備 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設 (使用済 燃料貯蔵設備)	S F P 水位計 ( S A ) 伝送器取替工事	「その他」	使用済燃料ピット水位 ( S A ) 検出器について、予防保全の観点から取替えを実施する。	第16回定期事業者検査において、S F P 水位計 ( S A ) 伝送器取替工事を実施する。			

## 3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容		
8	蒸気タービン (調速装置及び非常調 速装置並びに調速装置 で制御される主要弁)	主蒸気止め弁リミットスイッチ取替工事	「その他」	原子炉非常停止信号用の主蒸気止め弁のリミットスイッチについて、予防保全の観点から取替えを行う。	第16回定期事業者検査において、主蒸気止め弁リミットスイッチ取替工事を実施する。		
9	計測制御系統施設 (その他設備)	デジタル安全保護系共通要因故障対策工 事	「その他」	デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障緩和対策に伴い、デジタル安全保護回路及び関連設備への対策工事を実施する。	第16回定期事業者検査において、デジタル安全保護系共通要因故障対策工事を実施する。		
10	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	1プロ伝送器修繕工事	「その他」	原子炉容器水位計測装置の検出器について、予防保全の観点から取替えを実施する。	第16回定期事業者検査において、原子炉容器水位伝送器の取替えを実施する。	GN4-106 核計装設備検査	
11	計測制御系統施設 (その他設備) 炉外核計測装置	炉外中性子束検出器修繕工事	「その他」	炉外中性子束検出器(中性子源領域、中間領域、出力領域)について予防保全の観点から取替えを実施する。	第16回定期事業者検査において、炉外中性子束検出器の取替えを実施する。	GN4-106 核計装設備検査	

## 保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル (評価対象期間: 2022年5月1日~2023年11月30日)

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動トリップ回数	1回/7000臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回/7000臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFF) 回数評価対象期間：2022年5月1日～2023年11月30日、U.A時間評価対象期間：2022年11月1日～2023年11月30日 ※評価対象期間で変更があった系統については、備考欄に示す。

系統名	要求機能	予付可能故障回数 (MPFF回数)		実績	非待機時間 (U.A時間)		実績	備考
		目標値	実績		目標値	実績		
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (FS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル/基	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基		
	安全弁及び過熱蒸気発生防止機能 (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	異常状態の検知機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル/基	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基		
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---	
	未監視維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	系統共通適用以外 <240時間/2サイクル	---	系統共通適用以外 0時間/2サイクル		
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---	
	異常状態の検知機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	---	0時間/2サイクル/基		
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---	
安全注入系統	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	未監視維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉停止後の除熱機能、中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
除熱除去系統	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
原子炉格納容器スプレイ系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
原子炉格納容器冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口管のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (FS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	

系統名	要求機能	予付可能故障回数 (N/P/F/F 回数)		非待機時間 (U/A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
制御用空気系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	未監視燃料機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	炉心冷却機能、放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<2回/サイクル	0回/サイクル	【燃料取扱用水ピット】 <1時間/2サイクル 【燃料取扱用水ピット以外】 <20時間/2サイクル	【燃料取扱用水ピット】 0時間/2サイクル 【燃料取扱用水ピット以外】 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射線物質を貯蔵する機能 (放射線物質を貯蔵する機能) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (格納容器給排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (排気筒)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (格納提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (安全補機室空調系)	中心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (安全補機室空調系)	未監視燃料機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (安全補機室空調系)	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (安全補機室空調系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (中間補機室空調系)	安全上特に重要な閉鎖機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <20時間/2サイクル Bトレイン <20時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	



系統名	要求機能	予付可能故障回数 (NIPFF 回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (補助送風機除排水系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直後閉連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう搬ポンプ室空調系)	未燃界維持機能 (直後閉連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	A トレイン 0時間/2サイクル B トレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な閉連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレイン <720時間/2サイクル B トレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2 トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	A トレイン 0時間/2サイクル B トレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2 トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用備系)	安全上特に重要な閉連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレイン <720時間/2サイクル B トレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2 トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	A トレイン 0時間/2サイクル B トレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2 トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
空調用冷水系統	安全上特に重要な閉連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	A トレイン 0時間/2サイクル B トレイン 0時間/2サイクル	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (FS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料集合体及び炉核燃焼炉心構成品	炉心形状の緊急停止機能 (制御体クラスター案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉格納容器	炉心形状の維持機能 (FS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
1次系サンプリング系統	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主蒸気及び再蒸発蒸気系統 (S G~高圧タービン)	本燃界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉格納容器	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器バウンダリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<4時間/2サイクル/管 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間/2サイクル/管 0時間/2サイクル/エアロック	
1次系サンプリング系統	事故時のグラント状態の把握機能 (1 次冷却材ほう素濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主蒸気及び再蒸発蒸気系統 (S G~高圧タービン)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【緊急停止弁】 <168時間/2サイクル/基	【主蒸気安全弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 0時間/2サイクル/基 【緊急停止弁】 0時間/2サイクル/基	
給水系統 (H P H r ~ S G)	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
補助給水系統	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
SGプロローターダウン及びサンプリング系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【T/D補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプA トレイン】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプB トレイン】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプC トレイン】 <168時間/2サイクル	【T/D補助給水ポンプ】 0時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプA トレイン】 0時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプB トレイン】 0時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプC トレイン】 0時間/2サイクル	
	事故時のグラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予付可能故障回数 (NIPFF 回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
排水系統	安全上料にて重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <210時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (間接閉鎖系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上料にて重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
主単線結線図 (M/C、P/C)	安全上料にて重要な閉鎖機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<20時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
直流電源系統	安全上料にて重要な閉鎖機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<20時間/2サイクル/母線 【原簿母線】 <240時間/2サイクル/母線 【新電機】 <210時間/2サイクル/基 【新電機・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	<20時間/2サイクル/母線 【原簿母線】 0時間/2サイクル/母線 【新電機】 <210時間/2サイクル/基 【新電機・充電器同時故障】 0時間/2サイクル/基	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
電線非用電源系統	安全上料にて重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
所内保護・計量設備	過熱反応度の印加的止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	未監界維持機能 (原子炉停止系のうち前御棒による系の直接閉鎖系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御機駆動装置 (機械系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 <10時間/2サイクル/トレーン	【原子炉トリップ遮断器】 0時間/2サイクル/トレーン	
	事故時のブランク状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<210時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機始動用空気系統	安全上料にて重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の燃料油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の潤滑油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<210時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上料にて重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の冷却水系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル	



系統名	要求機能	予防可能故障回数 (NIPFF 回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対策設備	蒸気発生部 2 次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	蒸気発生部 2 次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	水素濃度による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	水素濃度低減 <20時間/2サイクル 水素濃度監視 <20時間/2サイクル	水素濃度低減 0時間/2サイクル 水素濃度監視 0時間/2サイクル	
	水素濃度による原子炉同位体濃度の制御を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<3.0時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	中間冷却、取水用水中ポンプ、 復水タンク (ピット)、補給用水中ポンプ 燃料取扱設備 <20時間/2サイクル	中間冷却、取水用水中ポンプ、 復水タンク (ピット)、補給用水中ポンプ 燃料取扱設備 0時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対策用変圧器受電盤 重大事故等対策用変圧器 <3.0時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリー <48時間/2サイクル	電源設備 0時間/2サイクル 重大事故等対策用変圧器受電盤 重大事故等対策用変圧器 0時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリー 0時間/2サイクル	
	計測設備	<1回/サイクル	0回/サイクル	<120時間/2サイクル 記録機能	0時間/2サイクル 記録機能	
	中央制御室	<1回/サイクル	0回/サイクル	中央制御室非常用電源系 <720時間/2サイクル 可搬型照明、経費濃度計、二酸化炭素濃度計 <3.0時間/2サイクル	中央制御室非常用電源系 0時間/2サイクル 可搬型照明、経費濃度計、二酸化炭素濃度計 0時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<3.0時間/2サイクル	0時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予付可能故障回数 (NTP-F 回数)		非待機時間 (U/A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
特定重大事故等対応施設		<1回/ヶケル	0回/ヶケル			監視期間 2023年2月12日～
	代替注入 (から注入及び原子が格納容器スプレイ) をするための設備 (SA-1)	<1回/ヶケル	0回/ヶケル			
	フィルターベントをするための設備 (SA-1)	<1回/ヶケル	0回/ヶケル			
	緊急時間測定 (SA-1)	<1回/ヶケル	0回/ヶケル			
	電源設備	<1回/ヶケル	0回/ヶケル			
	計装設備	<1回/ヶケル	0回/ヶケル			
	通信連絡設備	<2回/ヶケル	0回/ヶケル			

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし